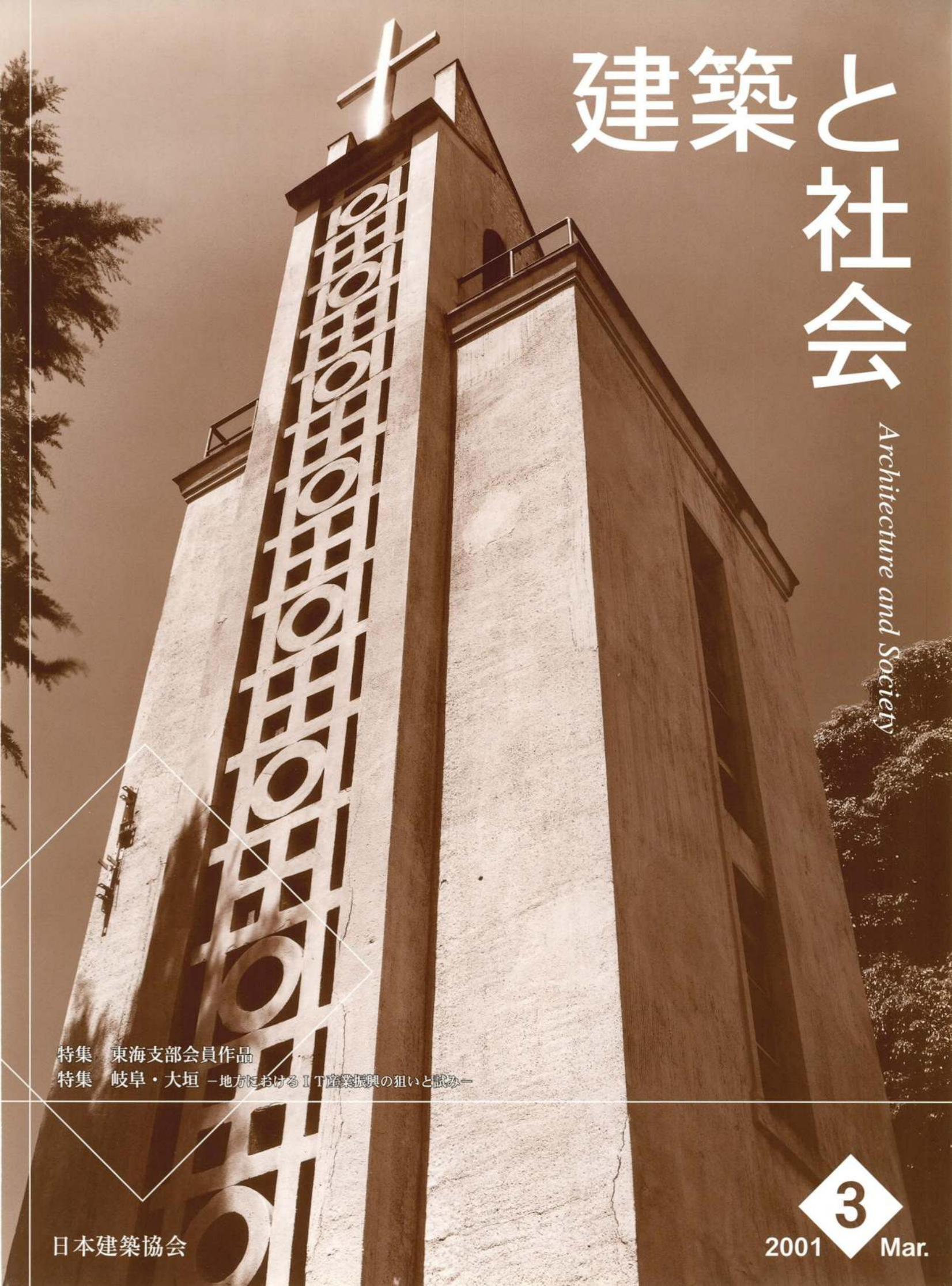
建築と社会

Architecture and Society



特集　東海支部会員作品

特集　岐阜・大垣 －地方におけるＩＴ産業振興の狙いと試み－

日本建築協会

3

2001 Mar.



「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中　頒価　3,000円

1999年7月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正6年3月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関　一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を身近に感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

＊

申 込 先　社団法人　日本建築協会
〒530-0001　大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL 06-6348-0635　FAX 06-6348-0634

頒　　価　1部3,000円(税・送料込み)

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

「日本建築協会80年史」

A4判・240頁・並製本

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール(片岡　安・設楽貞雄・武田五一・池田　實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壮一郎・横濱　勉・松本禹象・宗　兵蔵・園部文雄・日高　胖・野村一郎・古宇田　實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂　靜雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中錬一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貫・足立　孝)

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」—尾亀清四郎・大林芳郎・小西　岬・佐野正一・横尾義貫・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言—

＊

■執筆ワーキンググループ
坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会
長谷部朔郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉　毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」(坂本勝比古)より



「草創期の人々」より片岡安の項

郵便はがき

料金受取人払

大阪中央局
承　認
613

差出有効期間
平成13年3月
27日まで

5308790

751

大阪市北区
梅田1-1-3-2100
大阪駅前第3ビル21階

社団法人　日本建築協会
御中

平成12年度第2回通常総会
（平成13年3月28日［水］17時開催）

出　席・欠　席

該当するものを○で囲んで下さい。
ご返信は3月23日（金）までにお願いします。

※ご欠席の場合は下記委任状を必ずご提出願います。

委　任　状（個人正会員用）

社団法人日本建築協会第2回通常総会における議案の議決に関する権限を下記の者に委任します。

議　長、または出席正会員　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

○で囲んで下さい。

平成　　年　　月　　日

住所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

会告

平成12年度 第2回通常総会開催
―出欠の返事は綴じ込みハガキで!

平成12年度第２回通常総会を右記のとおり開催いたしますのでご出席下さいますようご案内申しあげます。
ご出欠の回答は、本号に綴じ込みの「ハガキ」にてお知らせいただきますようお願いします。

と　き　平成13年3月28日(水)
　　午後５時から
ところ　社団法人日本建築協会
　　大会議室
　　大阪市北区梅田1-1-3-2100
　　大阪駅前第３ビル21階
議　案　・第１号議案
　　平成13年度事業計画(案)の件
　　・第２号議案
　　平成13年度予算(案)の件
　　・第３号議案
　　名誉正会員推挙の件
　　・第４号議案
　　定款細則の一部改正の件

注）団体正会員については、開催通知を別途郵送しますので、綴じ込みハガキは使用しないで下さい。

設計者のための写真術シリーズ 撮影会参加者作品展

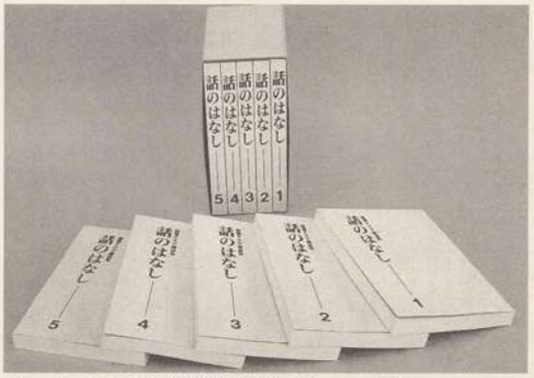
設計者のための写真術パートⅢは、昨年10月28日(土)の午後、神戸ハーバーランドを会場に撮影会を行いました。講師の吉村行雄・竹中工務店本社広報部長とともに、ファインダーから秋の深まったハーバーランドの都市空間を覗いた一日でした。
この撮影会参加者に呼びかけて、作品展を開きます。


吉村講師から“撮影のポイント”を聞く
（ハーバーランド入口地下街にて）

会期　2001年3月22日(木)～4月18日(水)
　　10:00―17:00
　　ただし会議開催時は入室不可
　　土日祝日は休み
会場　㈳日本建築協会サロン
　　（会議室）
　　大阪駅前第３ビル21階
展示　神戸ハーバーランドでとらえた作品を主体に、それ以外の建築をテーマとする写真20点を予定

講演記録集「話のはなし」残部頒布します!

昭和47年6月に発足した「建築クラブ」（日本建築協会会員有志の集まり）は、毎月1回、大阪市内のホテルに学者やジャーナリストをはじめ政界・経済界・文芸界・スポーツ・芸能界など広い分野から講師をお招きして、お話を聞く朝食会を開いております。
1997年、この朝食会の第300回を記念して、講演速記録を集約し、最終的に118回分を5冊1セット（1冊平均約320ページ）の本に編集いたしました。「話のはなし」の講話の内容はとても多彩で、「おもしろい話」「貴重なはなし」「裏ばなし」などがいっぱい詰まっています。



B6判　5分冊

1セット・5,000円（消費税別途）でおわけできることになりました。ご希望のかたは電話またはFAXでお申し込み下さい。
申込先：日本建築協会事務局
TEL06-6348-0635　FAX06-6348-0634

建築クラブ(朝食会) ご入会のおすすめ

日本建築協会会員有志で運営している「建築クラブ」は、現在、毎月１回（第２火曜日）大阪全日空ホテルにおいて学者やジャーナリストをはじめ政財界・文芸界・スポーツ・芸能界など幅ひろい分野から講師をお招きして、講演を聞く朝食会を開催しております。
会員の皆様の情報交換・ご懇談・親睦の場として誠に有意義なクラブでございます。皆様方の是非とものご入会をお願いいたします。
また、ビジターとしての参加もできますので、お気軽にご参加されますようお待ちしております。

●会費　48,000円／年
●ビジター参加料　4,500円／１回
●３月・４月例会予定
＊第347回例会
　平成13年３月13日(火)　am8:30～
　講師／室　孝幸氏
　　（イソライト工業㈱専務取締役）
　演題／全国の小中高等学校の校庭芝生化
＊第348回例会
　平成13年４月10日(火)　am8:00～
　講師／古野喜政氏
　　（元・毎日新聞社ソウル特派員）
　演題／新世紀を迎えて南北朝鮮の今後
●お問い合わせ及びお申込先
「建築クラブ」事務局（日本建築協会総務課内）
TEL06-6348-0635





出版委員会企画
第24回<プロのノウハウ>講座

建築基準法の性能規定を読みこなすコツ（再掲）



企　画　㈳日本建築協会
著　者　高木任之
発行所　㈱学芸出版社
発行日　2000年11月20日
体　裁　四六判288頁
定　価　2,500円+税

日　時　2001年 3 月16日(金)
18:00―20:00
会　場　日本建築協会サロン
＊大阪駅前第３ビル21階
講　師　高木任之氏
芝浦工業大学講師
定　員　30人
受講料　会員3,000円、一般4,000円 ※税込
テキスト　<プロのノウハウ>『建築基準法の性能規定を読みこなすコツ』
テキスト代　特価2,400円 ※税込
＊当日ご持参の方は不要。
申　込　本会事業課へハガキかFAXかまたは電話でお申し込み下さい。
①催し名（「プロのノウハウ講座24」）
②氏名
③個人or団体会員、一般の別
④職場名or学校名
⑤受講票の送付先・電話番号
をお知らせ下さい。
先着順で受講票を送付します。
申込先　〒530-0001
大阪市北区梅田1-1-3-2100
大阪駅前第3ビル21階
㈳日本建築協会事業課
TEL.06-6348-6633
FAX.06-6348-0634

昭和25年の施行以来の大改正といわれました平成10年の建築基準法の一部を改正する法律のうち、２年間の準備期間を経て、いよいよ平成12年６月１日より、いわゆる「性能規定」に関する部分が施行されました。難解と評判の「性能規定」について、『建築基準法の性能規定を読みこなすコツ』の著者であります高木任之氏を講師にお招きし、直接お話を伺う貴重な機会を得ました。氏は、難解な建築基準法を分かりやすく解説されるその道の第一人者です。今回の講座におきましては、
1.不燃・準不燃・難燃材料、2.耐火・準耐火・防火構造、3.耐火・準耐火建築物、4.避難規定、5.防火設備、6.一般構造、7.構造強度規定、8.設備規定の各項目における性能規定に関する条文解説を中心に、この法律の持つ本来の意義といった本質をついた議論や、本では表現できなかった裏話？などなど様々なお話が伺えるものとご期待ください。
日頃、忙しく建築実務をこなしておられる皆様方に「一服の知的刺激清涼剤」として、奮ってご参加いただければ幸いです。　出版委員　岡田邦弘（大林組建築設計部）



高木任之氏（たかぎ　ただゆき）
●昭和30年：北海道大学建築工学科卒業
●主な勤務歴：建設省住宅局建築指導課課長補佐、自治省消防庁予防課課長補佐、千葉県都市部建築指導課長、建設省都市局都市再開発課建設専門官、同計画局宅地開発課建設専門官、宅地開発公団事業部長、住宅・都市整備局公団都市開発事業部第一部長を経て退官、㈶性能保証住宅登録機構専務理事、㈳日本木造住宅産業協会専務理事、東洋大学建築学科講師（都市計画・建築法規）を歴任、現在、芝浦工業大学講師
●主な著書：『新版　建築基準法を読みこなすコツ』『都市計画法を読みこなすコツ』『建築関連法規を読みこなすコツ』『建築基準法の難解条文を読みこなすコツ』『改正建築基準法―テーマ別総合解説』（以上、学芸出版社）ほか多数

これからの建築と社会
第1回講演会

ヨーロッパの団地再生

ヨーロッパのリノベーションモデル、
タウンマネージメントは参考になる



昨年の夏、ベルリン日独センターにおいて開催された「中・東欧の大規模団地再生」に関わる国際会議でパネラーとなったドイツ中部都市ライネフェルデ市長、ラインハルト氏の講演会がわが国において実現、関係者の間で好評を得た。講演対象になったライネフェルデ市では、荒れていた団地の都市住宅再生マスタープランをオープンビルディングの考え方に沿って作成し、建替でなく修復を重視する手法、例えば「住棟を間引く」、「上層部を切り取り平屋の集会所にする」、「バルコニーを増設する」、「メゾネットに改造する」といったことを大胆に実施、加えて道路の改良や職業訓練所を新設する等、ハード、ソフト両面からの取り組みを行い、魅力ある街に再生させていることから、わが国においても参考になると思われる。
そこで、前述の国際会議に日本側出席者の団長として出席、講演をされ、かついくつかの再生事例を見て回られた市浦都市開発建築コンサルタンツの富安秀雄氏に、ヨーロッパ・モデルといわれるこのライネフェルデ住宅団地の事例やその他の事例についてスライドを交えながらお話して頂きます。
我が国もストックの再利用を考えなくてはならない時代。団地再生の意義やこれら手法の導入の可能性をタウンマネージメントの見地から一緒に考えませんか。　（川村眞次）

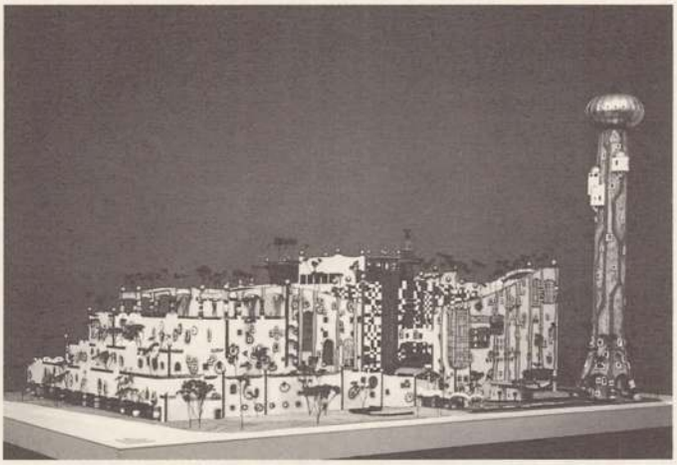


とみやす　ひでお
1928年長崎生まれ。
1954年東京大学工学部分校建築学科卒。
同年市浦都市開発建築コンサルタンツに入社。社長を経て、現在取締役相談役。
この間、1962-3年カナダとスウェーデンの計画事務所に18ヵ月勤務。大阪大学、神戸大学、東京大学等の工学部非常勤講師を務めた。
都市計画の推進で建設大臣個人表彰受賞。
専門は住環境計画・設計。
主要業務
千里ニュータウン豊中・吹田市域の基本設計、泉北ニュータウン、多摩ニュータウン東京都施工区域、成田・平城相楽・厚木等のニュータウン、芦屋浜・明舞・若葉台・香椎浜等の大住宅団地を計画。
●ライネフェルデ住宅団地
ドイツ・チューリンゲン州西部に位置し、人口約５万人、その内４万人がパネル工法の住宅に住んでいる都市。旧東ドイツ政権下において繊維・テキスタイル産業都市として発展、画一的な住棟で構成された大規模な団地が建設された。その後ベルリンの壁の崩壊に伴う市場経済への転換は旧西ドイツ側への人口流出や産業の衰退をもたらし、結果として団地は荒れだしていたのだが、オープンビルディングの考え方を取り入れ大胆な再生を行った。

日　時．2001年4月20日(金)
18:30―20:30
会　場　日本建築協会サロン
＊大阪駅前第３ビル21階
講　師　富安秀雄
市浦都市開発建築コンサルタンツ
定　員　30人
＊申込者多数の場合は抽選
参加費　会員 1,000円、一般 2,000円
学生は半額
＊飲物付、税込
申　込　４月13日(金)までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
①催し名：ヨーロッパの団地再生
②氏名
③個人会員・団体会員・一般の別
④職場・学校名
⑤参加証郵送先
⑥連絡先電話番号
をお知らせ願います。
＊参加証を４月16日(月)に発送します。
申込先　㈳日本建築協会事業課
大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL.06-6348-0633
FAX.06-6348-0634
〒530-0001
主　催　㈳日本建築協会
事業委員会情報小委員会
担当主査：川村眞次／関西都市整備センター
天野直樹／竹中工務店設計部

大阪市環境事業局 舞洲工場見学会
（再掲）

大阪湾の臨海部、人工島の「舞洲」に建設されているごみ焼却工場は、900トン／日の処理能力をもつ、西日本最大級の施設です。
建設地である舞洲は環境共生型のまちづくりを目指しており、本施設においても様々な試みを導入し、環境との共存を目指して計画されています。そのため、公害防止設備の設置はもちろん、エネルギー回収面でも最新技術を導入し、焼却余熱を利用した高効率の発電を行うなどエネルギーの有効利用を積極的に図っています。



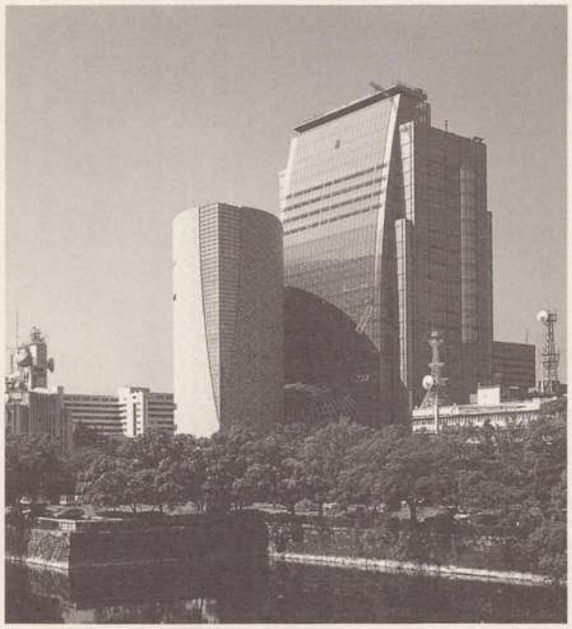
また環境への配慮は、建物緑化を積極的に行うとともに、建物のデザイン面でも考慮され、外観デザインは、環境保護建築プロジェクトの巨匠フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏の手による自然との共生をテーマにしたユニークな外観となっています。
フンデルトヴァッサー氏は、オーストリア出身の画家で、環境アーチストとして世界的に著名な方で、建築作品はヨーロッパを中心に数多くあり、大阪市内でも「キッズプラザ大阪」内に作品が実現しています。

●建築概要
所 在 地　大阪市此花区北港白津1-1
発 注 者　大阪市環境事業局
設計監理　大阪市都市整備局
　　昭和設計
　　フンデルトヴァッサー（外観デザイン）
施　　工　竹中・大成・錢高JV
敷地面積　約33,000㎡
建築面積　約16,800㎡
延床面積　約56,000㎡
構造規模　（工場棟）SRC・RC・S、B2・7F・P2
　　（煙　突）RC・S、GL+120m・φ12.4m
工　　期　1997年３月～2001年４月（予定）

日　時　2001年 3 月27日(火)
　　14:00―16:00
講　師　平賀　良／大阪市環境事業局施設部技術主幹
　　渋谷康雄／大阪市都市整備局営繕部設計課長
　　内本清重／大阪市都市整備局技術監理兼営繕部工事課長
集　合　現地（舞洲／市バス「此花大橋西詰」停すぐ）
　　大阪市此花区北港白津1-1
　　＊JR「桜島」（環状線「西九条」で乗換）駅前より市バス利用が便利です。
定　員　50人 ＊申込多数の場合は抽選
参加費　会員 1,000円、一般 2,000円
　　＊税込
申　込　３月19日(月)までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
　　①催し名:舞洲工場見学会
　　②氏名
　　③個人会員・団体会員・一般の別
　　④職場・学校名
　　⑤参加証郵送先
　　⑥連絡先電話番号
　　をお知らせ願います。
　　＊参加証を３月21日(水)に発送します。
申込先　㈳日本建築協会事業課
　　大阪市北区梅田1-1-3-2100
　　TEL.06-6348-0633
　　FAX.06-6348-0634
　　〒530-0001
主　催　㈳日本建築協会
　　事業委員会見学会小委員会
　　担当主査：熊野健司／大阪市都市整備局

NHK大阪新放送会館 大阪市立博物館 ・考古資料センター 見学会（再掲）

本プロジェクトは、大阪市の「難波宮跡と大阪城公園の連続一体化構想」の一環として計画されたもので、21世紀の情報発信基地として、現NHK大阪放送会館が旧体育館跡地に移転し、歴史系総合博物館としての（仮称）大阪市立博物館・考古資料センターと一体の複合施設として建設される。



当地では、大阪の歴史的ルーツとされている難波宮の貴重な遺構が確認されている。遺構の保存と活用を図りつつ複合施設が一体的にかつ有機的な相乗効果を発揮でき、また大阪の過去と未来を結ぶ文化のシンボルとなる建物を目指している。
建物の構成においては、NHK棟を垂直の曲面及び水平の曲面がゆるやかにセットバックして空へ伸びゆく姿形とし、博物館棟は水平の曲面による紡錘形とし公共施設として印象に残るシンボリックな姿形としながら、周辺の歴史的施設と強い関係性のある配置としている。そして全体的には、水の都・大阪にふさわしい「風をはらんだ帆船」をイメージさせるものとなっている。

●建築概要
所 在 地　大阪市中央区大手前4-6-35
用　　途　放送局、劇場、博物館
建 築 主　日本放送協会、大阪市
設計監理　NHK技術局・大阪市都市整備局・
　　日本設計・NTTファシリティーズ・
　　シーザーペリアンドアソシエーツジャパンJV
施　　工　大林・竹中・戸田・三井・安藤JV
敷地面積　12,999.93㎡
建築面積　7,415.20㎡
延床面積　89,823.98㎡
　　NHK47,518.03㎡、博物館23,649.06㎡
　　共有18,656.89㎡
構造規模　SRC・S、B3・18F・P2
最高高さ　NHK棟134.965m、博物館棟83.34m
工　　期　1997年12月～2001年４月

日　時　2001年 3 月28日(水)
　　13:30―16:30
講　師　種村俊昭／NNC設計JV
　　平澤　要／大手前JV総括所長
集　合　現地
　　大阪市中央区大手前4-1-59
　　＊地下鉄「谷町４丁目」駅より徒歩約５分
定　員　100人 ＊申込多数の場合は抽選
参加費　会員 1,000円、一般 2,000円
　　＊税込
申　込　３月21日(水)までに、ハガキ、FAX、電話でお申込み下さい。
　　①催し名:NHK+博物館見学会
　　②氏名
　　③個人会員・団体会員・一般の別
　　④職場・学校名
　　⑤参加証郵送先
　　⑥連絡先電話番号
　　をお知らせ願います。
　　＊参加証を３月22日(木)に発送します。
申込先　㈳日本建築協会事業課
　　大阪市北区梅田1-1-3-2100
　　TEL.06-6348-0633
　　FAX.06-6348-0634
　　〒530-0001
主　催　㈳日本建築協会
　　事業委員会見学会小委員会
　　担当主査：坂本良高／大林組

読者と織りなす

たて糸よこ糸

「建築と社会」では、読者の声を誌面づくりに役立てるために、皆様の意見と、編集担当者の声を掲載していきます。

■特集「NTT ファシリティーズ」を終えて

昨年の今頃、突然「当社特集」の話が飛び込んできた。

発足後、まだ日が浅い（NTTより分社化して8年）こともあって、果たして特集として態をなすものかと議論もあったが、日本電信電話公社（1952）以来の実績をふまえた上で、敢えて特集企画を請けることとなった。

さて、実行計画に沿って社内・外を含めて関係部署との打ち合わせを重ねつつ資料の収集をはじめ、記事原稿の執筆陣の選任、寄稿文の依頼など、暑かった夏の季節をはさんで約半年間、特集号の発行にむけ日常業務の合間を縫って企画を推し進めていった。

逓信省（1885発足）より数えて1世紀を超える歴史の一端もご紹介し、明けて21世紀初頭の「建築と社会」1月号において特集号としてまとめることができた。

これを機に、将来にむけての技術の伝承と発展に邁進していくつもりである。

（特集企画幹事　H·F）

■ネパールの子供たちの就学事情

21世紀に入り、早々の「建築と社会」の特集は「教育」。

最近の建築系の学生の印象について、何人かの先生方が好奇心と個性の喪失をあげておられたが、その背景には学校に行くことがあまりにもあたりまえになり、教育を受けることのできるありがたさが忘れ去られてしまっているという現状があるのではなかろうか。

私が今有志の仲間とボランティアで学校建設の計画を進めているネパールの山村では、約85%の人たちが読み書きができない。子供たちが学校に通っている割合は約36%。高校はもちろん中学校もなく、40年前にできた小学校は崖崩れで通学できなくなり廃校状態、今ある小学校も屋根が崩れていて、ほとんど使われておらず、野原で先生を囲んで授業を受けているのが現状である。施設が不備であることに加えて、子供たちを学校に行かせるより貴重な労働力として見ている親たちも多く、その結果、就学率はなかなか向上しない。そのような環境の中で、子供たちはみんな好奇心に満ち溢れている。キラキラと瞳を輝かせ、初めて見るもの、初めて聞くものに対する興味はきわめて強い。

世界には学校に行きたくても行けない子供たち、教育を受けたくても受けることができない子供たちがまだまだいることを、日本の学生諸君にも知ってほしいと思った次第である。

（編集委員　T·N）

切り取り線

「建築と社会」読者アンケート

「建築と社会」では、読者の方々のご意見を参考に、充実した誌面づくりをめざしております。今月号で、とくによいと思われた作品、記事、その他についてのご意見をFAXでご送付下さい。
なお、このご意見は、読者と選ぶ第2回『建築と社会賞』の1次選考に反映されます。

□とくによいと思われた作品

よいと思われた理由

□とくによいと思われた記事

よいと思われた理由

□その他、本誌についてのご意見や、取り上げてほしい内容などがありましたらご記入下さい。

2001年3月号

送付先：
㈳日本建築協会
「建築と社会」

FAX 06-6348-0634

お名前 _____

□ご意見は、“たて糸よこ糸”欄に取り上げさせていただくこともありますが、その場合はイニシャルのみを掲載させていただきます。

勤務先 _____ TEL _____

建築と社会 3 2001

ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

1917年創刊　第82集／通巻948号

今月の表紙

デザイン／笹村欽也
今垣内千恵
建築写真／河合止揚

●南大阪教会

設計／村野藤吾
施工／岡本工務店
竣工／1928年
所在地／大阪市阿倍野区

●単純な造形の中に、光と影を巧みに操った、「技」を感じさせる。その後、生み出される数多くの名作とはまた違った、「力」も伝わってくる。天才作家の出発を飾るにふさわしい作品である。（笹村欽也）

■特集予告

4月号／IT社会におけるきずな
5月号／新しい建築に自然素材を（仮称）
6月号／法令特集

編集委員会（平成12年度）

■副会長
井上　豊
薬袋　公明
■編集理事
内田　直樹
小島　雄
佐野　吉彦
竹中　統一
畠山　祐治
広原　盛明
松村　慶三
◎宮田　照久
山田　修
■特集小委員会
□計画分科会
★計画系
伊縫　憲幸
梅田　善愛
梅村　宏尚
小浦　久子
※鈴木　克彦
田中　直人
紅谷　昇平
松田奈緒子
横関　真紀
吉村　英祐
★建築計画系
江副　敏史
※菅野　忠司
小林　優子
児玉　敬志
佐藤不二男
桜井　則雄
笹村　欽也
塚本　史郎
所　千夏
野田　隆史
服部　光宏
吉村　淳二
★インテリア・住宅系
石川　佳子
加藤　力
北浦かほる
小梶　吉隆
佐藤　勝紀
田中　浩介
高野　直樹
※西田　和子
ペリー史子
本山　仁
□構造分科会
岩永　速典
※大氏　正嗣
金田　興熙
河野　隆史
木下　隆嗣
岸本　一蔵
佐治　明志
園田　隆一
田中　剛
田辺　太一
陶器　浩一
松村　和夫

□設備分科会
梶井　宏修
河津　隆之
近藤　国夫
※近藤　正一
田ノ畑好幸
西岡　道雄
野口　太郎
桝井　貴廣
村上幸三郎
谷津　和久
山根　敏和
□施工材料分科会
※植田　実
小椎八重猛
竹中　秀文
太刀川丈爾
十倉　毅
能美　敏男
増田　信久
□法令分科会
伊勢　照男
衣笠　春幸
黒木　省二
※椎名　辰之
中島　和也
西　輝行
■作品作風小委員会
△赤木　隆
淺尾　宏
朝倉　一晃
居内　章夫
井上　雅祐
川上比奈子
倉澗奈千子
寺岡　宏治
中村　文紀
前川　治彦
増田　敬彦
増田　俊哉
山田　俊紀
吉田　健二
■会員企画小委員会
稲木　裕子
大谷由紀子
河﨑　敦子
△高岡　伸一
髙田　光雄
高橋　麗子
辰巳　清一
塚口　明洋
辻川ひとみ
福田　瑞穂
■広告企画小委員会
小幡　義明
加納伸太郎
小山　昭
斉藤　治久
田淵　博昭
△武田　修示
千葉　耕作
平松　勉
福西　延招
前田　衛
渡邊　浩文

◎委員長　△副委員長　※幹事

印　刷　2000年2月25日
発　行　2001年3月1日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　話　06-6348-0635
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
日本データネット株式会社
定　価　1200円〔本体価格1143円〕

CONTENTS

特集●　**東海支部会員作品**

椙山女学園大学文化情報学部メディア棟／大同工業大学新キャンパス／伏木中学校海風会館／名古屋ビジネスインキュベータ白金（N棟）名古屋市上下水道局福江分室（S棟）／津島市立図書館／みのかも文化の森　美濃加茂市民ミュージアム　美濃加茂市教育センター／新名古屋ミュージカル劇場／公立陶生病院南棟増築／刈谷総合病院東分院／複合福祉施設「はなの里」／阿山町保健福祉センター／三重会館／広小路東栄ビル／立山酒造（株）本社工場／J・伊藤ビル／実践倫理宏正会研修会館／世界救世教いづのめ教団尾張西教会／メナードカントリークラブ西濃コース　クラブハウス／長谷川邸／東海労働金庫本店／アピタ美濃加茂店　12

Tokai Sketch Book　52

特集●　**岐阜・大垣—地方におけるIT産業振興の狙いと試み**

［序文］　飛山濃水の風土—岐阜の自然・文化・人間—●伊藤安男　54

［地方に見るIT産業の現状と将来］　岐阜県のIT戦略—スイートバレー構想の実現に向けて●岐阜県農林商工部情報産業課　58

IT産業振興の現状とその障害●岐阜市総合企画部総合企画課　65

大垣市におけるIT産業振興の取り組み●大垣市経済部商工観光課　66

［地方文化振興のための施設づくり］　県営北方住宅建替事業—ハイタウン北方へ—●岐阜県基盤整備部住宅課　68

長良川国際会議場●岐阜市総合企画部総合企画課　70

［情報産業振興のための施設づくり］　ソフトピアジャパンセンター

大垣市情報工房／ソフトピアジャパン・アネックス●高橋守男　72

ソフトピアジャパン・ドリームコア●佐藤宏尚　76

会告　平成12年度第2回通常総会開催．設計者のための写真術シリーズ・撮影会参加者作品展．講演記録集「話のはなし」残部頒布します！建築クラブ（朝食会）ご入会のおすすめ．〈プロのノウハウ〉講座㉔建築基準法の性能規定を読みこなすコツ．これからの建築と社会①ヨーロッパの団地再生．大阪市環境事業局舞洲工場見学会．NHK大阪新放送会館・大阪市立博物館・考古資料センター見学会．読者と織りなす"たて糸よこ糸"　1

作品作風　ネクスタウン鶴見東　6

gallery　AD&A Atelier●駒田哲男（増田敬彦）　8

建築の眼　住み続けられた風景（3）●吉田高子　建築家は黙して語らず?●時田　繁
バーチャル空間●黒田長裕　建物と人間の近似性（3）●曾根健二　10

素材と技術が生み出すデザイン　「土」●奥田英雄×板倉満代　80

法令コーナー　京都市公共建築デザイン指針●松田　彰　82

構造の頁　新しい解析テクノロジーの導入●佐々木仁・猿渡智治　83

設備の頁　共同住宅用スプリンクラー設備の合成樹脂管システム●奥田貢二　85

施工材料の頁　無機系セラミックスコート剤●大森正巳　87

書評　建築企画事典●齋藤　博　88

Book Station　短評4題●大氏正嗣・大谷由紀子・髙岡伸一・塚口明洋　89

information　ATC関西学生卒業作品展．資生堂ギャラリー再オープン．林丈二的考現学一屁と富士山一．西日本トータルリビングショー．「間取り」展　90

月間の動き　平成13年1月分　91

西側のまちなみ



東側ファサード

作品風

設計・監理■
大阪市住宅供給公社
徳岡昌克建築設計事務所

施工■
中道組

ネクスタウン鶴見東

配置計画

敷地は大阪市の東部、茨田大宮に位置する。南北に400m、東西に23mと細長い敷地を8ブロックに分け、その単位ごとに公的でもあり私的でもあるインナーコモンを設け、コミュニティーの形成を促すかたちをとった。住棟は中庭を囲む配置とし、2階レベルをデッキでつなぐことにより、中庭1階レベルが車路となり歩車分離を実現した。
屋根の架け方に変化を加え、外壁面に出入りをもたせ、坪庭に植栽を配するなどリズミカルで戸建て感覚を伴ったまちなみを演出するよう心掛けた。

住戸計画

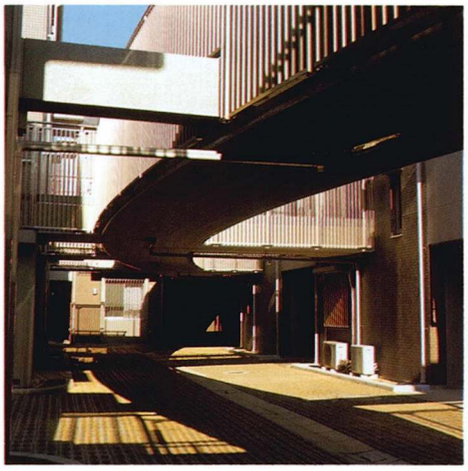
共同住宅ではあるが全住戸を3階の連続建てとし、2階にはデッキからアプローチする玄関、1階には道路及び通路からアプローチする入口を設けた。1階に主寝室、2階にLDK、3階に個室を配し、ルーフテラスを用いて明るく風通しの良い住戸となるよう計画した。1階には全住戸、カーポートとしてのピロティを設け、戸建て感を高めた。

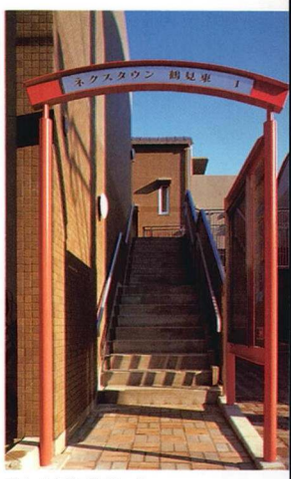
空間計画

今回の住宅の計画においては戸建て住宅と集合住宅の中間的存在として、その両面を持たすことを考慮した。1階からは戸建住宅、2階からは集合住宅とアプローチするレベルによって違う空間構成となっている。これらの異なるつながり方のなかで、人々の生活がいきいきと絡み合って新しいコミュニティーが形成され、賑わいのあるまちなみが創られるよう計画した。

所 在 地 —— 大阪市鶴見区茨田大宮4丁目439-4,12
敷地面積 —— 9,250.14㎡
建築面積 —— 5,190.72㎡
延床面積 ——11,827.95㎡
構造規模 ——RC、3F・7棟（住宅）、平屋建1棟（集会所）
工　　期 ——1999年10月～2000年11月
最 寄 駅 —— 大阪市営地下鉄長堀鶴見緑地線・門真南駅
撮　　影 ——島　修一

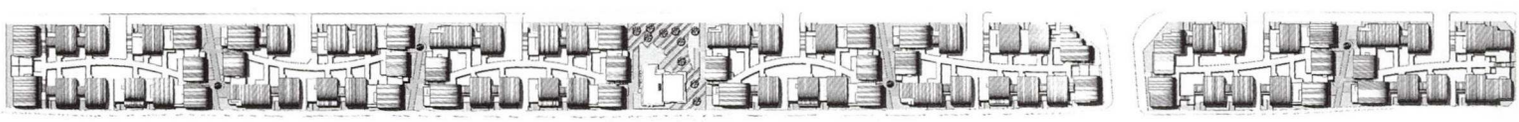

中庭のデッキ


中庭デッキ下の車道



エントランスゲート


広場と南側ファサード


配置図　1：2000

gallery

AD&A Atelier

設計

駒田哲男

肥後橋の街角に少し控えて建ち、一歩足を踏み入れると高い天井を持つ空間特有の静謐さがあり、ゆったりとした気分で良質の現代アートが鑑賞できる。窓からの自然光が空間を満たし、たゆたい、時が流れる。まちなかのオアシス。都心にいることの素晴らしさを実感できるギャラリー。

そしてそのようなギャラリーを持つ仕事場—アトリエを作る。理想を求めて、3度目でやっとたどりついた自分の居場所。天井高は下から4m、3.4m、2.8m、4.5m、2.5mの5階建。階段室を吹抜けとして、さらに天井を高く。省エネの外断熱RC構造の断熱材の押さえにキーストンプレートを囲い、これを捨て型枠としてコンクリートを打つ新工法を工夫。コーナン建設の技術力で精度よく仕上がった。これはベニヤ型枠の架け払いが不要で経済的かつ隣棟間隔の節約も可能となった。キーストンプレートはそのままメンテナンスフリーの外壁材として用いている。毎月4人のアーティストの新作から刺激を受け、物を創造する環境が整ったいま、クリエイティブな意欲はかつてなく高まってきている。



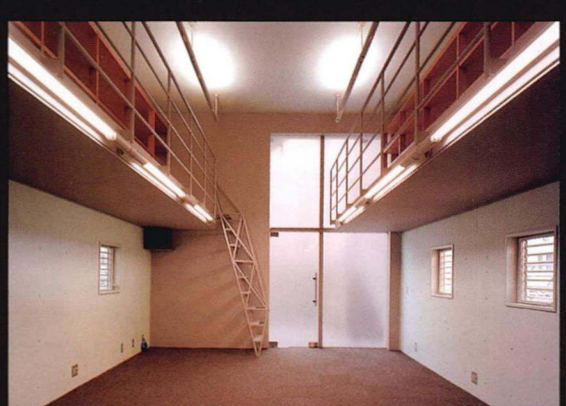
所 在 地　大阪市西区京町堀1-6-12
敷地面積　87.92㎡
建築面積　61.50㎡
延床面積　303.20㎡
構造規模　RC、薄型ラーメン構造5F

駒田哲男（こまだてつお）
1948　生まれ
1972　京都工芸繊維大学意匠科
　　研究室修了
　　日建設計入社
1978　プラットインスティティテュートN.Y
　　環境デザイン科大学院修了
1989　日建設計退社、ＡＤ＆A設立
　　代表取締役　現在に至る
1995　大阪市立大学生活科学科
　　非常勤講師　現在に至る

撮　　影—柄松稔、山崎博正（右頁右上）
企画編集—増田敬彦（作品作風小委員会）









ペインティング　根岸芳郎作

住み続けられた風景（3）

吉田　高子

平成４年、学生が卒業論文作成のために選んだ近代住宅地は堺の浜寺昭和町であった。ここは南海電車浜寺公園駅の東側に広がる大阪町人の別荘地とうたわれた所で、大正から昭和にかけて地主などが中心となり浜寺土地会社を起こし、計画的な良質住宅地を開発したもので、昭和５年、国内初の空地地区指定により、工場進出と人口増加から環境を自衛した地区で知られている所でもある。浜寺昭和町の整然と区割りされた敷地は平均150坪と広く、和風２階建て住宅が門・塀で囲われ敷地の角には大阪の町家と同様、土蔵が建てられるなど、近代への対応は外観には殆ど表わさず、自然な和風の流れのなかに存在するものであった。また、他の近代郊外住宅地と同様、各屋敷の庭園に植えられた松の木の伸び過ぎた有様が遠景からも印象的であった。

平成12年、再びこの浜寺昭和町の調査をすることとなった。平成７年の阪神・淡路大震災、世代交代などを経て、多くの家がその姿を新しく変えていた中、当時の状況を良く残している１軒の住宅を調査に伺った。持主は２度も変わっており、当初の状況を知ることは難しいと予想された。ところが現在の若い持主の手元に、浜寺土地会社当時の１枚の図面（配置図、平面図、立面図が揃ったもの）が遺されていた。初代の持主から住宅と共に３代目の持主にまで受け継がれたこの図面の保存・継承は、住宅地と共に代々の居住者のこの住宅への深い愛着を思わせるものがあった。

近畿大学理工学部建築学科教授

建築家は黙して語らず？

時田　繁

一昔前のことであるが、「男は黙って…」とビールを一気に飲み干すCMが流行った。美味しいものは美味しい。何の言葉がいるものか。実に爽快なCMである。甚だ乱暴な連想ではあるが、「価値あるもの」は黙して語らず、ただ在るのみ。自ずと光を放つのである。

芸術作品がまさにそうである。作者未詳であっても、良いものは良い。価値ある作品は寡黙に、だが雄弁にその価値を語る。そこには何一つ弁を弄する必要はない。およそ、真の芸術家にとって作品の説明など邪道であると、私は思うのである。

さて、建築家という芸術家はどうであろうか。文字が一次元的、絵画が二次元的であるなら建築は三次元的である。次元が高ければより高度な芸術表現が可能であろう。しかし、黙したままの作品を弁護するかの如く、多くの建築家は自分の作品の説明を試る。彼は何を説明しようとするのか。彼の精神かそれとも建物の性能か。

世界遺産の中には法隆寺を始め多くの建築がある。これらは時代考証的な価値もあるが、千年以上の歳月を経てなおその存在価値のあることが偉大である。時代の審判に耐えた本当の価値ゆえ、何も語らずとも人は訪ねてみたくなる。たとえ様式建築と呼ばれようと。

国土交通省近畿地方整備局営繕部長

バーチャル空間

黒田　長裕

40歳を越えたあたりから、ある作家の全集を体系的に読みだすくせがつき、主に時代ものを中心として、池波正太郎や藤沢周平、さらには司馬遼太郎の「街道をゆく」シリーズなど暇にまかせて通読している。特に「鬼平犯科帳」はファンも多く、通勤途中にも手軽に読めるので、自分も熱心な読者の一人である。その楽しみ方はいろいろであるが、私は２つの楽しみ方を別に持っている。ひとつは、当作家特有の季節感を表現した、庶民料理の数々である。出てくるものはどれも質素なものであるが、試食してみるとなるほどというものが多い。但し、新鮮な食材を選ばなければならないが。もう一つは江戸の空間が彷彿と沸いてくる表現である。以下の文、「大川へ船を出し、大川から三ツ俣へ入り、楓川を経て三十間堀川を汐留橋のあたり…紀伊国屋橋の…」。読みながら、江戸切絵図・広重の名所江戸百景、さらには現代の地図とを重ね合わせて眺めて行くと、江戸の空間がいかに変化と風情に富んだものかが創造できる。また、水路や川が生活に溶け込んでいる様子も伺われる。現在の東京には江戸の風情が感じられる所が少なくなったが、地図を読み解くとその深層に与えている微妙な影響度に関心させられる。こういった風に地図をたどっていくのは、自分にとっての一つのバーチャル空間であるとも言える。

（株）エヌ・ティ・ティファシリティーズ関西事業本部都市建築設計部長

建物と人間の近似性（3）

曽根　健二

前回は、建築構造物と人間の骨格との類似性について書かせていただいた。想像範囲を広げて建物や、人間を動かしているエネルギーに関して考えてみよう。人間を動かしているエネルギーは食物の持つ酸化エネルギーであると考えられている。また、建物を機能的に活動させるためには電気エネルギー、熱エネルギーの二種類のエネルギーが使用されているが一般的に熱エネルギーは電気エネルギーで代用可能なので、実際に必要なエネルギーは電気だけで賄うことが可能である。このエネルギーを作用点まで運搬する手段として建物では電力幹線や配管を使用しているが、人間は血液中に含まれるヘモグロビンとブドウ糖がエネルギーを体の隅々まで運んでいる。そして、作用点でヘモグロビンに含まれている酸素とブドウ糖やグリコーゲンが結合し体を動かすエネルギーとなっている。対して、建築物では電気エネルギーを作用点で機械力や、光、熱エネルギーに交換し使用されている。

この対比は仕組みとして近似しており、特に双方とも途中に媒体が存在する点が興味深い。すなわち人間に於いては血液が媒体であり、建物に於いては電気がその媒体となっている。自然界におけるこれらのシステムは、システム的に見て近似している例が多く見られる。このような近似性はいったい誰が創造したのであろうか？、万物の創造主である神か？それとも、宇宙の真理がこれらの近似性を創造しているのであろうか？

㈱きんでん技術本部理事・副本部長

［訂正］平成13年2月号「建築の眼」頁掲載の時田繁氏の勤務先名称が「建設省近畿地方建設局」となっておりましたのは、「国土交通省近畿地方整備局」の誤りです。謹んで訂正いたします。

東海支部会員作品2001

椙山女学園大学文化情報学部メディア棟

大同工業大学新キャンパス

伏木中学校 海風会館

名古屋ビジネスインキュベータ 白金（N棟） 名古屋市上下水道局福江分室（S棟）

津島市立図書館

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム 美濃加茂市教育センター

新名古屋ミュージカル劇場

公立陶生病院 南棟増築

刈谷総合病院東分院

複合福祉施設「はなの里」

阿山町保健福祉センター

三重会館

広小路東栄ビル

立山酒造（株）本社工場

J・伊藤ビル

実践倫理宏正会 研修会館

世界救世教いづのめ教団 尾張西教会

メナードカントリークラブ西濃コース クラブハウス

長谷川邸

東海労働金庫本店

アピタ美濃加茂店

Tokai sketch book

本特集企画・日本建築協会東海支部特別編集委員会
委員長　小宮三辰
特集記事担当副委員長　林　金之
作品作風担当副委員長　植田　明
デザイン広告担当副委員長　池畠佳紀
特集記事担当委員　松本壮一郎
作品作風担当委員　谷　淳之介
委員　今津芳清　尾崎武寛　後藤利秋　篠原佳則　鈴木慶智　仙田　篤　寺本英一　中村嘉男　中村哲士　野崎　勉
福田泰造　細田泰彦　松元親司　武藤謙人　森田富士男　盛田輝勇　山本敦子　芳山明人（50音順）

椙山女学園大学文化情報学部メディア棟

設計監理　伊藤建築設計事務所
施　　工　清水建設名古屋支店



短大統合と、新学部（文化情報学部）開設に伴い、将来の大学院設置計画の準備段階として、メディア棟新築と旧短大棟の改修を同時に行った。傾斜地に建つためフロアレベルが異なる２つの旧短大棟とを、渡り廊下と階段で結ぶ形で計画された。南側（山側）はG階まで土に接する為、G階までを鉄筋コンクリート造、１階以上を鉄骨造とした。

メディア棟はキャンパスの西南端にありながら、新学部のシンボルとして、中央キャンパスヤードからも隣の星ヶ丘自動車学校越しに西側道路からも目を引く様、ハイテックな外観に学園のシンボルカラーの臙脂色を配した。

地階には同時通訳ブース付きのテレビ会議が出来る会議室と、本格的な録音スタジオを持つ。G階の300人収容の大講義室は、学会時のメイン会場や公開講座等にも利用される。４階の学生ホールでは、無線LANやインターネットが自由に使え、レポートを書いたり自習をしたりと、おおいに活用されている。21世紀を迎え、この学部からIT社会をリードする人材が、どんどん巣立っていかれることを願っています。

（小田義彦・天野賢治／伊藤建築設計事務所）



玄関廻り

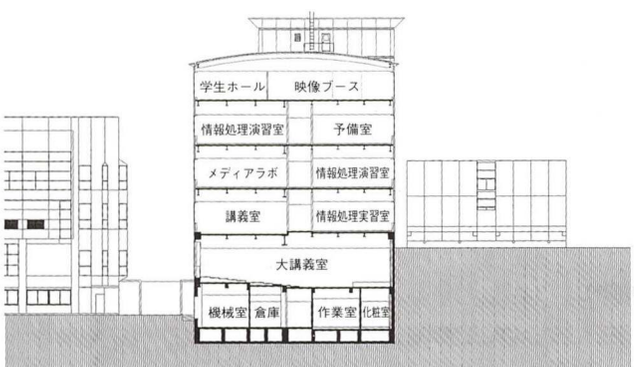


G階大講義室



４階学生ホール

所 在 地　名古屋市千種区星が丘元町17-3
敷地面積　30,850.00㎡
建築面積　　868.79㎡
延床面積　4,439.41㎡
構造規模　RC、SRC、S、B1F、5F、P1F
工　　期　1999年４月～2000年２月
最 寄 駅　地下鉄東山線星ヶ丘駅
撮　　影　エスエス名古屋



断面図　１：800



本館とゴビーホール

大同工業大学新キャンパス

設計　大成建設一級建築士事務所
監理　大同ライフサービス
施工　大成建設名古屋支店

所 在 地　名古屋市南区滝春町10
敷地面積　41,750.79㎡
建築面積　 8,987.80㎡
延床面積　29,895.84㎡
構造規模　RC、一部S及びW、14F
工　　期　1999年7月～2000年12月
最 寄 駅　名鉄河和線大同町駅
撮　　影　エスエス名古屋

当大学は名古屋の南15㎞程に位置する準都市型のキャンパスである。今回創立60周年事業の一環として３つに別れていたキャンパスを統合する目的で計画がスタートした。

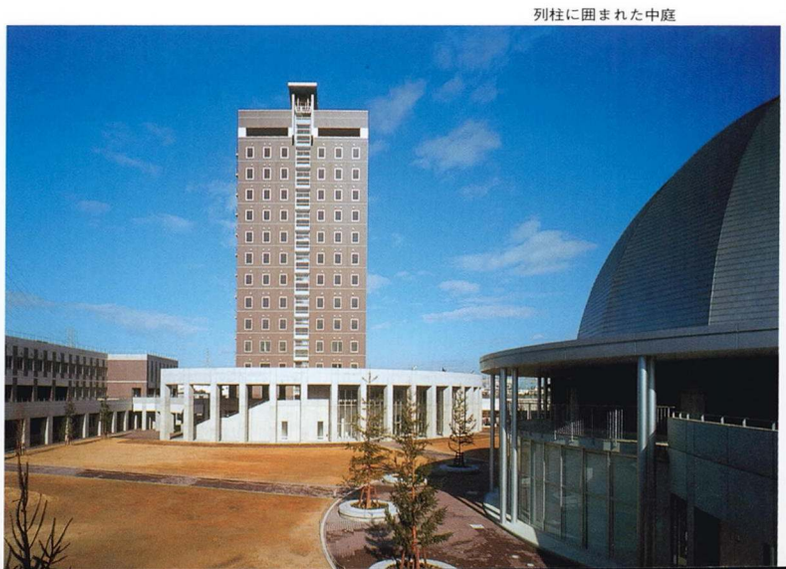
新キャンパスは14階の本館（本部、研究室、標準実験室、学生ホール、ラウンジ等）、４階の第一講義棟（講義室、学生食堂）、２階のゴビーホール（300人講義室、カフェ）、３階の第一実験棟から構成されている。

エコキャンパスをテーマとし緑豊かな植栽や省エネ設備計画、外壁のぽつ窓も省エネに貢献している。また街の中のキャンパス再生ということで街に開かれたキャンパスを目指しどこからでもアプローチできるようにしている。とりわけゴビーホールは地域や企業に対しての利用を考慮し独立形態をとっている。またドームという形態を取ることによりわかりやすさと親しみやすさをねらった。ステージ側は全面ガラスのフルオープンサッシとし講義のみならずイベント時には外部と一体化したさまざまな利用ができるようにしている。

第一講義棟の風穴（ボイド）



列柱に囲まれた中庭





第一講義棟の大階段とケヤキ並木

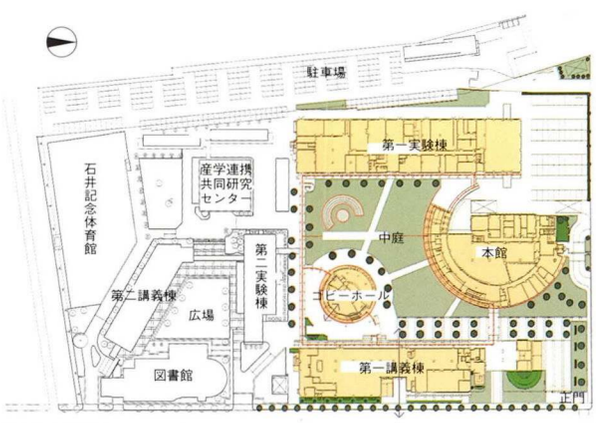
各棟は中庭を囲むかたちをとり東西のスクエアな囲みの中に円形を持ち込みシークエンスに豊かな動きを感じさせるよう意図した。また1階レベルでは雨にぬれずに一巡することができる。講義棟の中央には講義の合間に一息つけるよう大きな風穴をあけ広いブリッジを設けた。2階レベルには広いテラスを設け憩いの場としている。

基本的なデザインコードとして〈繰り返しと全休止〉をテーマとしている。繰り返しによる安定感、安堵感に対し全休止による意外性のようなもの。形態的にはストライプとボイド、列柱と壁の操作を行っている。外壁は茶系のタイルと打ち放しコンクリートのツートンにポイントとして白い塗装の部分を加えている。重くもなく軽すぎもしない中庸をねらったつもりである。

（川地正数、富川桂二郎/大成建設一級建築士事務所）



300人講義室の木造ドーム（奥のサッシはフルオープン可）



配置図



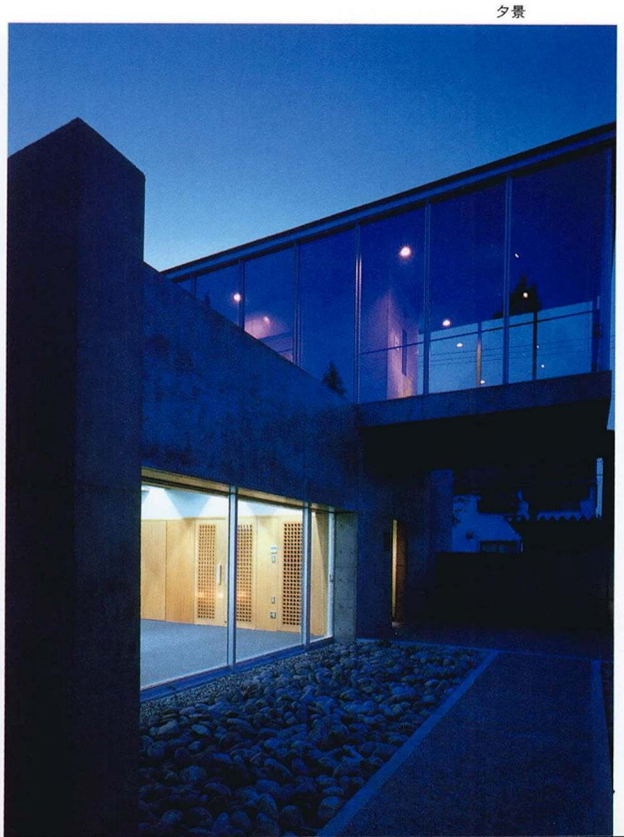
ポツ窓のくりかえしの第一講義棟▶

全景（南東より）

全景（アプローチより）



夕景



伏木中学校 海風会館

設計施工　竹中工務店

所 在 地　富山県高岡市伏木古府3-1-1
敷地面積　37,701.00㎡
建築面積　196.56㎡
延床面積　241.92㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　1999年９月～2000年３月
最 寄 駅　JR氷見線伏木駅
撮　　影　吉村行雄

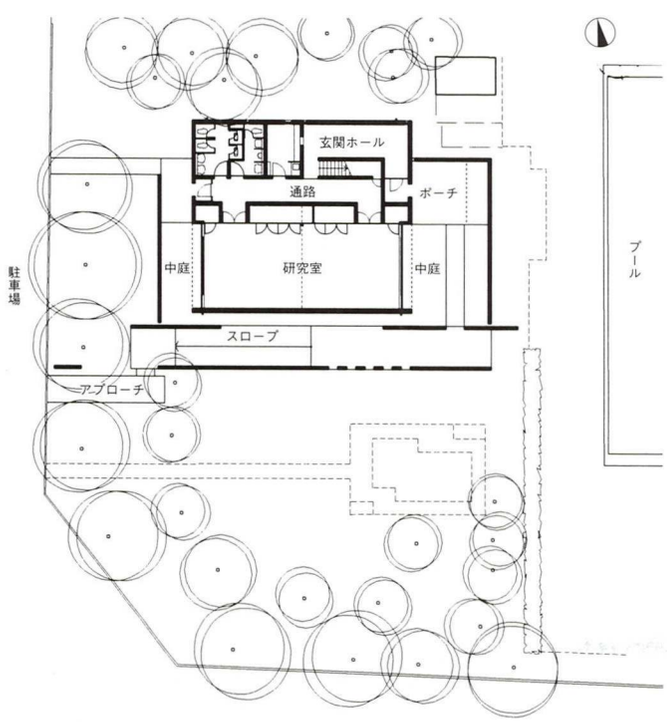
この建物は98年９月に亡くなった当地出身の芥川賞作家　堀田善衞氏を記念して、計画されたものである。堀田氏は伏木の廻船問屋に生まれ、戦時中の上海を初めに海外を転々とし、国際的視野を持つ作風で多くの作品・エッセイを残した。昭和26年「広場の孤独」で芥川賞を受賞。また、計画地である伏木中学校の校歌を作詞している。

高岡市伏木地区は庄川・小矢部川の河口に位置し、古くから越中の国府として開かれた歴史ある地域である。建物は伏木中学校正門脇の庭園の中に位置している。

１階は研修室を中心に関係諸室からなり、塀や壁を慎重に配置し思索の場として閉鎖的に扱っている。その上に校歌の中でも歌われている精神の自由を反映した開放的な記念展示室が載っている。寡黙に思索を重ね、作品を創り続けた堀田氏のスタンスを受け継ぎ、記念碑的ではない記念館とすることをテーマとし、抽象形態や空間のシークエンスにより記念性を演出することを意図した。

ともすれば閉鎖的になりがちな学校という枠組みに対し「広い世界で働こう　広い世界を知り抜こう」と語りかけた独創的な校歌の持つ意味を汲み取り、学校という枠組みの中だけでは吸収しきれない多感な中学生の自我を受け止めることのできる ーもうひとつの場所ー となることを期待している。

（水谷考治／竹中工務店設計部）



配置図　1：1500



▲１階研修室



展示室より外をみる▼

▲２階展示室

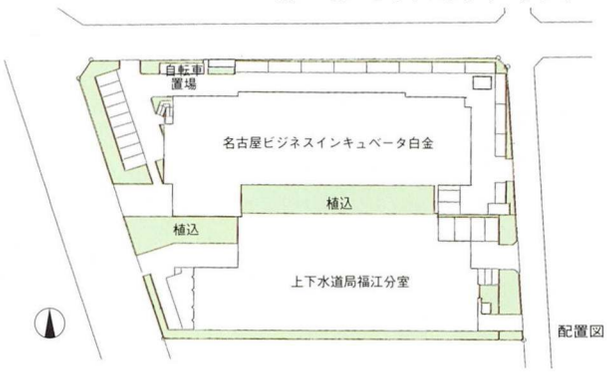


北西外観

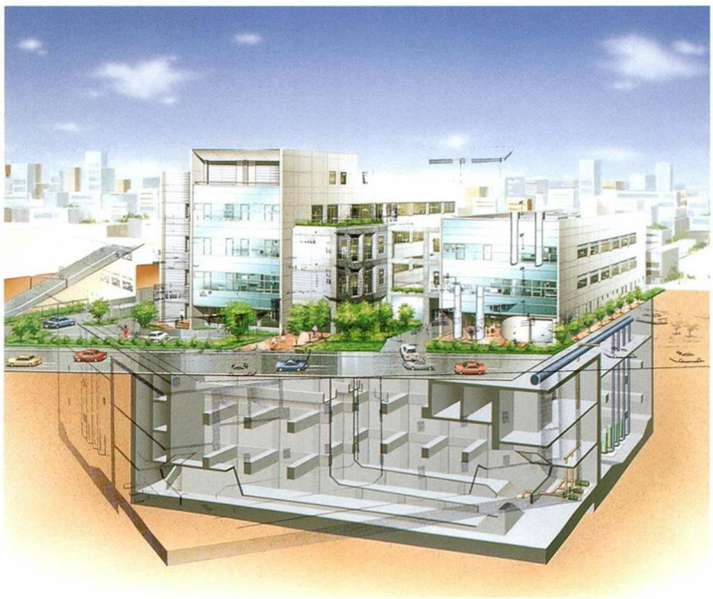
名古屋ビジネスインキュベータ白金（N棟）
名古屋市上下水道局福江分室（S棟）

所 在 地　名古屋市昭和区福江2-9-33
敷地面積　5,846.52㎡
建築面積　3,070.14㎡
延床面積　10,751.52㎡
構造規模　RC、B1F、5F
工　　期　1997年３月～1999年７月
撮　　影　フォトスタジオ・タクミ

設　　計　東畑建築事務所名古屋事務所
監　　理　Ｎ棟：名古屋市住宅都市局営繕部営繕課
　　Ｓ棟：名古屋市上下水道局下水道建設部施設課
設計協力　機械設備・電気設備：シンワ設備設計事務所
施　　工　Ｎ棟　建築：前田建設工業
　　電気：白川電気土木
　　空調：閑林工業
　　給排水衛生：柿沼管工業
　　昇降機：東芝
　　Ｓ棟　建築：前田・錢高・新井特定建設工事共同企業体
　　電気：白川電気土木
　　空調給排水衛生・昇降機：閑林工業



配置図



全体パース

当施設は、地下に大雨による周辺地域の浸水対策と、排水先河川の浄化を目的とした機能を併せ持つ「雨水滞水池」が建設されており、その上部空間を有効利用したものとなっています。

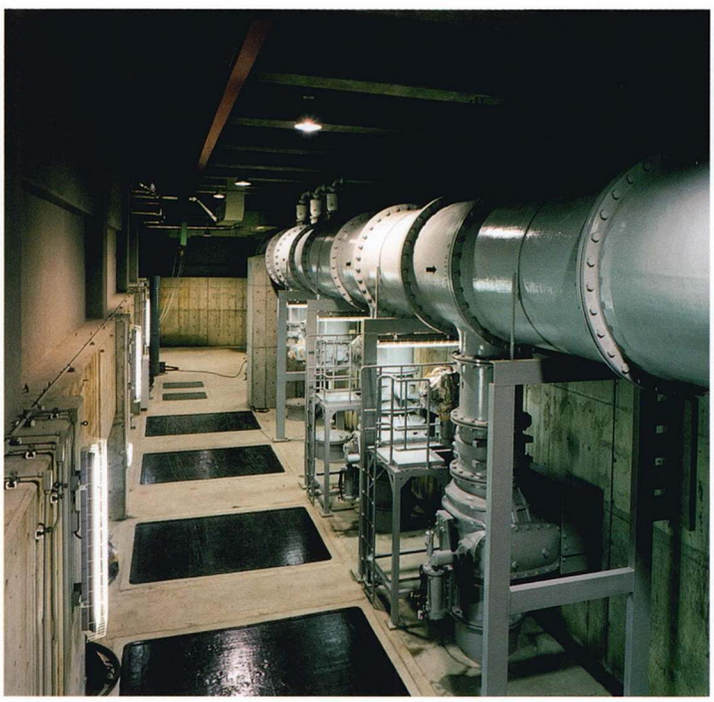
北側（N棟）は、名古屋市の外郭団体「(財)名古屋市工業技術振興協会」による、情報・エレクトロニクス等の研究開発型の中小企業支援を目的とした賃貸型施設「名古屋ビジネスインキュベータ白金」、南側（S棟）は、名古屋市上下水道局の出先施設「名古屋上下水道局福江分室」となっています。

周辺環境への配慮から、道路側のセットバック空間を確保し、都市に於けるより良き緑化環境の形成とオフィスアメニティーの一翼を担えるよう、屋上も含め緑化に努めています。

管理・利用形態とも別々の施設ですが、外観は、都市景観上の観点から別個のデザインとはせず、一体的なデザインとしています。それぞれの主要用途部分を、ダイナミックな壁と熱線吸収硝子で構成した、ヴォリューム感のあるシンプルな塊として捉え、その間を、緩衝空間としつつ打ち放しのフレームにて繋いでいます。

S棟では、下水道施設につきものの水門開閉用スピンドルと、将来対応の発電機からの排気用煙突を、化粧柱として隠蔽処理することにより、外観上の特色として施設全体の統一感の中にも差異化を図っています。

（佐伯　博・米田　聡・市川英一／東畑建築事務所名古屋事務所）



S棟地下貯留施設のポンプ設備



N棟エントランスホールより中庭を望む



東より中庭を望む



（S棟２F）テラスよりN棟を望む　※C&D No.119.1999秋号より掲載



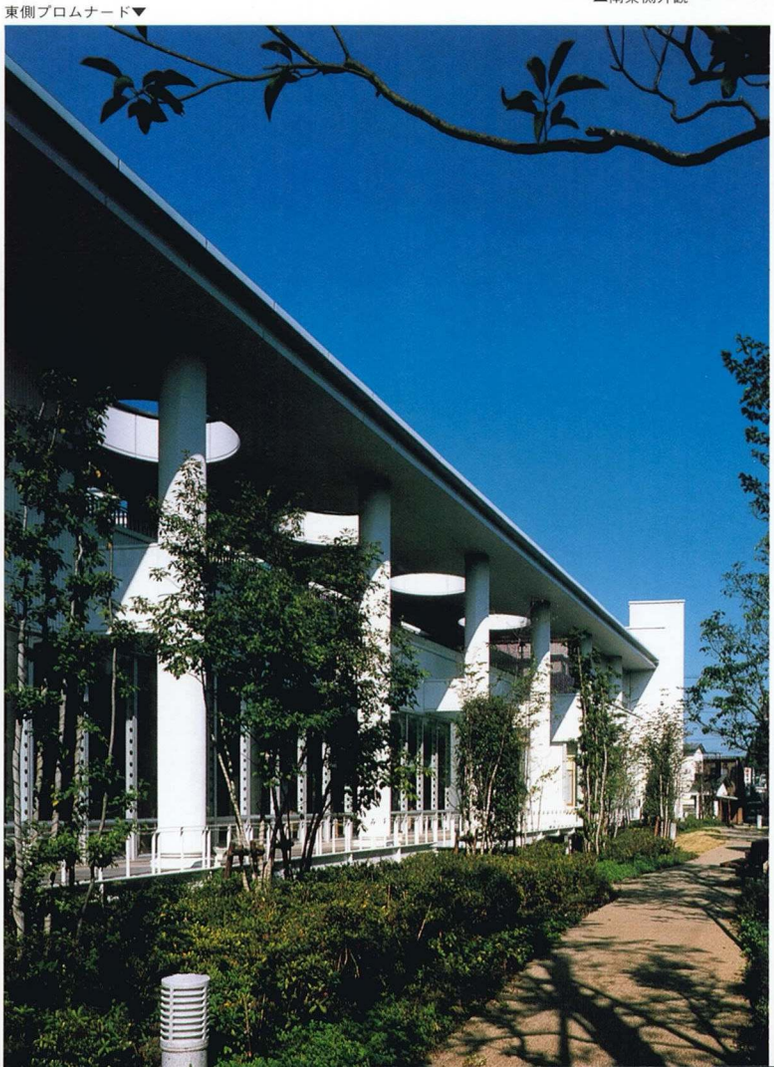
N棟貸事務所

▲南東側外観

ライブラリーテラス▼



東側プロムナード▼



西側外観▼



津島市立図書館

設計監修　図書館情報大学副学長　植松貞夫
設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　建築：戸田・天王建設工事共同企業体
　　電気：大栄・新和建設工事共同企業体
　　機械：富士・井戸重建設工事共同企業体
　　環境整備：朝本組

津島市立図書館の発祥は、1895年（明治28年）に海東西郡教育会が創設した「日清戦争凱旋記念書籍館」にさかのぼります。あたらしい図書館では従来の単に図書やAVメディアを借りるだけの場ではなく、ワンルームのオープンな閲覧空間を中心に、調べもの室や文の舎（タタミコーナー）、おはなしのへや、ライブラリーテラスなど多様な閲覧空間を用意することにより、利用者がそれぞれの利用目的をはたし快適に長い時間を過ごせ、特段の目的をもたない人でも集まってくるような空間づくりに配慮し、人と人、人と情報の「出会いと交流」「発見と感動」が生まれる図書館として計画しました。

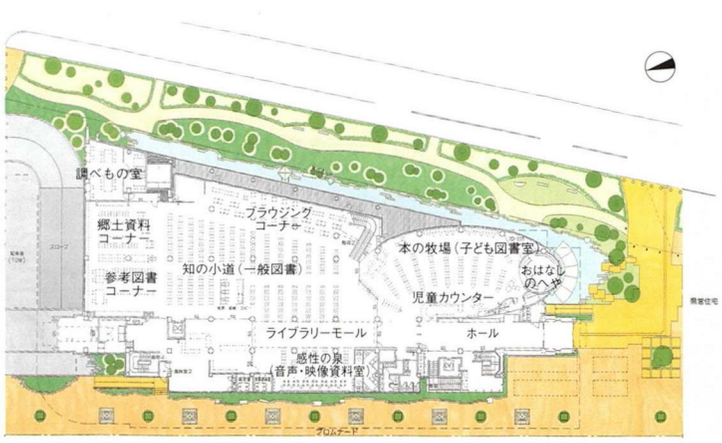
閲覧室においては、従来の天井からの直接照明でなく書架付照明の間接光によるやわらかな光により暖かみのある空間としています。またワンルーム空間内での利用環境の違いを天井高さ、照明、仕上げ、書架レイアウトの変化で分節し、利用者が読み取りやすい空間づくりとしています。

水上で催される津島祭りの主会場となる天王川公園から続く中央緑地との連続性に配慮し水と緑の遊歩道を整備し、親しみのある個性的なまちなみの景観形成を果たしています。

こうした「ゆとりと潤いのある空間」のもとで情報化の進展に柔軟に対応できるフレキシビリティと安全性、やさしさを備えた施設として、多様なメディアと接したり、多世代の交流を通して家族や友人との絆を強め、さらに新しい文化の創造を触発する場となる「長時間在館型となるこれからの滞在型図書館」としています。

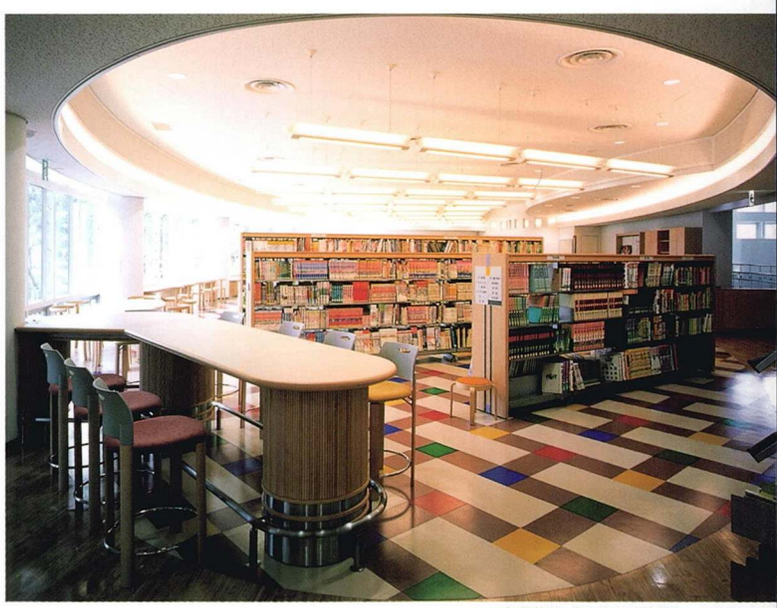
（大島弘資、寺西敦敏/安井建築設計事務所）

所 在 地　愛知県津島市老松町1-1
敷地面積　4,068.65㎡
建築面積　2,148.17㎡
延床面積　5,900.41㎡
構造規模　S（地上部）、RC（地下部）、B1F、2F
工　　期　1998年9月～2000年3月（2000年11月開館）
最 寄 駅　名鉄津島線津島駅
撮　　影　黒住直臣、加藤敏明、ヤマギワ（株）



配置図・1階平面図


▲知の小道（一般図書）


▲本の牧場（子ども図書室）

ライブラリーモール▼





▲航空写真

正面外観（夜景）▼



みのかも文化の森

美濃加茂市民ミュージアム
美濃加茂市教育センター

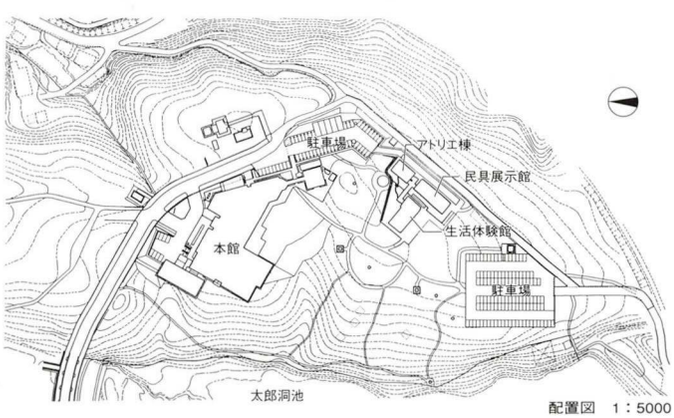
設計監理　日建設計
施　　工　建築：フジタ・東海建設建設工事特定共同企業体
電気：中部電業
給排水衛生・空調：戸島工業
付帯施設：セブン工業
展示：日展

この文化の森は、「交流のまち美濃加茂市」のシンボルとして企画され、「森の学校として、学校教育の体験学習に加えて社会教育・生涯学習の場」にすることをねらいとしている。施設は、市民ミュージアム（博物館・美術館）と教育センターを併せ持つ本館を中心に、生活体験館（まゆの家）、民具展示館、アトリエ棟等多様な施設を、連続性を保ちながら広大な森の中に配置した。

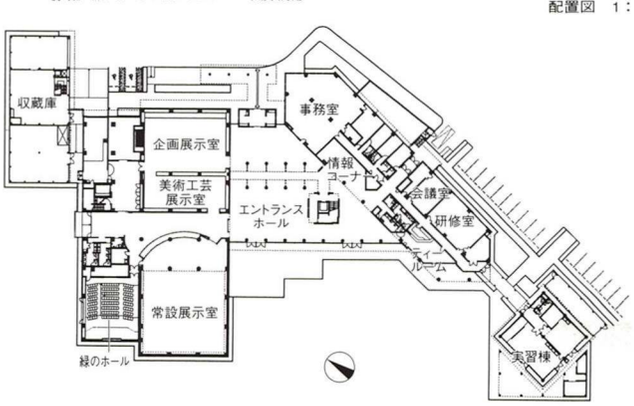
本館は、エントランスホールと一体となる展望塔を中心に、居住性が要求される教育センターを東側へ、壁に囲われたミュージアムを西日を遮る形で西側に設けた。エントランスホールは、南の森に向かって開かれた形とし、各施設及び屋外フィールドへの導入空間であると共に、多目的活動のためのスペースとしている。大断面集成材で樹の幹を表現した架構は、緑豊かな自然との繋がりを一体にさせ、まちの新たな憩いの場として暖かみとやすらぎを感じる空間としている。また、生活体験館（まゆの家）は、市内に残る養蚕農家をモデルに実測し、復元している。

（佐藤義信、村田政人、石倉義行/日建設計）

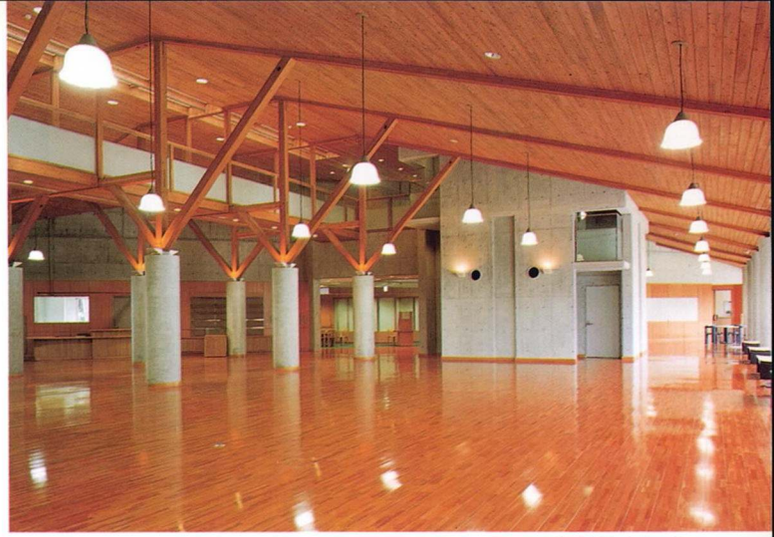
所 在 地　岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋字尾崎3299-1
敷地面積　27,559.59㎡
建築面積　3,725.13㎡
延床面積　5,999.86㎡
構造規模　SRC、RC、S、W、B2F、3F、P1F
工　　期　1998年6月～2000年3月
最 寄 駅　JR高山本線美濃太田駅又は名鉄可児線日本ライン今渡駅
撮　　影　セントラルフォト



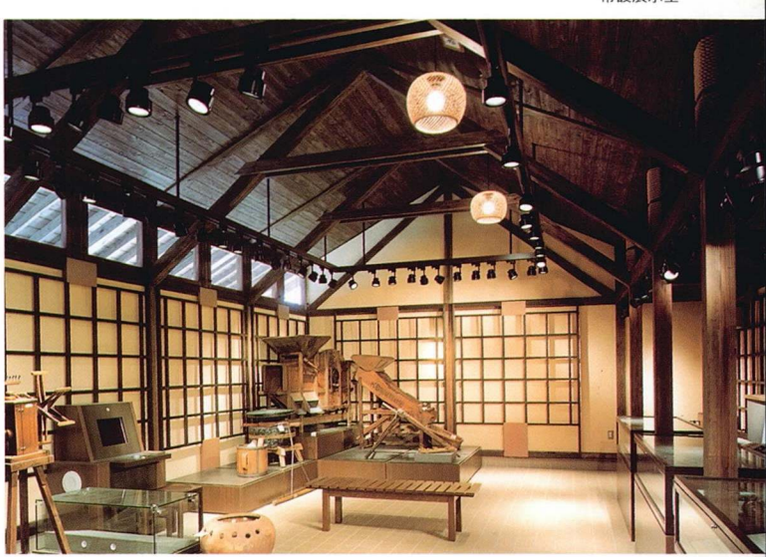
配置図　1：5000



1階平面図　1：1500


エントランスホール


常設展示室


▲民具展示館内観

生活体験館（まゆの家）▼

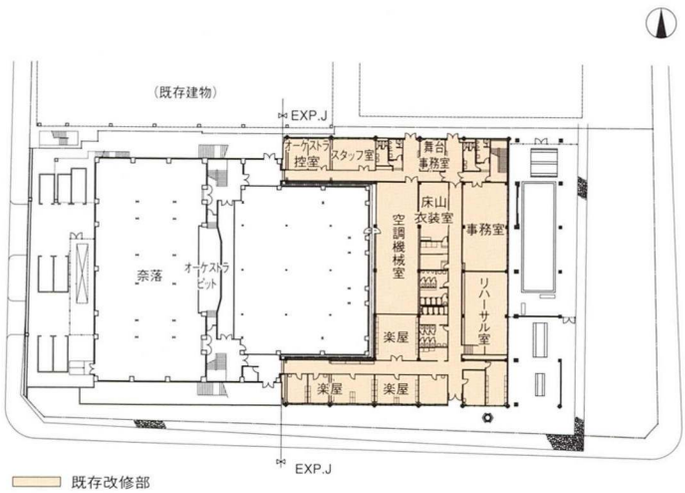


外観東面夕景

新名古屋ミュージカル劇場

設計　企画設計：劇団四季　設計：東畑建築事務所
監理　劇団四季・東畑建築事務所
施工　大林組・大日本土木共同企業体





1階平面図　1：1200

建設地は名古屋駅と伏見駅に挟まれ、堀川沿いに再開発が期待されている「納屋橋東地区」の一角にあります。
昭和40年代に全盛を誇った「納屋橋界隈」の栄華を残すボウリング場を劇場として甦らせるというアイデアからこのプロジェクトは出発しました。

※　　※

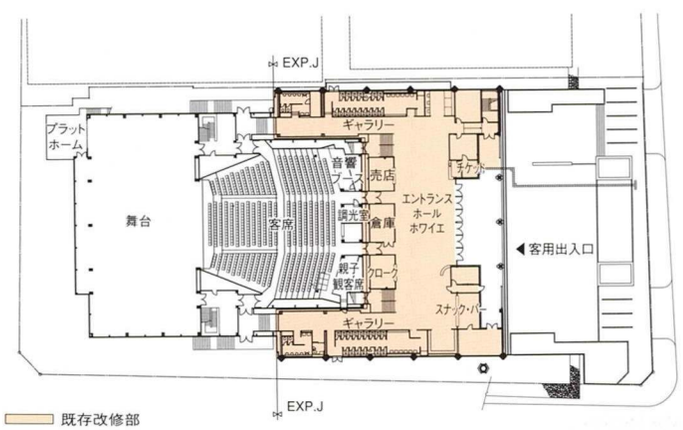
施設の全体構成は、当初企画段階では、ボウリング場の屋根を構成する立体トラスの下に客席２層分をそっくりはめ込んでしまう構想でしたが、既存トラスの補強や地下掘削工事の増大、工事工程の制約から断念し、最終的には、既存のＲＣ躯体の約半分を凹型に残し、１階部分を楽屋、スタッフ関連諸室に、２階部分をホワイエ、客用サービス部分（敷地東西の高低差から２階部分がメインエントランスとなっています）にそのまま改修して利用し、劇場（客席・舞台）空間として必要とされるボリュームを新たにＳ造で建設し凸型にはめ込むという形で設計されました。
劇団四季の劇場づくりのコンセプトである「ソフト優先」の思想を反映させ、演目によって変わる舞台演出に自由に対応できる劇場構造を実現させるとともに、客席と舞台との距離を重視し、プロポーションとエアーボリュームを抑えた緊密な客席空間とし、演じやすく、見やすい劇場づくりを目指しました。

※　　※

本施設は再開発事業が開始されるまでの５～６年運用される仮設的な劇場としての運命にありますが、地域に新たな人の流れを生み出し、かつての賑わいを想像させるような魅力ある空間として再生しています。その役目を終えた後、再び地区のポテンシャルアップを図る魅力ある空間として甦らせてみたいと思っています。

（森島敬美/東畑建築事務所）

所 在 地　名古屋市中区栄1-2-26
敷地面積　5,192.03㎡
建築面積　3,727.62㎡
延床面積　4,457.08㎡
構造規模　S、RC、3F
工　　期　1998年9月～1999年4月
最 寄 駅　JR名古屋駅
撮　　影　加藤敏明（アーキフォトKATO）



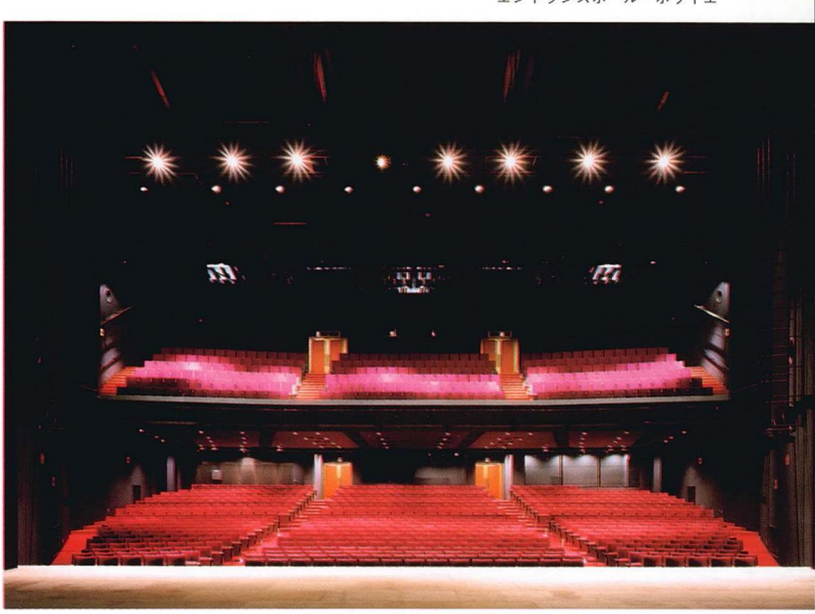
2階平面図1：1200



正面



エントランスホール・ホワイエ



客席



航空写真

公立陶生病院 南棟増築

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　建築：大成・鴻池・大数建設共同企業体
　　給排水衛生：第一工業
　　空調：新菱冷熱工業
　　電気：トーエネック

所 在 地　瀬戸市追分町160番地
敷地面積　39,352.30㎡
建築面積　 2,275.75㎡
延床面積　13,115.60㎡
構造規模　SRC、B1F、6F、P2F
工　　期　1998年5月～2000年3月
最 寄 駅　名鉄瀬戸線市役所前駅
撮　　影　エスエス名古屋



遠景



外観南面



玄関ホール



エレベーターホール

公立陶生病院は瀬戸市をはじめ尾張旭市、長久手町の２市１町で構成する公立病院である。

昭和11年の開設以来、増改築を重ね、老朽化が目立ち、また迷路化していた状況を一新するため、昭和62年に全面的な増改築を行い、739床の大病院として生まれ変わった。

しかし全面増改築が完成して以来、早くも10年が経過した。日進月歩の医学や、相次ぐ医療法の改正などの医療体制の変化に対応し、地域の中核的二次医療機関としての機能と責務を全うするために、抜本的な施設整備の必要に迫られた。MRI等の「高度先進医療機器の導入」「救急医療体制の整備」「周産期母子・リハビリ・人工透析の各センターの充実」を計るため、この南棟の増築となった。

増築スペースは既存の外来棟と東棟に接する位置とした。敷地を確保するために、既存の看護婦宿舎の撤去移転、駐車台数を確保するための立体駐車場の整備等、平成８年からその準備に費やし、平成10年５月の着工に漕ぎ着けた。

限られた敷地の中で、また、病院機能を一時とも休む事なく、工事を進めるために施工方法についても、基本設計段階から、様々な検討を加えた。結果として名鉄瀬戸線側に工事用進入路を確保する事で、大きな混乱も無く無事工期内に竣工する事ができた。また、この工事用道路を利用し、約700台の駐車場の動線を整理し、日常的であった朝の混雑の緩和を図ることができた。

増築棟の外装は、既存の建物と同調させ一体感をもたせた。内装については「病院臭さ」を消す工夫として、ベージュ色を基調とし、中庭ギャラリー・各エレベーターホールのステンドガラス・レリーフ・陶壁画など、ヒーリングアートを各所に配した。

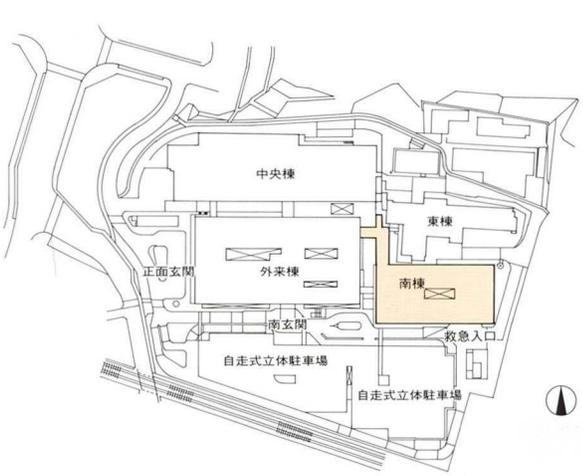
（中村哲士/安井建築設計事務所）



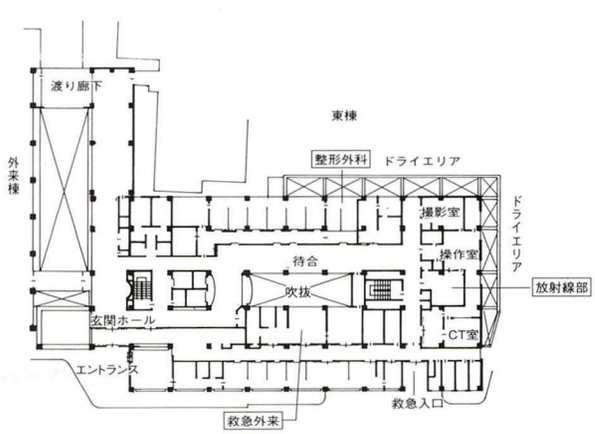
1階待合



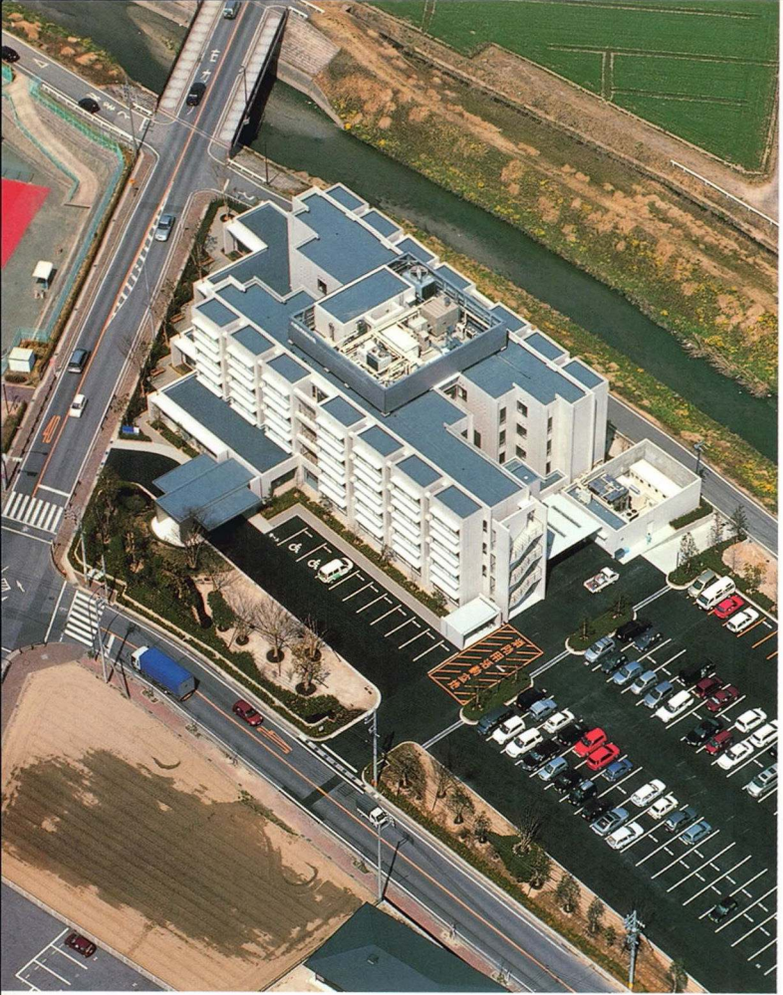
屋上庭園



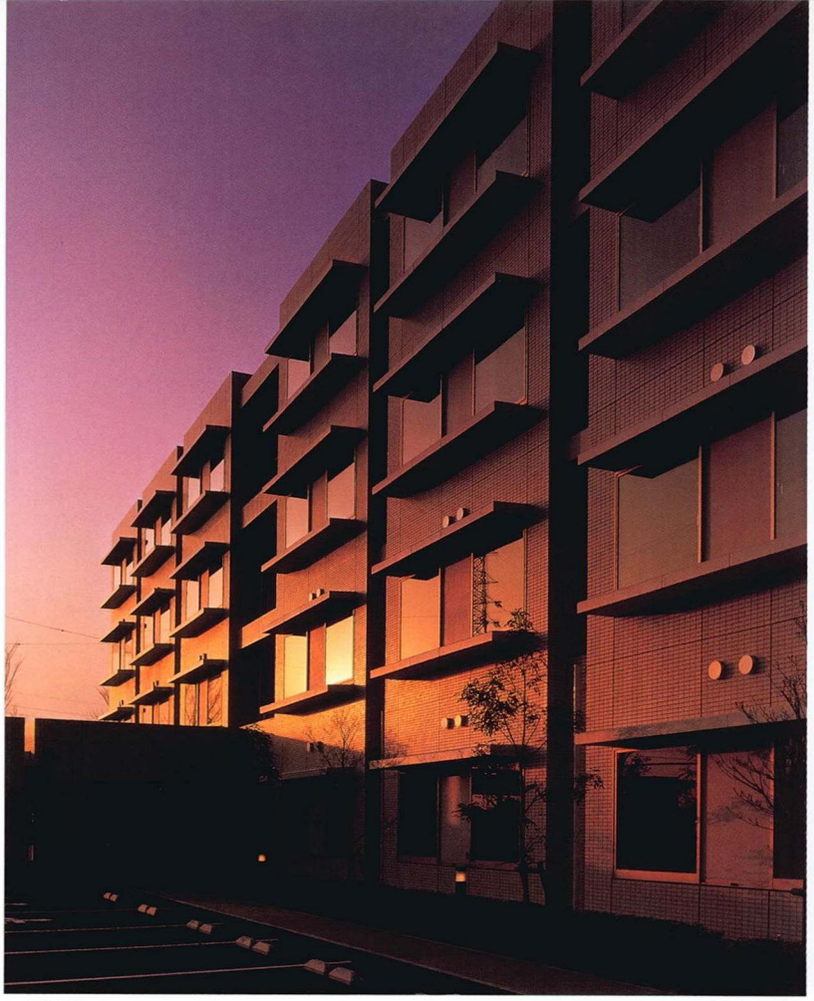
配置図　1：4000



1階平面図　1：1200



南東上空▲



▲南面夕景

▼南西全景



刈谷総合病院東分院

設計施工　竹中工務店

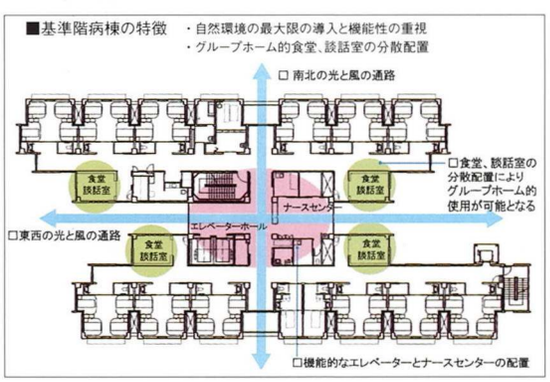
当東分院はトヨタグループ主要７社と刈谷市により設立された医療法人豊田会が、様々な地域の医療福祉ニーズに応えるための中核施設の一つとして企画、建設された。既存の本院を急性期患者対応とするため、慢性期患者を受け入れる療養型病院として位置づけられ、長期にわたって入院する患者に対してアメニティの高い療養空間の創造が重要なテーマとなった。このため、入院する人々に外部の光と風を届けることを目的に、各病室の間にライトウエルを挟み込んだ個室的多床室平面を採用した。４床室の廊下側のベッド際でも光と風をコントロールし享受できる豊かな療養空間となっている。また外側の窓に通風可能な大型片引窓を採用し、外部の光と景観を最大限取り込むことが可能なピクチャーウインドウとした。これらのライトウエルと大型窓、その上下に設けた庇により、建物にヒューマンスケールで彫りの深い表情を与えている。

外構計画についても、北側の川になだらかに繋がる敷地の原形状を生かした中に豊富な植栽を施し、築山や遊歩道を設け、患者や来訪者にとって心を和ませる癒しの環境となることを意図した。

地球環境への対応としてエネルギー量を削減するため、マイクロガスタービンによるコジェネシステムを導入し、省エネルギー化を図った。また院内感染防止のため外気処理用として菌の増殖・飛散を抑えるデシカント空調機に、このコジェネシステムから発生する排熱を利用するシステムを構築した。

（早川増彦/竹中工務店設計部）

所 在 地　愛知県刈谷市半城土町東田7番地
敷地面積　7,570.00㎡（駐車場含む）
建築面積　1,951.74㎡
延床面積　5,140.06㎡
構造規模　RC、4F、P1F
工　　期　1999年３月～2000年３月
最 寄 駅　JR東海道線刈谷駅
撮　　影　エスエス名古屋







▲受付・待合



▲機能訓練室



▲食堂談話室

4 人床室▼

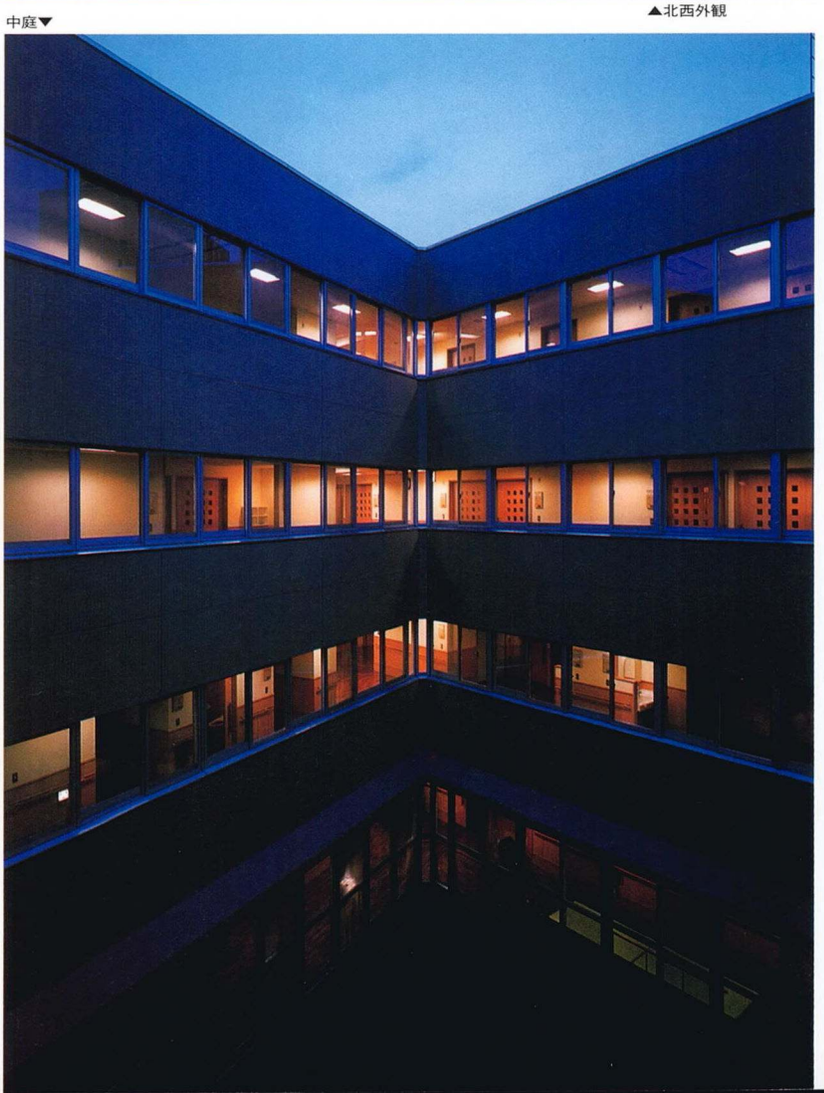


▲北西外観

バルコニー端部ディテール▼



中庭▼



複合福祉施設「はなの里」

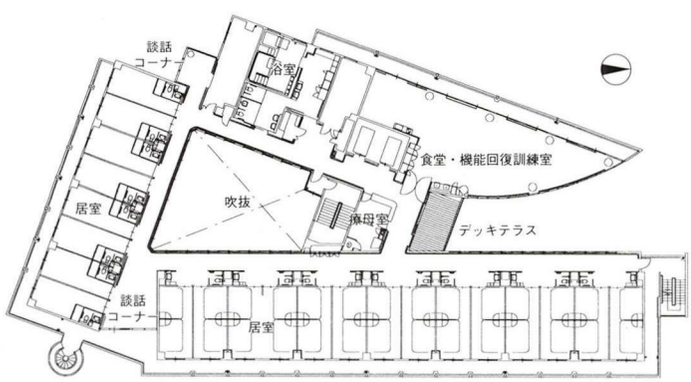
設計監理　大建設計名古屋事務所
施　　工　安藤建設・丸栄建設共同企業体

「はなの里」は、特別養護老人ホーム（70人）、ケアハウス（20人）、身体障害者療護施設（22人）、さらに在宅介護支援のための老人、身体障害者それぞれのデイサービスセンター（各15人）、在宅介護支援センター、ヘルパーステーションを有する複合施設である。1階をデイサービスセンター及び管理部門、2階を身体障害者療護施設、3・4階を特別養護老人ホーム、5階をケアハウスとしている。建物は居住環境として最も条件の良い東、南面を居室とし、地形的に開けた景色の広がる北西側に食堂、機能回復訓練室などの共用スペースを配置した。また各階は一介護単位である20人から35人のグループで構成され、日々落ち着いた生活を保障するため、それぞれの階で食事から入浴までの基本生活を完結できるよう計画した。

分節化された建物はボリューム間に様々な隙間を生む。談話スペースやテラスにしつらえたこの場所からは周囲の豊かな自然をいろんな角度から眺めることができる。また中庭を囲む片廊下からは吹き抜けを通してどの階からも各階の人々の動きを見渡すことができる。居室と食堂を結ぶ廊下の延長上に様々なフリースペースを設けこれらを自然に開くことで、より豊かな空間を展開させ同時にここに暮らす人々の一体感、安心感を生むことを意図した。

外観は自然な素材感のある仕上げによって、明るくシンプルにした。弧を描く壁面と水平に連続するバルコニーは重量感のある形態から逃れ軽快さを生んでいる。

（小山哲男＋近藤崇/大建設計名古屋事務所）



特別養護老人ホームフロアー　3，4階平面図

所 在 地　名張市西田原2000番地
敷地面積　3,069.99㎡
建築面積　1,617.88㎡
延床面積　6,090.02㎡
構造規模　RC、6F
工　　期　1999年9月～2000年3月
最 寄 駅　近鉄大阪線名張駅
撮　　影　エスエス名古屋



▲東面外観



▲バルコニー



▲食堂・機能回復訓練室

居室▼





外観北面



外観北面ディテール



外観南東面

阿山町保健福祉センター

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　清水・丸栄特定建設工事共同企業体

阿山町は三重県の北西部、伊賀盆地の北端、滋賀県との境に位置し伊賀焼の産地と知られている。保健福祉センターは介護保険制度の導入にあわせて、保健、福祉サービスの拠点施設として平成12年４月にオープンした。

当施設の機能として、福祉部門の１階には、事務室、洗濯室、機能回復訓練室、２階に浴室、和室がある。近くに特別養護老人施設があるため、比較的健康な老人を対象にしている。保健部門は乳幼児から老人までの各種検診、健康相談・指導・実践を対象とし、１階に事務室、各種検診室、２階に栄養指導室、栄養実習室、創作活動室、健康指導室があり、栄養実習室ではボランティアによる給食サービス活動も行われている。

配置は、町役場と中庭を挟んで向き合うため、町役場の軸線から離して、車寄せとエントランスホールを設けた。弱者対策として西側の駐車場に近いエリアを保健部門とし、福祉部門と休日の単独利用が想定されるホールは東側に配置した。

外観は、伊賀の山々を模して、曲面屋根が重なり合うようなデザインとし、対面する町役場に対し圧迫感を与えない形態とした。外壁は焼き物をイメージするタイルを使用し、落ち着きのある佇まいとした。

内装は、年配者から幼児までの使用を考慮し、ホール、廊下等の木質系の腰壁、エントランスのスタッコ等、暖かみのある材料を効果的に使用し親しみやすい施設となるよう心掛けた。

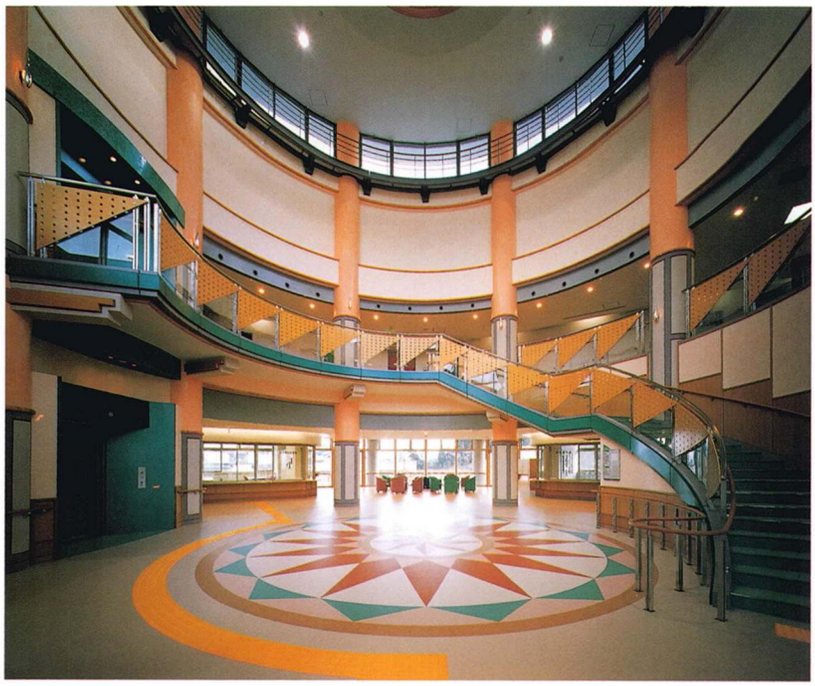
また、この施設の特徴として講習会、研修会などに利用しやすい250人収容の多目的なホールを有しており、保健福祉センターに留まらず、町役場と一体になった町民交流の場として活用されることを期待している。

（川平　孝、鈴木新太郎／安井建築設計事務所）

所 在 地　三重県阿山郡阿山町大字馬場
敷地面積　7,944.65㎡
建築面積　2,126.94㎡
延床面積　2,919.24㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　1999年２月～2000年２月
最 寄 駅　JR関西本線佐那具駅
撮　　影　エスエス名古屋



配置図　1：1200


エントランスホール


ホール


２階和室



三重会館

設計監理　東畑建築事務所名古屋事務所
施　　工　竹中・大成・大日本土木・日本土建共同企業体





国内で唯一の官民合同のビルとして40年の永きにわたって親しまれてきた旧三重会館は、戦後復興のシンボルとして、その存在性と先進性において津市民、三重県民にとって大きく心の支えであった。この合同ビルを建て替えるにあたっては、当時と違い法的にも官民合同ビルというわけにはいかず、別々のプロジェクトとして進めざるを得なかった。

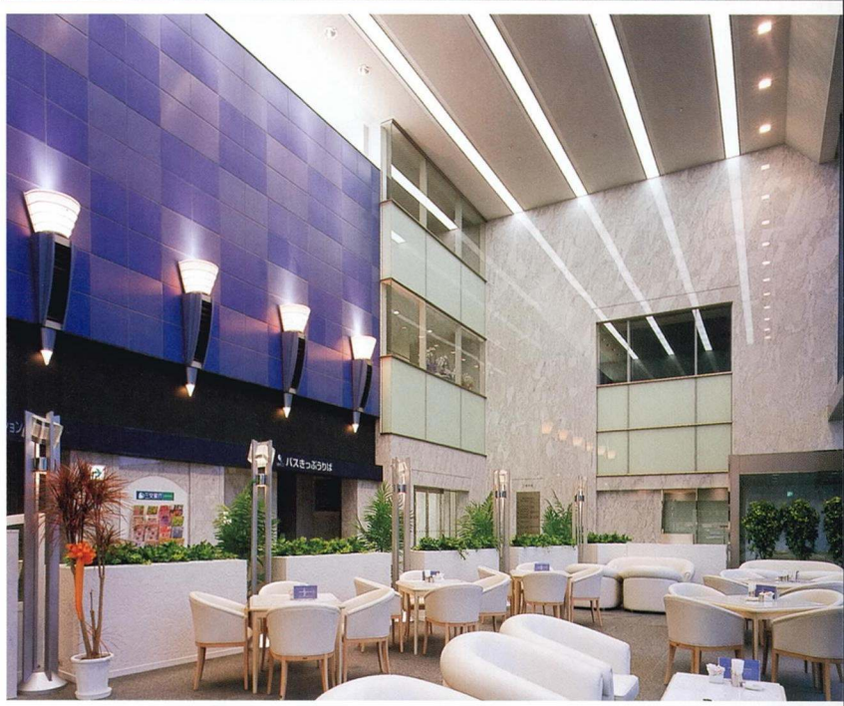
そこで、隣接の郵便局と歩調を合わせることにより、少なくとも一体的であった旧三重会館のイメージを継承すべく外観の調和をはかり、市の中心街の良好な都市景観の形成を目指した。

新しいビルは21世紀のビジネスの拠点であり、街のランドマークである一方、旧来備えていた先進性と存在性とを十分配慮し継承すべく、そのひとつとして１階に三層吹き抜けの『インナープラザ』を設けた。これは、喫茶施設としての開放的なカフェテラスイメージでありながら、一方では多目的な空間として使える大きな空間として用意している。このプラザは、隣接する郵便局と相互に行き来出来る一体的な空間構成とし、ここにも官民合同のビルづくりの強い意図がみられる。

三重会館側の銀行と郵便局を両手に一体化するこのプラザは、今後どのような空間に育って行くのであろうか。「物の豊かさ」より「心の豊かさ」を問われる21世紀という新しい時代に竣工する新三重会館のプラザは、津市民に対する新しいアイデンティティの構築と、さらなる利便性、多目的性を提供することで、去りゆく旧三重会館の発展的継承となると考えている。

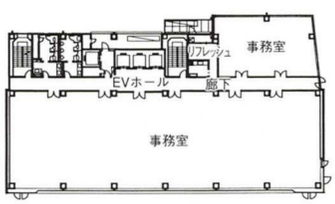
（吉原　宏・平木晶幸/東畑建築事務所）



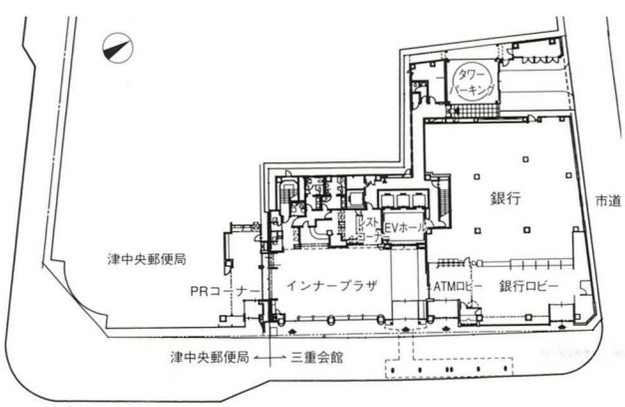




所 在 地　三重県津市中央1番1号
敷地面積　1,505.96㎡
建築面積　1,359.87㎡
延床面積　7,529.04㎡
構造規模　S、8F
工　　期　1998年11月～2000年2月
最 寄 駅　近鉄津駅
撮　　影　エスエス名古屋



一般階平面図　1：1000



配置図・１階平面図　1：1000

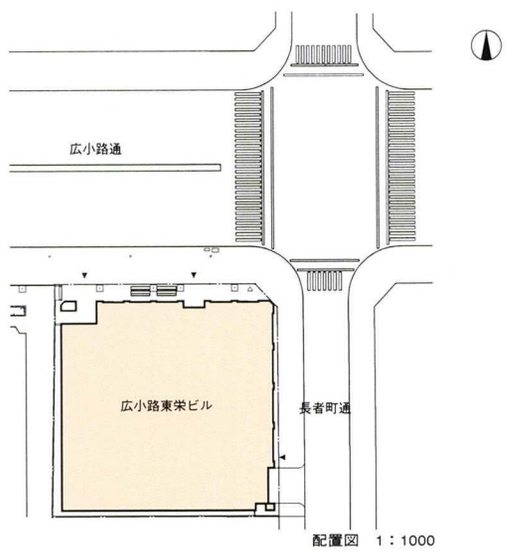


広小路東栄ビル

設計監理　伊藤建築設計事務所
施　　工　フジタ・太平・六合建設工事共同企業体

名古屋市の中心部、栄に新しく誕生したオフィスビルである。
敷地は、古くから名古屋のメインストリートとして親しまれている広小路通に面しており、周辺は百貨店や金融機関、文化施設が集中し、活気ある街並を形成している。計画にあたっては、都市の景観に配慮し、社会が共有する都市基盤として成り立つ建物、また、さまざまなニーズの変化に柔軟に対応できる長寿命の建物ということに主眼をおいた。
この地区は広小路・大津通都市景観整備地区となっており、道路から2.5mセットバックすることが求められている。総合設計制度のように、容積率の割増等はなく、テナント面積を得たいオフィスビルとしては不利な条件となるが、建築主の街並み形成への取り組みを反映し、植栽や、地下駐車場の排煙口を兼ねたベンチ等を配置し、地域に開放している。
建物の長寿命への対応として、まず建物躯体の耐震性能を建築基準法の基準の25%割増とし、それに伴い外部PC版や設備機器、エレベーター等もそれと同等の耐震性能をもたせ、都市のインフラが止まらない限り健全に機能する建物として計画している。また貸事務室部分と共用廊下との間に空調機を配置し、機器の更新や用途変更に柔軟に対応できるようにしている。
建物はセンターコア形式とし、自然採光を有効に取り込める様、奥行き12mの無柱の執務空間とした。また外気導入型ウォールスルーユニットを採用し、快適な個別空調を可能にしている。
市民に親しまれているこの広小路通と同様、この建物が街並みと調和し、地域に親しまれていくことを期待している。

（鈴木慶智・冨田昌志／伊藤建築設計事務所）



配置図　1：1000

所 在 地　名古屋市中区栄2-3-6
敷地面積　1,252.75㎡
建築面積　1,048.40㎡
延床面積　11,559.58㎡
構造規模　RC、SRC、S、B2F、9F、P1F
工　　期　1999年４月～2000年10月
最 寄 駅　地下鉄東山線伏見駅
撮　　影　エスエス名古屋

◀北西面外観


広小路通側をセットバックし、ベンチ、植栽を配置


1階エレベーターホール


貸事務室

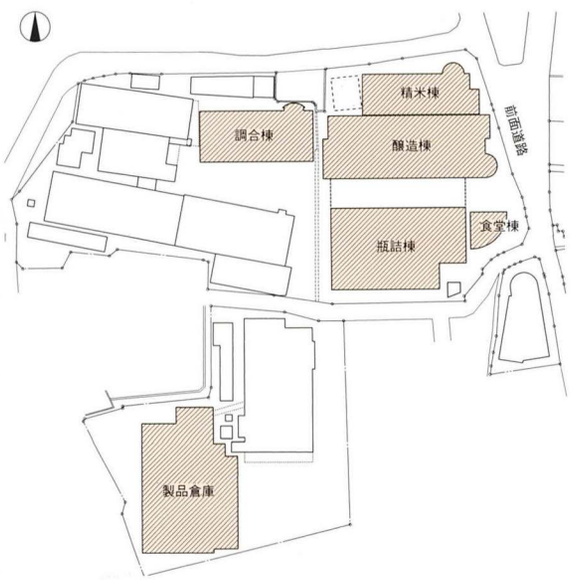
全景（北面）

立山酒造（株）本社工場

設計施工　竹中工務店

全景（東面）





配置図　1：2000

当工場は散居村で有名な富山・砺波平野の田園地帯に位置している。当計画は将来を見据えた清酒の安定供給と生産量の拡大をはかるべく、旧来の木造工場の老朽化、技術者（杜氏）の減少・高齢化に対応した生産システムの近代化にねらいをおいた建替・再配置計画である。既存の工場を稼働しながらの再整備であり、施工時期・建替順序を含めたトータルでの建物配置の検討を行うことも重要課題とされた。

今回の整備により、精米に始まり、仕込、貯蔵、瓶詰までの一連の工場が再整備された。また、限られた敷地の中で生産量の拡大、機械化を進める必要があり、各棟は高層・高密化した施設構成となっている。

敷地は民家が屋敷林を伴いながら田園の中に点在する散居村独自の環境の中に位置し、伝統的ともいえるこの周辺環境の中に現代的な構成・スケールを持つ新工場をどのように挿入していくかがポイントとなった。田園と、その中に点在する民家による地と図の構成から、曲面屋根を現代的モチーフとして抽出し、場の秩序を捉えながらもその中に埋没することのない新しいアイデンティティの確立をねらった。

外壁は柔らかな手作りの風合いと伝統的な趣きをもったタイル貼とし、その上に現代的な金属板葺の曲面屋根が軽やかに浮遊しながら連なっており、散居村の景観に呼応する新たな集落的景観を創りあげている。

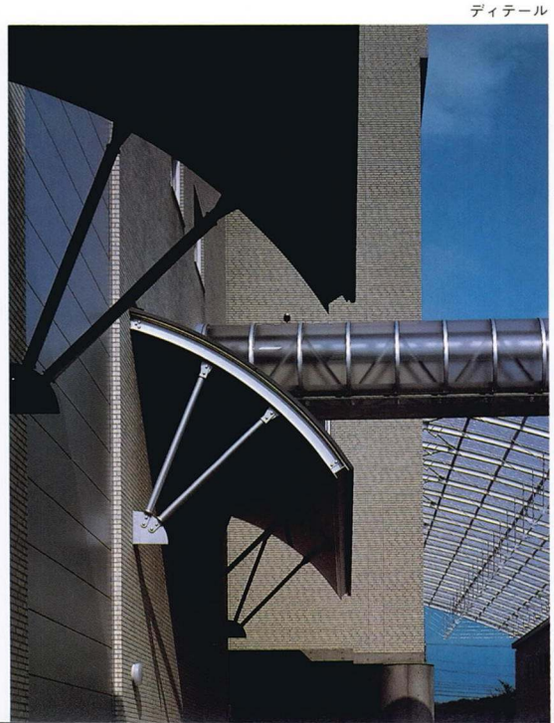
（水谷考治/竹中工務店設計部）



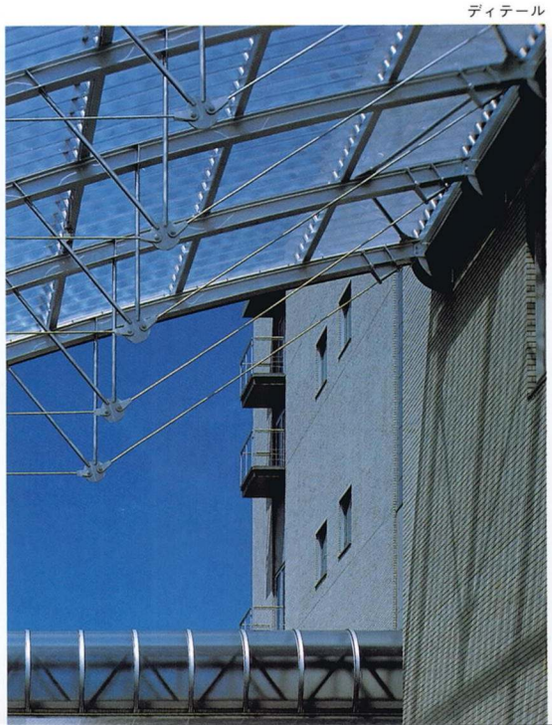
醸造棟タンク室

所 在 地　富山県砺波市中野220外
敷地面積　8,646.88㎡
建築面積　4,541.63㎡（今回工事部分６棟合計）
延床面積　9,720.24㎡（今回工事部分６棟合計）
構造規模　SRC、S、W、B1F、6F、P1F
工　　期　1996年10月～2000年５月
最 寄 駅　JR城端線砺波駅
撮　　影　吉村行雄、熊谷光雄（オリオン社）

ディテール



ディテール



南面外観（食堂棟・醸造棟）



J·伊藤ビル

設計監理　伊藤建築設計事務所
施　　工　清水建設名古屋支店



Ｊ・伊藤ビルは、名古屋市の交通の拠点である丸の内と伏見のほぼ中間に位置し、公園や小学校に近接するという、落ち着いた環境と利便性に恵まれた敷地に建設された貸事務所ビルである。
計画の主なポイントとして、１フロア150坪程度の貸室面積の確保、貸室天井高2.6ｍの確保、30台程度の駐車場の設置、最上階に建築主の住宅を設置するというものがあった。きびしい道路斜線制限のなかで許容容積一杯に建設することとし、１階の住宅用アプローチとタワーパーキングを最西端に配置することにより、基準階において１フロア150坪の貸室面積を確保した。各フロアは３分割して貸すことをビルの標準とし、基本設備及び法的設備を対応させている。
外観については耐久性・メンテナンス性をふまえ、また省エネルギーも考慮しながら、できるだけガラス面を大きくした。これにより室内から広い眺望が得られ、開放的で快適な執務空間とすることができた。外装材には耐候性に優れたホーロー鋼板を使用し、色調はライトグレーを基調として清潔なイメージを演出した。

（鈴木慶智・日下賢一郎／伊藤建築設計事務所）

所 在 地　名古屋市中区錦1-6-18
敷地面積　727.67㎡
建築面積　672.44㎡
延床面積　4,917.15㎡
構造規模　S、8F
工　　期　1999年12月～2000年10月
最 寄 駅　地下鉄東山線伏見駅
撮　　影　エスエス名古屋



基準階平面図　1：500



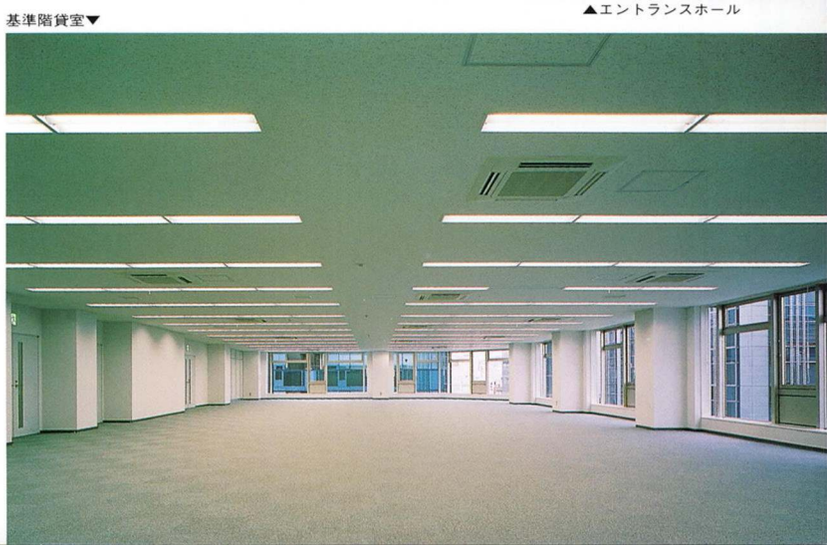
1階平面図　1：500


▲外観南西面



▲エントランスホール

基準階貸室▼











実践倫理宏正会 研修会館

設計施工　竹中工務店

実践倫理宏正会は、戦後、倫理の普及を目的として発足し、全国に多数会員を有する文部省管轄の社団法人である。発展の礎となった北陸記念会館（当社施工1970年完成）を、その役割を十分果たしたとして、創立55周年を節目に全国の会員のための練成拠点である研修所として建替えを行った。敷地は、金沢市街から南へ6km、伝統環境保存地区内にある野田山・大乗寺丘陵に位置する。周辺は自然林に囲まれ、北側斜面には広大な丘陵公園が計画されており、市街から日本海へ続く眺望がすばらしい立地である。建替えにあたっては、その恵まれた自然環境と金沢の地域性を生かし、これからの研修所にふさわしい精神性と機能性をあわせもつ施設をめざした。建物は、のびやかに連続する日本瓦葺切妻屋根の構成とし、前庭から管理棟を抜け中庭から講堂へと会の精神性を強調するヒエラルキーに基づく伽藍配置とした。中庭を中心に研修・食堂を、さらに奥に宿泊の機能を配し、半屋外の回廊でつなげた。深い庇の回廊が金沢の気候風土に呼応し、自然通風や眺望の確保などシークエンスをめぐる内外の関係を持続しながら全体を統合している。分散配置することによって、ボリュームを分節し、威圧感のないスケールで、遠景、近景を実現した。また各機能の分割使用も容易にしている。徹底したモデュール設計、限定した素材・ディテールを展開し、会の精神に応えるとともに統一感のある合理的なデザインへとつなげた。内外観を通じて北陸地方伝統の色(加賀五彩)・かたち・技の継承につとめ、各所に展開することで厳しい研修の合間のやすらぎをやわらかな金沢らしさと歴史の豊かさに求めるしつらえとした。

（浅井康行／竹中工務店）

所 在 地　金沢市山科町ワの部1-50
敷地面積　66,513㎡
建築面積　7,206㎡
延床面積　10,928㎡
構造規模　RC、一部S、B1F、2F
工　　期　1999年5月～2000年7月
最 寄 駅　JR北陸本線金沢駅
撮　　影　吉村行雄、熊谷光雄（オリオン社）







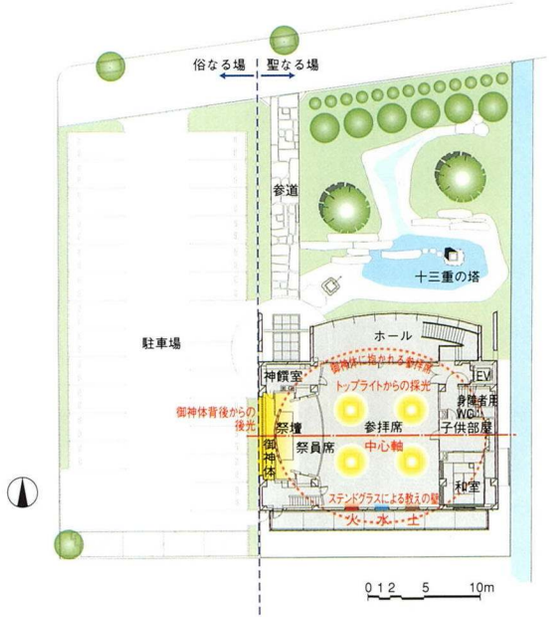
世界救世教いづのめ教団
尾張西教会

設計監理　KAJIMA DESIGN NAGOYA
施　　工　鹿島建設名古屋支店

世界救世教の尾張西における拠点としての教会を新築するにあたり、私たちが拠りどころとしたのは、『万教同根』という教祖の教えであった。これは、古今東西どんな宗教もその根ざすところは同じであるとする思想であるが、建築の在り方を求めて常日頃から神社仏閣はもとより海外の教会にいたるまで足を運んで来た私たちにとって大きな指針となり、その教えに対し、次のような建築手法で造り上げていった。

1．聖と俗の分離 ： 聖なる場と俗なる場を、敷地～フロア～部屋と段階的に分離し、《聖》と《俗》の入れ子構造を形成
2．中心性の絶対表示 ： 御神体を芯とした左右対称の空間構成
3．非日常的なスペースの確保 ： 大きなホールをガラスのカーテンウォールで囲い込み透明感のある水晶宮を形成
4．天空からの有り難い光を常時浴びながら参拝 ： トップライトからの採光
5．御神体の背後から差し込む後光 ： 日中は白く清新な光、西日に当たると黄金色に輝くガラスブロック・ウォール
6．祭壇の教祖と参拝席の信徒との一体感を創出 ： 御神体が祭られた曲面壁の延長である円形によって、参拝席全体が抱かれる空間構成
7．教えの壁としてのステンドグラス ： 教祖がこの世の３元素だとする《火、水、土》をテーマにした抽象的な絵柄

（松原基樹、伊東辰彦、伊東　勝／KAJIMA DESIGN NAGOYA）



所 在 地　愛知県一宮市大和町苅安賀字西下田1番、2番、3番
敷地面積　1,654.40㎡
建築面積　340.45㎡
延床面積　682.92㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　2000年２月～2000年12月
最 寄 駅　名鉄尾西線観音寺駅
撮　　影　エスエス名古屋

左頁上：北西側外観　左頁下：参拝席
右頁上：エントランスホール　右頁中：ホール　右頁下：北東側夜景



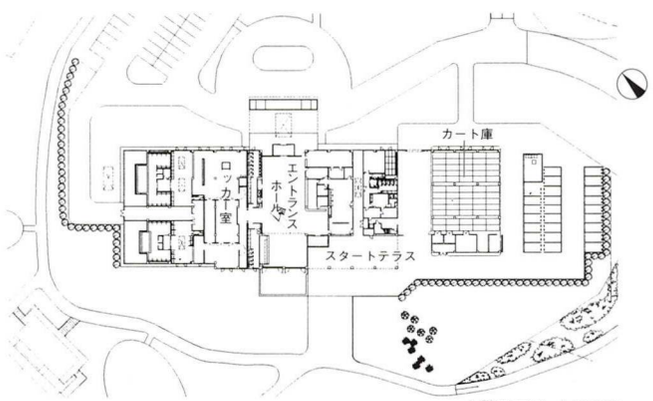




メナードカントリークラブ西濃コース　クラブハウス

設計監理　大林組名古屋支店一級建築士事務所
施　　工　大林組名古屋支店

所 在 地　岐阜県養老郡上石津町祢宜上600
敷地面積　9,626.93㎡
建築面積　2,981.22㎡
延床面積　3,589.78㎡
構造規模　RC（一部S、W）、3F
工　　期　1999年7月～2000年6月
最 寄 駅　JR東海道線関ヶ原駅
撮　　影　車田保、盛内洋章（エスエス名古屋）



1階平面図　1：2000











当施設は、三重県のメナードカントリークラブ青山コースに引き続き開設された、同クラブの西濃コースに建てられたクラブハウスである。

コース敷地は、北に関ヶ原古戦場跡、南に鈴鹿山系の藤原岳、近くに養老の滝の名所を控える風光明媚な場所にある。

建物は、機能性の重視、自然環境との対話、サスティナブル、省エネルギー等をキーワードとしたコンパクトでシンプルな計画とした。藤原岳の美しい眺望を得るために、南に開かれた丘に建物を配置し、東西軸を長辺にとり、各ゾーンが眺望に正対できるようにした。

外部イメージの主題である「自然に溶け込んだ自立」はアースカラーを基調としたカラーコーディネートと適正に抑えられた建物ボリューム、荒々しいコブ出しの御影石の壁、天然石スレートの切妻屋根、珪藻土による優しいフレームによって表現した。

内部のイメージは「周辺の豊かな自然の温もりが感じられる空間」をテーマとし、主空間（エントランスホール、レストラン等）は大断面木架構を採用した。呼吸する内装材として木や珪藻土等の採用といった工夫を積み重ねている。また、その一環としてグラフィックデザイン（カーペット、ステンドグラス）のモチーフを鈴鹿山脈の山並や養老の滝に求めた。

シンプルな平断面計画、断熱ペアガラスの木製サッシュ、トップライト等の明かり取りの適正配置、部分的な床暖房の採用等、省エネルギーについての配慮も行っている。

居心地がよく身体感覚に優しい環境を利用者に提供できたと考えている。

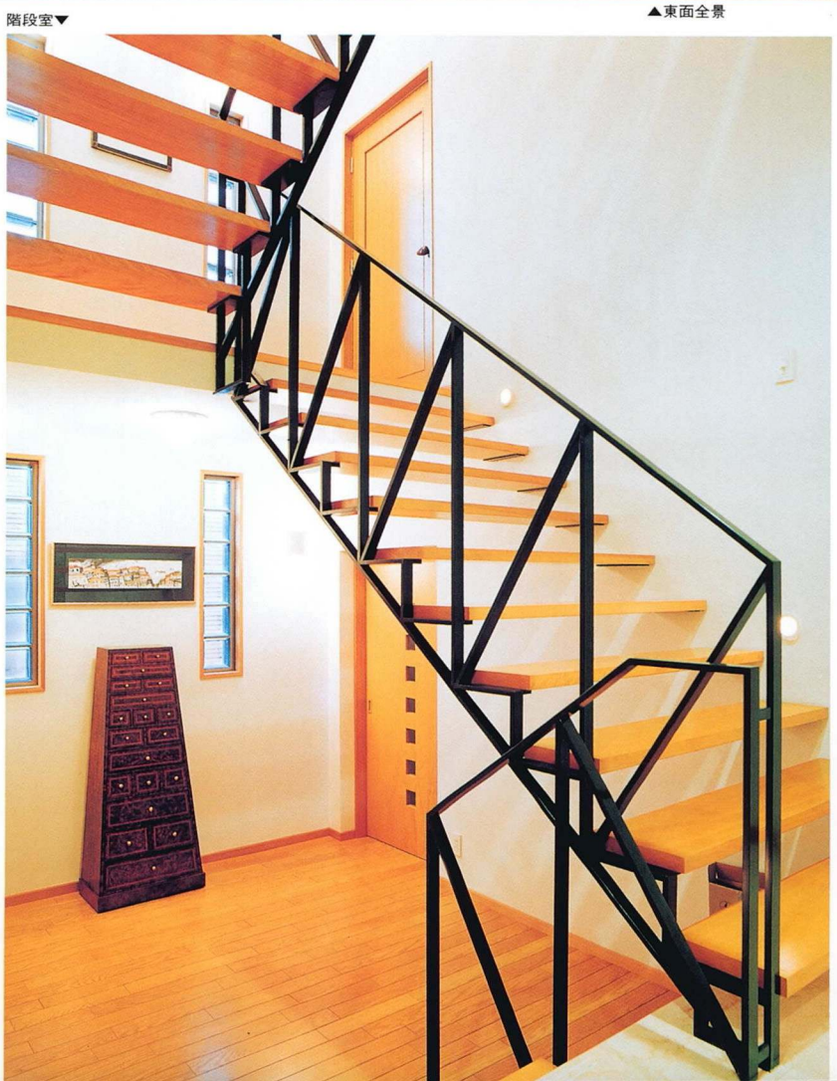
（小倉治夫/大林組名古屋支店）

▲東面全景

玄関ホール▼



階段室▼

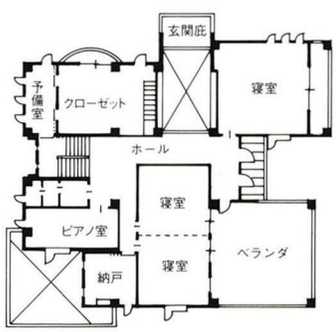


長谷川邸

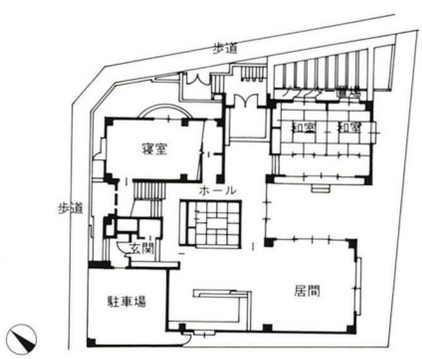
設計監理　ウィズプランニング一級建築事務所
施　　工　佐藤工業名古屋支店

10年住んでも20年住んでも、住めば住むほど「住みやすさ」のためにその魅力の虜になっていくような優れた住居性をもち、同時に美しさもあり、また、住居人の生活スタイルにマッチした住まいを目指している。建築が優れたデザインで造られるのは当然のことであるが、美しい形を追いかけただけの建築では本当に住み良い住まいにはならないと考え、自然環境のもつ条件を厳しく、かつ大切に受けとめることから出発している。
長谷川邸は広いベランダと広い開口部によって風雨に対する十分な防備、わが国の夏期の強烈な太陽の熱と光の遮断、適度な通風という条件を満たし、同時にその造形上の大きな特徴も表している。また、家族の生活を満たし、ホームパーティも楽しめるように広い居間と中間の中庭をパティオとみたて、対面に宴会のできる和室を配置した。
２階にはガーデニングを楽しむために広いベランダを配置し、１日中陽当たりのよいベランダでのガーデニングを楽しむことが出来るようにした。
もともと住宅が幻想なものであるから、長谷川邸が住まいと装いながら、住まいとは直接関係ない部分の集積によって出来あがっているとしても不思議はない。ときおり、日常生活とその器である住宅が幻想ではないかと思ってみることが、都会に住む人の精神を救済するひとつのきっかけになればよいと思う。　　（石田征三/ウィズプランニング一級建築事務所）

所 在 地　名古屋市名東区社台2-177-1
敷地面積　754.8㎡
建築面積　293.7㎡
延床面積　600.4㎡
構造規模　RC、一部B1F、2F
工　　期　1999年11月～2000年11月
最 寄 駅　名古屋地下鉄東山線一社駅
撮　　影　杉山薫（UP'S）



２階平面図　１：400



配置図・１階平面図　１：400

南面全景▼

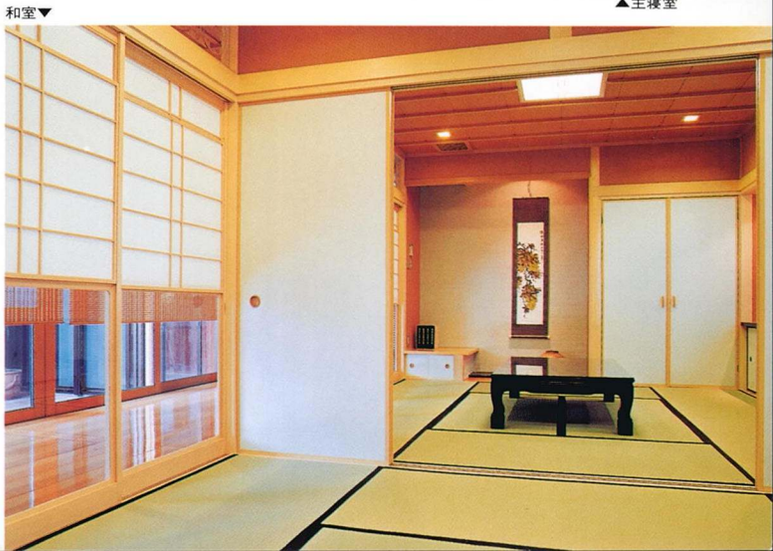



▲ベランダ


▲居間


▲主寝室

和室▼





東海労働金庫本店

設計監理　安井建築設計事務所
施　　工　鴻池組名古屋支店

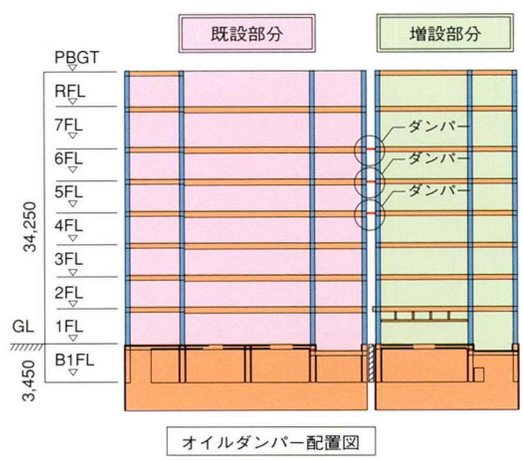
当建物は、平成８年５月に完成した「愛知労働金庫本店」の北側敷地に増築を行い、平成12年10月に愛知・岐阜・三重３県の労働金庫が合併して、「東海労働金庫本店」としてオープンした。

計画にあたっては、都市景観への配慮とともに、福祉金融機関の名にふさわしく、「人にやさしく、地球環境にやさしく」をテーマにした。

既設建物と同じく、外壁に花崗石貼PC版と、高性能熱線反射ガラス入りアルミ製カーテンウォールを採用し、増築部分を意識させないようにし、既設建物が培ってきた都市景観づくりをさらに向上させた。さらに、歩道に面して彫刻を設けたり、２階の窓にステンドグラスを設けたりして、人を楽しませる工夫をしている。

銀行としての機能の高度情報化への対策として、OAフロア・システム天井の採用、大スパンの事務室スペースの確保など、将来の機能の変化にも柔軟に対応できるようにした。　（川平　孝/安井建築設計事務所）

所 在 地　名古屋市中区新栄一丁目7番12号
敷地面積　1,550.03㎡
建築面積　1,330.44（今回増築部　513.10）㎡
延床面積　9,098.69（今回増築部　3,266.45）㎡
構造規模　S、一部SRC、B1F、7F、P1F
工　　期　1999年7月～2000年8月
最 寄 駅　地下鉄東山線新栄駅
撮　　影　エスエス名古屋



オイルダンパー配置図

・オイルダンパーを、5～7階床位置に計12体設置
・大地震時（震度6～7）における建物どうしの相対変位は、最大3～4cmにおさえられる。

通常の建物は、地震時において建物どうしの衝突を防ぐため、建物間隔を十分確保するといった対策が施されるが、当建物では既設建物と増築建物どうしの衝突防止に、エネルギー吸収能力を持ったオイルダンパーを用いた。今回採用したこの連結制震構法では、オイルダンパーを２つの建物間のエキスパンション部分で連結させ、さらにエキスパンション金物を通常の半分程度の大きさにすることで、エキスパンション幅の狭小化による空間（土地）有効利用、建物外観デザインの連続性も図った。



外観南面

アピタ美濃加茂店

設計施工　鴻池組名古屋支店

所 在 地　岐阜県美濃加茂市野笹町2丁目字二ッ塚3番2他
敷地面積　49,569.85㎡
建築面積　16,062.95㎡
延床面積　46,176.46㎡
構造規模　S、3F、P2F
工　　期　1999年4月～1999年12月
最 寄 駅　JR太多線美濃川合駅
撮　　影　エスエス名古屋



南東上空より

風光明媚な木曽川の流れと中山道に広がる伝統と潤いのある街『美濃加茂市』。

この地は、“東の文化”と“西の文化”の交流点として古くから発展し、悠々たる歴史の素顔のままの自然が今も豊かに受け継がれているところです。『アピタ（APITA）』とはイタリア語のアピス（apice：先端の）とタスカ（tasca：ポケット）の合成語で、「時代の先端をゆく情報発信基地」を意味しており、ここ美濃加茂に建設するにふさわしいコンセプトをもった商業施設です。

当地は、国道41号線と国道248号線の主要幹線に面した交通の要所であり、ここにワンストップショッピングセンターとして『アピタ美濃加茂店』がオープンしました。

約50,000㎡の敷地内には平面駐車で約770台、自走式立体駐車で約850台の駐車台数を確保し、主要道路はもとより、付近の生活道路への車輌の氾濫を極力抑えるよう、また敷地内での車輌渋滞を緩和するよう、各道路への車輌アプローチを４ヶ所（入出車：3ヶ所、出車専用：1ヶ所）設け、更に店頭付近には歩行者、自転車専用のアプローチを設け、スムーズ且つ安全に来店できるよう配置計画がなされています。

店内計画に於いては、各エントランスゲート前に配置された、エスカレーター、階段による縦方向、横方向への明快な動線を確保、幅広い通路によりショッピングカートでゆっくり買い物が楽しめる空間を提供、また、ハートビル法の認定を受け、お年寄りや障害を持った方々が利用しやすい様々な施設配慮もされています。

（臼井明夫、松本浩敬/鴻池組名古屋支店建築設計部）



飛騨高山ビッグアリーナ

設　　計　日建設計
施　　工　佐藤工業・堀口工務店・総和土建JV
所 在 地　岐阜県高山市下林町1306
敷地面積　30,106.76㎡
建築面積　 8,311.00㎡
延床面積　 9,570.00㎡
構造規模　SRC、S 、2F
工　　期　1998年３月～2000年２月
最 寄 駅　JR高山本線高山駅



富山県西部総合体育館・砺波市温水プール

設　　計　東畑建築事務所
施　　工　佐藤工業・砺波工業・市堰建工JV
　　（プール：佐藤工業・鷹栖建工JV）
所 在 地　富山県砺波市柳瀬
敷地面積　53,300.00㎡（砺波市総合運動公園内）
延床面積　14,654.36㎡
構造規模　RC、S 、一部W、2F
工　　期　1997年10月～1999年６月
最 寄 駅　北陸線高岡駅乗換え城端線砺波駅



鳥羽市保健福祉センター”ひだまり”

設　　計　日建設計
施　　工　淺沼組・亀川組JV
所 在 地　三重県鳥羽市大明東町2-5
敷地面積　7,375.00㎡
建築面積　2,317.38㎡
延床面積　2,725.25㎡
構造規模　SRC、2F
工　　期　1998年12月～2000年２月
最 寄 駅　近鉄鳥羽駅



新守山駅商業施設（アピタ新守山店）

設　　計　伊藤建築設計事務所
施　　工　大林組
所 在 地　愛知県名古屋市守山区新守山2830
敷地面積　21,715.65㎡
建築面積　11,356.21㎡
延床面積　51,753.83㎡
構造規模　S 、5F
工　　期　1999年12月～2000年10月
最 寄 駅　JR中央線新守山駅



スーパー銭湯宮の湯

設　　計　城設計室
施　　工　フジタ
所 在 地　愛知県名古屋市熱田区桜田町20-7
敷地面積　8,243.15㎡
建築面積　 1642.14㎡
延床面積　1,569.64㎡
構造規模　S 、1F
工　　期　2000年2月～2000年7月
最 寄 駅　JR、名鉄、地下鉄金山駅

特集 岐阜・大垣―地方におけるＩＴ産業振興の狙いと試み

東海特集の地方シリーズも今回で８回目になります。今回は、研究開発立県をスローガンに掲げ科学技術の振興に取り組む岐阜県の現状を紹介します。

岐阜県は、日本のほぼ中央に位置し、名神高速道路や東海道新幹線、東海道本線、高山本線などが通り、加えて東海北陸自動車道や東海環状自動車道の整備も進められており、中部圏の交通の要として、将来の発展が期待されている地域です。また、岐阜県は、自然や多様な文化、歴史にもめぐまれた地域です。しかし、繊維業をはじめとする地場産業の衰退、産業の空洞化など、厳しい状況にあります。

岐阜県、特に岐阜市、大垣市を中心に、この地域のＩＴ産業への取り組みの背景とその狙いを探り、この地域の産業と文化の振興、それに関わる施設の現状と将来を考えてみました。

この特集には、お忙しい中、ご執筆を頂きました皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力を頂きました。深く感謝します。

（東海支部特別編集委員会）

【序文】
飛山濃水の風土―岐阜の自然・文化・人間―
伊藤安男

【地方に見るＩＴ産業の現状と将来】
岐阜県のＩＴ戦略―スイートバレー構想の実現に向けて―
岐阜県農林商工部情報産業課

ＩＴ産業振興の現状とその障害
岐阜市総合企画部総合企画課

大垣市におけるＩＴ産業振興の取り組み
大垣市経済部商工観光課

【地方文化振興のための施設づくり】
県営北方住宅建替事業―ハイタウン北方へ―
岐阜県基盤整備部住宅課

長良川国際会議場
岐阜市総合企画部総合企画課

【情報産業振興のための施設づくり】
ソフトピアジャパンセンター
大垣市情報工房／ソフトピアジャパン・アネックス
高橋守男

ソフトピアジャパン・ドリームコア
佐藤宏尚

飛山濃水の風土
―岐阜の自然・文化・人間―

伊藤安男

日本の屋根

岐阜県は本州のほぼ中央部に位置し日本の屋根を構成する内陸県である。県庁所在地の岐阜市は、青森市および長崎市へともに直線距離約700kmの場所に、南北位置では八郎潟の大潟村と鹿児島県佐多岬との間の中央部に位置している。いうならば日本のヘソにあたる部分に岐阜県は位置していることとなる。

中央部に位置する内陸県だけに隣接県も長野県の８県に次いで多く、愛知、長野、富山、石川、福井、滋賀、三重の７県を数えている。極北の神岡町は富山県と境をなし、極南の海津町は愛知、三重両県に接し、極東の上宝村は長野県に、極西の揖斐郡坂内村は滋賀県に隣接している。

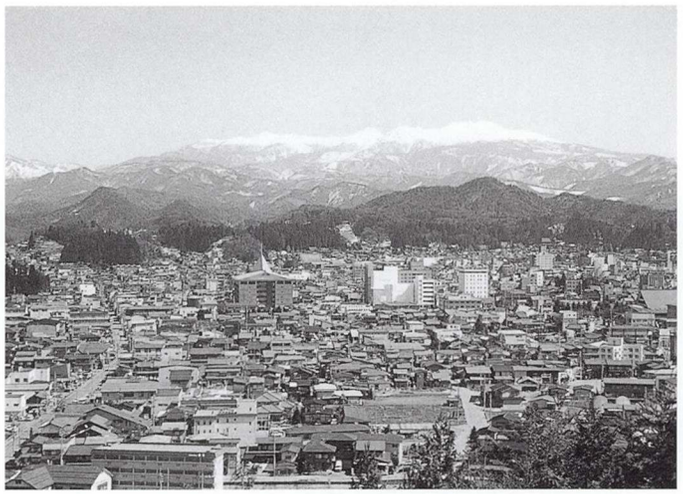
飛山濃水の国といわれるように、面積の76%が標高500mの山地であり、県の平均標高は721mであり全国平均標高382mの倍に近く、全国規模では長野県の1132m、群馬県の764mに次いで第３位の山国である。

東部には槍ヶ岳　穂高岳　焼岳　乗鞍岳　御岳山など3000m級の山々を擁する飛騨山脈と　それに続く恵那山をもつ阿寺山地が岐阜県を縁どるように南北走している。これに対し西部は白山で知られる両白山地が美濃三河高原に接して南北走しており、この両者の山地のあいだに1000mから500mの中山性の山地をもつ飛騨高地がある。

これらの山地が日本の屋根を構成するが、これがまた分水嶺としての役目をはたし“日本の背骨に降った雪は、ふたつに溶けて流れながら　太平洋にそそぎ　日本海にそそぐ”と平光善久は詩っている。

飛山濃水の国

岐阜県民の歌に、“岐阜は木の国　山の国　岐阜は野の国　水の国”と詠まれているように、岐阜県の風土を表すのに「飛山濃水」という語がよく使われる。飛騨の山場に対する美濃の水場である。3000mより０mにいたる飛山濃水は、たんに自然を意味するだけではなく　そのかかわりあいのなかで両者の生活様式にまで大きな影響をあたえ　それぞれ特有の風土を醸成している。



乗鞍岳と山都、高山市街



海抜０mの三川合流地帯（右より木曽川、長良川と揖斐川）

飛騨と美濃の両者のこの地形的環境は、とうぜん気候上にも大きな変化をもたらしている。飛騨は寒冷、多雪な中央日本山岳気候区を、美濃はモンスーン、台風の影響をうけるが温和な東海気候区に区分される。これを気温から比較してみると岐阜市の年平均気温15.0℃に対し、高山市は10.3℃である。この相異をさらに暖、冷房期間で比較すると高山市の暖房期間は10月27日から４月18日の174日間で、この期日は東北の青森市とほぼ同じである。対して岐阜市は11月23日から３月30日の128日で高山より45日間短い。また冷房期間では高山市の０日に対して　岐阜市は71日間でありきわめて対照的で

ある。いうならば夏の夜の寝ぐるしい蚊のうなりに対する、かじかの鳴き声、冬は乾燥した伊吹おろしの晴天と、音もなく降り積もる雪の日々ということになる。

このような環境の相異は災害のパターンにも表れ、雪害に対して水害。冷害と旱害となり雪と水との闘いが、ある意味では皮肉な飛山濃水となる。

両者の対照の姿はまた民家にもみることができる。飛騨は長野県や富山県南部地方と同じ系列の囲炉(いろり)のある部屋を中心とする飛騨型に対して、美濃は近畿地方にその類型をみる開放的な四ツ目型の美濃型の分布が密である。屋根の材料もかつては飛騨地方の榑葺(くれぶき)の石置屋根に対し、美濃地方は茅葺(かやぶき)であった。

地域性の相違からくるのは、ひとり民家の構造だけでなく集落の立地にも大きな差異がみられる。飛騨の集落は山村的傾向が強く、その位置も山間支谷に支配され、さらに日射量、日照時間に強く影響されている。この傾向は地名にも表れて日面、日当、日永、日影などがそれである。対して濃水の水場地帯では洪水から家々を守るために微高地の自然堤防上に立地する場合が多い。これらも地名で示されて須とつくものが多く、大須、須脇、高須、須賀などは洲の意であり有名な墨俣は洲又の転訛したものと考えられる。

資源面においても同じように林産資源に対する農産資源となり、これが食生活の上にも反映して、飛騨の山菜と美濃の野菜、そばとうどん、りんごとみかん、岩魚やはやとどじょうやなまずなどの対照例があげられよう。

飛山濃水を別の観点、国名の語源から眺めてみると、飛騨は「風土記」によると大津京造営時に飛騨の良材が使用されたが、その駄馬につまれた材木が飛ぶように早く運ばれたことからネーミングされたと記されている。美濃は古くは御野、三野とも称し青野、各務野、加茂野などの平野を表す語がその語源とされている。

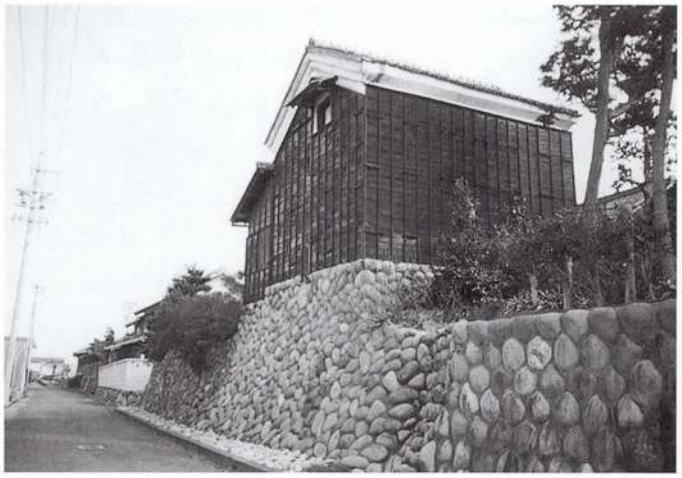
匠丁国と関国

飛騨濃水の地域性は歴史上にも大きく表れている。畿内に接する美濃は古くより大和朝廷の支配下にあったことは古墳、とくに前期古墳の分布がそれを物語っている。対して飛騨は中央幹線、東山道より遠く離れており遅れがみられた。

古代にあっては、飛騨国を「匠丁国(しょうていこく)飛騨」美濃国を「関国(げんこく)美濃」



大家族村の合掌造（白川村荻町）



輪中の水屋建築（海津町の高須輪中）



伝建群の高山市上三之町

と称している。「凡そ斐陀国は庸調倶に免ぜよ、里ごとに匠丁十人を點し、四丁ごとに厠丁一人を給へ」とあるように、飛騨国は調、庸を免除される代りに匠丁として都に行き、寺社や宮殿の造営に従事したのである。これが飛騨の工匠の伝承となっていく。“かにかくにものはおもはずひだ人のうつ墨縄のただひとすぢに”（万葉集）と詠まれるように、その土木技術をかわれて飛騨の工匠は都で活躍する。

匠丁国飛騨に対し、美濃国を関国と称するのはこの国が東山道に属し、東国と畿内の接点にあたるため大和朝廷の東国への前進拠点として重要視され天下の関　不破関がおかれた。越前の愛発関　伊勢の鈴鹿関とともに三関といわれ三関のある国を三関国と称したからである。

飛騨国が庸、調が免除されたのに、美濃国に課せられたのは絹、紙、資器（須恵器）の三品があった。絹は美濃広絁といわれ他国の絹とは別扱いされるほど品質がよかった。

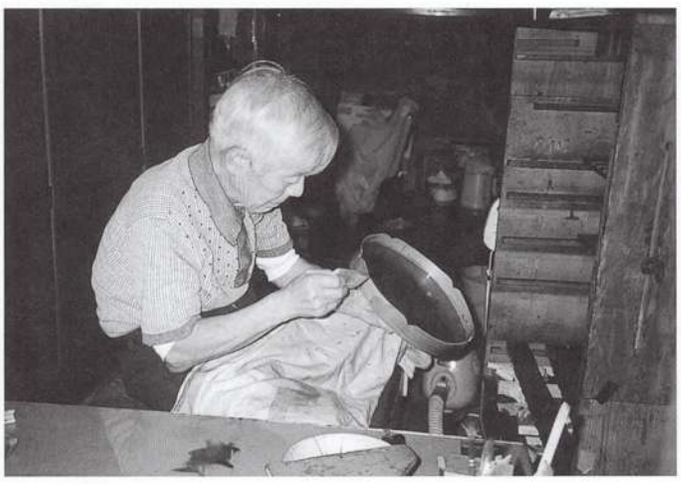
紙はすでに美濃紙として知られており、正倉院に所蔵されている紙を昭和35（1960）年に調査したところ、美濃紙がもっとも良質であったことが報告されている。同様に須恵器も品質に優れており当時に須恵器を貢進した国は、美濃国のほか畿内５ヵ国と近江、播磨、備前、讃岐であったが、東国にある美濃がただ１国えらばれたのはたんに生産量が多かっただけでなく、その品質が優れていたことを物語っている。それは岐阜市芥見の老洞、朝倉の窯跡から美濃の刻印をもつ須恵器が出土したことでも分る。

“ど強い”美濃の地場産業

律令時代の美濃国の貢進物は紙に焼物、そして絹であった。これらは現在も伝統的な地場産業として主産地を形成して根強く生きている。これを美濃弁で言えば“ど強い”となる。

正倉院御物のなかでも質の良さで群を抜いた美濃紙は、その需要にこたえてますます発展、中世には大矢田（美濃市）に紙市がたつようになり、近世には幕府、尾張藩などの御用紙になってその中心地の上有知には13戸の楮問屋があった。これらの問屋は付近一帯の紙すき農民に原料の楮を渡して生産紙を買上げる問屋でもあった。ここで生産された美濃紙は上有知湊より長良川水運により岐阜や美濃三湊（養老郡船付、島江、栗笠）に運ばれた。いまでも岐阜市の長良川沿いの湊町に数軒の和紙問屋があるのはその名残りである。しかし現在は洋紙におされたことや、需要の激減により斜陽化したが、それでも手すき和紙、機械すき和紙はともに日本一の生産量をもっている。この良質の手すき和紙の製造技術は昭和44（1669）年に、国の重要無形文化財に指定されて保持されている。

強さを誇る美濃紙はさらに関連して岐阜市の伝統産業、岐阜ちょうちんと岐阜和傘と結びつく。安永４（1775）年の尾張藩内の名産くらべに岐阜町の特産として、傘とちょうちんがあげられている。



飛騨の春慶塗



美濃和紙の乾燥風景（美濃市牧谷）

岐阜和傘のルーツは、丹後守光重が寛永16（1639）年に加納城に移封されたときに傘屋職人をつれてきて、その技術を家中に伝え武士の内職としたのが始まりとする説がある。その後は唐傘（からかさ）の普及による庶民の需要増大により発展、文政9（1826）年には年間約50万本の生産をあげるにいたった。そして加納藩も生産者の株仲間に手厚い保護を加へたので全国一の生産地となった。戦後は昭和27（1952）年の約827万本をピークに、以後は洋傘やビニール雨具に押されて減少の一途をたどる。しかし近年はその美術的要素から輸出用、観光用として注目されるようになった。

古代の須恵器の伝統をもつ陶器は、良質の陶土と瀬戸の影響をうけてさらに発展、特に織田信長の美濃平定以降に志野、織部、瀬戸黒、黄瀬戸などの優雅な茶陶が焼かれて名器を世に出し美濃焼を定着させていく。現在も美濃焼は県の東部の多治見を中心に土岐、瑞浪。笠原の3市1町を中心に生産されるが製造業者数は約3000社、従業員3万5000人とわが国で最大の産地を形成している。

律儀と風儀の気質

岐阜県人気質、岐阜の県民性となると、さて考えざるをえない。大阪のがめつい、高知のいごっそうなどのキャッチ・フレーズ的なイメージは本県ではうかばない。しかし飛騨人気質、美濃人気質となるとそのイメージは明確となる。

『六十余州人国記』に「美濃人は人の意地きれいにして水晶の如く　されど水晶も磨かざれば光沢なし。西美濃は人の風儀やわらかにして言舌も風流に見ゆ……飛騨は律儀にして愚なり。井中に坐して天をうかがうの類、誠に山中の人かくあるべきや。生得は石鉄の性ともいうべし」と評している。

この風儀と律儀の対照的な気質は飛山濃水という、閉鎖的な山間盆地と開放的な平野部との地形的環境もさることながら、徳川250年におよぶ支配体制が大きく影響している。飛騨は一国一藩がそのまま天領となり、天領飛騨人をつくりあげたにの対し、美濃は幕府の分割統治として大垣、加納など国内藩八藩、国外藩三藩、それに七十余の旗本領さらに幕府直轄領がいりこむ所領関係をとった。その上に水害常襲地域のため人は水との闘いにあけくれ、囲堤（かこいづつみ）の輪中を築き守ってきた。そのため言舌も風流に見ゆという社交性と自己中心的な便乗主義となったといえるかもしれない。

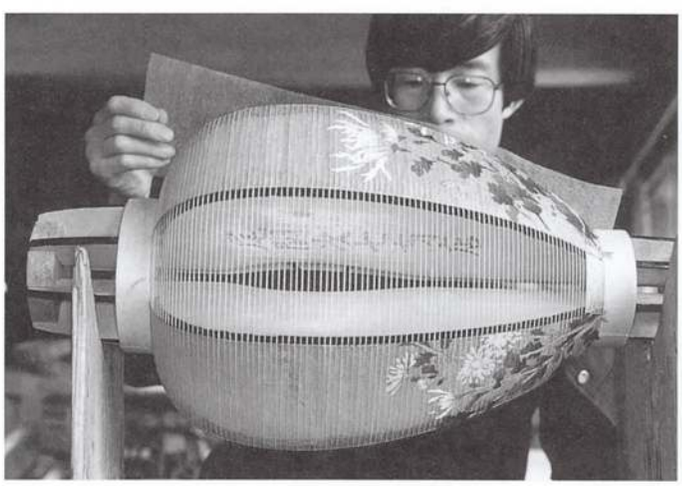
飛山濃水という異質性も明治9（1876）年に飛騨が筑摩県より岐阜県に移行後、さまざまな論争、障害をのり越えて次第に一体化されていく。両者相携えて新生岐阜県を築こうとする精神的風土が醸成されて、近代岐阜県への一体化が促進されていった。

飛騨の工匠の伝統をうけつぐ高山祭、川面に映ゆる鵜飼のかがり火は飛山濃水の姿そのものであるが、この対照の姿こそ岐阜県にバラエティをあたえ、美しの岐阜県として魅力あるものにしている。

（いとう　やすお／花園大学名誉教授・岐阜地理学会会長）



和傘の天日乾（岐阜市加納）



岐阜ちょうちんの作業

岐阜県のIT戦略

―スイートバレー構想の実現に向けて―

岐阜県農林商工部情報産業課

背景

岐阜県は人口約210万人、日本のほぼ中央に位置し、北は海抜3000m級の飛騨の山岳地帯から、南は海抜０mの美濃の水郷地帯まで、起伏と変化に富んだ地形を有しています。恵まれた自然環境、国土の中央にあるという立地条件を活かし、交流拠点としても栄えた土地柄でしたが、繊維をはじめとする地場産業の衰退・沈下、産業の空洞化・構造転換、高齢化問題等の種々の理由により、岐阜県経済は厳しい状況にありました。

このような状況を打破するため、産業活性化方策として、研究開発立県を目指し、地域特性に即した先端技術の開発拠点づくりを進め、情報関連産業を21世紀のリーディング産業と捉え、ソフトピアジャパンをはじめとするIT戦略を積極的に推進してきました。

岐阜県のIT戦略

今日我々を取り巻く経済社会環境は目まぐるしい変化を続けていますが、特に急速に変化する情報技術（IT）については、21世紀における産業構造、生活様式などあらゆる面において大変革をもたらす技術として注目されています。

このような時代の潮流に的確に対応するため、岐阜県ではITによる豊かな住民生活の実現を目指し、地域としてのIT戦略を策定し、施策展開していくこととしていますが、すでに岐阜県では、このような社会・経済の環境変化を「先取りの県政」として予測しており、農業社会における「農場」、工業社会における「工場」に相当する概念として情報社会における情報価値生産の場としての「情場（jo-jo）」づくりをその戦略の柱に、現知事（梶原拓）のリーダーシップのもと、IT戦略を立案、実行してきました。

以下、まずはじめに、岐阜県のIT戦略を総称する「スイートバレー構想」についてその概念を紹介し、続いて、その具体的な主要プロジェクトである、「ソフトピアジャパン・プロジェクト」、「テクノプラザ・プロジェクト」、「岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）の開校」について説明します。

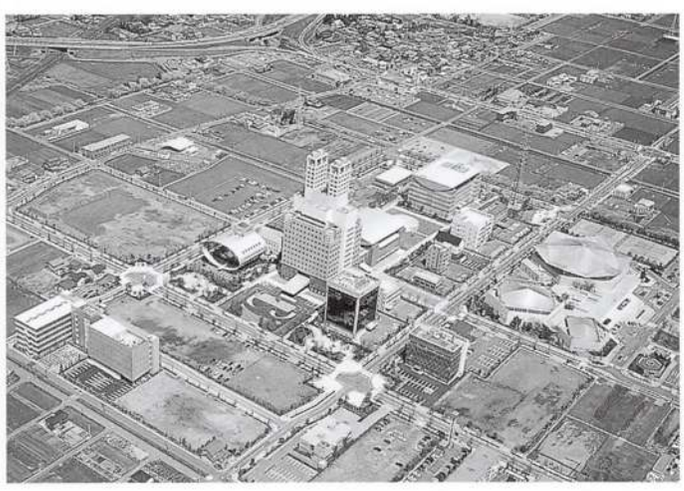
「スイートバレー構想」について

岐阜県は美しい自然（スイートグリーン）、きれいな空気（スイートエアー）、水（スイートウォーター）、長良川などの清流に住む鮎（スイートフィッシュ）、近代養蜂発祥地（スイートハニー）といったさまざまなスイートなものに恵まれ、その豊かな自然、地理、歴史、文化、都市の資源などから首都機能移転先の候補地にも選ばれた、日本のスイートスポットに位置しています。

アメリカのシリコンバレーでは、多くのベンチャー企業が覇を競い、IT産業の誕生により新世紀の扉を開きました。1990年代にはニューヨーク、サンフランシスコ、ボストン、シンガポール、ノルウェー、オスロなど世界の多くの場所で新産業集積地域が形成されました。

岐阜県では、ソフトピアジャパン、テクノプラザを核にIT戦略を推進しておりますが、これに加えて、県の南部に広がる木曽三川流域に集積したハイテク産業、教育・研究機関、商業複合施設等の集積を総称して、この地域を「スイートバレー（SWEET VALLEY）」と位置付け、この地域の資源を結集して、IT関連企業、コンテンツビジネスの一大集積地の形成と、交流－連帯－創造をキーワードに、世界に誇る情報価値生産の場‘情場’づくりをめざしています。

「交流（Communication）」とは日本の中心に位置し、古くからヒト・モノの通り道であったこの地域に、IT関連企業・人材が集積し、



ソフトピアジャパン全景



テクノプラザ全景

企業同士や地域の技術研究機関などとの間に交流が生まれること、「連帯（Cooperation）」とは地域に集まるITに関する様々な企業同士、産学官のカテゴリーを超えた人材、生産者と消費者、新しい物と古くからの物など様々な交流から、目的・情報・行動・感動の共有が生まれ、さらに従来の境界を超えた協同と競争から新しい考え方や活動が生まれること、「創造（Creation）」とは人と人、スキンシップ情報やメディア情報の交流や連帯から創造的な風土、意識が生まれ、新たな「知恵」が生まれる「情場」が形成されることをいいます。

現在、岐阜県では「世界からスイートバレーへ、スイートバレーから世界へ」をキャッチフレーズに、新産業集積地域の形成を図るスイートバレー構想に全力で取り組んでいるところです。

「ソフトピアジャパン・プロジェクト」の概要

経緯・目的

ソフトピアジャパンの立地する大垣市は濃尾平野の北西、西濃地域に位置し、電気・窯業・繊維を中心産業として発展してきた工業都市です。しかし、近年は産業構造の変化の影響を受け、特に主力の繊維産業が低迷してきました。

地場経済の閉塞感からの脱却、産業の活性化を図るため、岐阜県は昭和62年度に「岐阜県ソフトピア構想調査報告書」を策定、情報産業の育成と既存産業の高度化を目指すことにしました。これが岐阜県におけるIT戦略のスタートラインであり、岐阜県が目指す「高度情報基地ぎふ（情場）」づくりの中核拠点としてソフトピアジャパンの整備を進めてきました。

施設概要、運営

ソフトピアジャパンでは、マルチメディア産業を次世代の基幹産業と位置付け、新産業の育成、産業の情報化、地域・生活の情報化を目指し、国際的なソフトウェアの研究開発拠点として平成８年６月に、技術開発室、研究開発施設、会議室、情報ライブラリー等を備えたセンタービルがオープンしました。

また平成10年２月、大垣市との合築施設である「大垣市情報工房／ソフトピアジャパン・アネックス」がオープンしました。アネックス（３、４階）は主に技術開発室として利用され、大垣市情報工房（１、２、５階）は多目的ホール、研修施設、情報提供スペース等として市民向けに利用されています。

さらに平成12年８月には「ソフトピアジャパン・ドリーム・コア」がオープンしましたが、情報系ベンチャー企業を多角的に支援する「国際インキュベートセンター（通産省補助事業）」と情報化時代を担う人材を育成するための広範な研修をネットワークを活用して実施する「全国マルチメディア専門研修センター（郵政省補助事業）」の２つの施設の合築となっています。

ソフトピアジャパンは、上記のセンタービル、アネックス、大垣市情報工房、ドリーム・コアと民間企業分譲地で構成されています。

ソフトピアジャパンの４つの機能

以下、ソフトピアジャパンの４つのコア機能、①研究開発、②人材育成、③ニュービジネス創出、④情報発信について、それぞれ説明します。

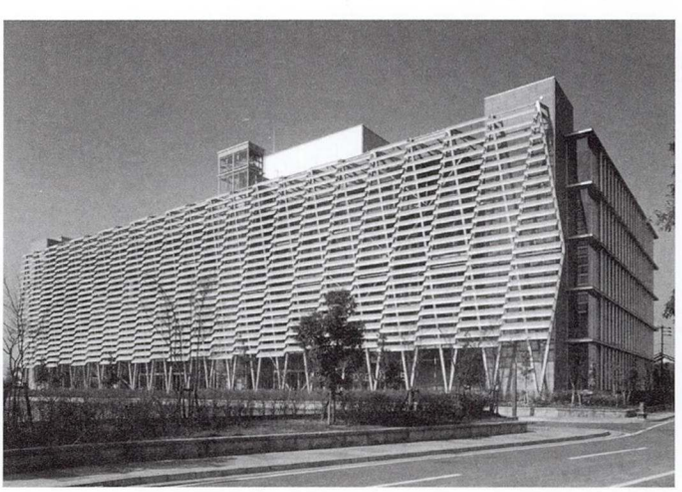
①研究開発機能

将来の産業・経済・社会・生活などを大きく変革する先端IT分野を対象にテーマを公募し、企業・大学・研究機関などが共同研究を行い、その成果を企業へ橋渡しすることにより、産・官・学の連携を図り、地域産業の情報化・高度化・活性化を図っています。

ソフトピアジャパンの共同研究相手先には、進出企業を中心とした県内企業、慶応大学や岐阜大学等の国内・県内大学、また海外の提携先である大学・研究機関等があり、研究テーマは県内産業活性



左手前、アネックス／大垣市情報工房　右奥、ソフトピアジャパンセンタービル



ソフトピアジャパン・ドリーム・コア

化、県民生活向上につながるものであることが要件ではありますが、対象はマルチメディア・情報通信のみならず医療・福祉等、多岐にわたっています。また研究成果PRの一環として、毎年共同研究成果報告会を開催し、活発な情報交換や技術交流が行われています。平成８～12年度までに49件（内、海外連携６件）の研究テーマが実施され、２件の製品化、３件の特許出願・１件の実用新案出願、30件の論文発表（平成12年12月19日現在）を行いました。

②人材育成機能

県民の情報リテラシーの向上を図るとともに、高度情報社会をリードするIT人材の育成を図るため、企業向け・県民向け・行政向け等、様々なニーズに対応したIT研修を実施しています。

平成11年度は合計92講座1,531名（企業向け47講座733名、県民向け40講座699名、文部省受託研修等５講座99名）、平成８年度からの累計では317講座5,433名（企業向け161講座2,590名、県民向け113講座1,877名、文部省受託研修等43講座966名）の実績があります。

さらに、過去４年間にわたる研修事業を拡大発展させ、平成12年８月には全国マルチメディア専門研修センターをオープン、岐阜情報スーパーハイウェイを通じて、ギガビットネットワーク等につなげるなど、ネットワーク時代に対応した高度なレベルの研修を受講できる環境を構築しました。スーパーSE育成を目指す「IT専門研修」、公共事業の調査、設計・施工、維持管理の電子情報の一元化（共有）により事業執行の効率化を推進し、コスト削減、品質確保の向上等を図る全国初の「建設CALS／EC研修」、高齢者や障害者等の情報弱者がITを活用できるよう「丁寧・反復・じっくり・マイペース」をモットーにした福祉メディア実習室「プラチナ・モード」での専門研修といった３つの専門領域において、幅広い全国規模の研修を実施しています。

この他、県内各地域へ出向いて、主に商業関係者向けに体験研修を行う「IT出前研修」を実施するなど、積極的に県民の情報リテラシーの向上に努めています。

③ニュービジネス創出機能

創業間もない企業・個人の意欲ある優秀なITベンチャー企業の支援・育成を図るため、インキュベートルーム（孵化室）と呼ばれるオフィススペースを原則３年間にわたり使用料無料で貸与している他、入居企業のためのコンサルティング実施、各種情報提供を行うなど、「インキュベート推進事業」を行っています。

平成11年度末にはセンタービルとアネックスに27社が入居していましたが、ITベンチャーのより一層の集積を図るために整備した「国際インキュベートセンター」のオープン前に行った事前募集に応募した120社の内、審査を経て55社が入居しました。平成13年１月１日現在では81社のベンチャー企業の集積があります。

国際インキュベートセンターには100室規模のインキュベートルームを整備しており、各ルームをLAN回線で接続し、入居企業の事業内容・製品サービスのPR、投資家・投資企業に対する情報提供等、入居企業間のコラボレーション支援、インターネット接続環境等を提供する「VB（ベンチャービジネス）支援システム」を用意しています。

この他、事業を展開する上でのノウハウを提供するため、専門家によるセミナー「ベンチャーカレッジ」を開催する他、ソフトピアジャパンの研究開発用施設の使用料の半額減免、事業拡大に必要な技術・ビジネス情報の入手を支援するためデータベース検索料の２分の１を補助するなど、様々な角度から入居ベンチャー企業を支援しています。

④情報発信機能

国内外のマルチメディア・VR関連企業や関係者が一堂に会し、最新製品・技術等を展示・紹介する「マルチメディア＆VRメッセぎふ（MVM）」、各種情報化施策を積極的に展開している地域と連帯し、情報化による地場産業の振興や地域活性化を促進する「ソフトピアジャパン地域情報化促進セミナー」等のイベント・セミナーを開催するなど、様々な情報発信を行っています。

平成12年10月には「国際IT合同会議in岐阜（IIJC；International IT Joint Conference）」として、「EUROGIFU（日欧IT関連企業ビジネスミーティング2000）」、「EVA-GIFU2000（視覚芸術に関する電子画像国際会議）」、及び「VSMM2000（バーチャルシステム・マルチメディア国際会議2000）」の３つの国際情報関連イベントを同時開催しました。「EUROGIFU」は、日本とヨーロッパ地域のIT関連企業が商談会、機器展示等を通じて新たなビジネスチャンスの創出や交流を目的に、岐阜県・日本貿易振興会が欧州委員会（EC）との連携により開催したビジネスイベントで、ヨーロッパから16カ国41企業、国内から100を超える企業が参加し、活発な商談がなされました。「EVA-GIFU2000」では、映像関連分野に携わる研究者、美術館・博物館関係者等の意見交換の場として欧州を中心に開催されている国際会議で、今回は「文化的情報社会の創造」をテーマに、映像関連技術の動向、デジタル技術を活用した文化的情報発信の現状、並びにデジタルコンテンツの産業応用等の事例が紹介され、また「VSMM2000」では、「バーチャル遺産、高速接続、産業連携の次世代応用に向けて」をテーマに、世界からこの分野における先導的な研究者、技術者が多数参加し、研究発表を通じて、活発な情報交換、交流が行われました。「国際IT合同会議in岐阜」期間中の参加者は国内外から延べ約3,000名にのぼりました。

ソフトピアジャパン・グローバル構想

ソフトピアジャパンでは、経済のグローバル化が進展する中、世

界に通用する産業（企業）を育成するとともに、国際的な取引を支援するため、海外の大学、研究機関、企業などと積極的に共同研究開発やビジネスを介した国際協力・提携も積極的に進めています（平成12年11月30日現在、ノルウェー・オスロリサーチパーク、ドイツ・ベルリン・サイエンスパークを含む海外14機関・団体と提携）。これら海外とのネットワークづくりを積極的に進めることで、世界中の優れた技術・人材・資本・情報が集まるハブ・ステーションの形成をめざしています。

また「情報技術」をキーワードに、世界の産学官の関係者に広く会員を募り、会員相互の活発な交流の場を提供し、それぞれの専門や領域を越えて自由に情報交換を行えるネットワークを構築する「世界ソフトウェア&テクノロジー会議（WST）」（隔年開催）を主宰しています。平成10年10月に「設立準備会」を開催し、平成12年7月には第1回本会議となる「WST2000」を『技術移転と産学官連携』をテーマに開催し、24カ国から400名を超える参加者を得ました。参加者は「グローバル・デジタル・ファミリー」のメンバーとして登録され、今後、オンライン（インターネット）上で自由活発な意見・情報交換を展開していきます。

ソフトピアジャパンの集積状況、今後の取り組み

これまで述べてきたようなハード・ソフト両面における積極的なソフトピアジャパン・プロジェクトを推進してきた結果、現在ではソフトピアジャパン地内に137社約1,600人（平成13年1月1日現在）の集積が形成されるに到りました（民間分譲地17社、技術開発室39社、インキュベートルーム81社）。また積極的に海外系企業の誘致を図ってきた結果、インド、アメリカ等から13社の海外系企業が進出しております。

岐阜県では21世紀を迎えるにあたり、ソフトピアジャパン・プロジェクトのさらなる飛躍を図るため、次なる構想・戦略を以下のように用意し、実行に移し始めています。

①慶應義塾大学との事業協力に関する覚書の締結

ソフトピアジャパン・プロジェクト推進にあたり、岐阜県と慶應義塾大学とは「21世紀の高度情報社会における『情報』の重要性を相互に認識し、先端的な研究開発などを通じて、我が国における情報化時代の新しい国際的情報生産拠点を構築し、立ち遅れた我が国の情報化を促進すること」を目的とした協定書を平成7年1月19日に締結しましたが、ソフトピアジャパンの新たな拠点施設としてソフトピアジャパン・ドリーム・コアが完成したことなどを踏まえ、またソフトピアジャパンプロジェクトが『情報新時代をリードする、世界に開かれた高度な情報産業集積拠点を創造すること』をめざし、平成12年9月、岐阜県及び財団法人ソフトピアジャパンは、慶應義塾大学と事業協力に関する覚書を調印しました。

②ソフトピアジャパン・ブランドの形成

また進出企業のネットワーク化と企業力の強化により、受注・生産の新システムの構築を進めることで、「ソフトピアジャパンの進出企業なら安心でなおかつ高品質のソフトウェア開発が可能だ」といった無形のイメージ、ブランドの形成を検討中です。

③「ワークショップ24（仮称）」の整備

民間活力を導入して、来年度中にも、ソフトピアジャパンに集積している情報関連産業の従事者や起業家向けに、弁理士などベンチャーを支援する事務所などのサポート機能をはじめ、住居機能や飲食・生活洋品雑貨などの物販機能も備えた、ビジネスと生活を24時間サポートする職住一体の利便施設「ワークショップ 24（仮称）」を完成させる予定です。

④今後の課題～民主導・官サポートの頭脳産業都市ソフトピアジャパンの形成～

岐阜県が引き続きソフトピアジャパンに集積する企業の成長、周辺環境のサポートを継続していくことはもちろんのことでありますが、「ワークショップ 24（仮称）」の整備により「働く」・「学ぶ」場所としてのソフトピアジャパンだけでなく、「住む」・「費やす」といった機能を付加することで「まち」としての魅力を高めることになります。

これを契機に官主導のスタンスからの脱却を始めるとともに、企業が自然発生的にソフトピアジャパンに集積し、自立的な成長・発展を遂げることができるよう、側面から岐阜県がサポートするという形の民主導・官サポートのスタンスに徐々に移行し、それに伴い、さらに新たな「遊ぶ」といった機能が付け加わることで世界で有数の高密度な頭脳産業都市を形成し、老若男女を問わず、頭脳労働者が集まり「交わる」、魅力ある「ITシティ」の形成を目指すものであります。

「テクノプラザ・プロジェクト」の概要

経緯・目的

テクノプラザの立地する各務原市は濃尾平野の北端、木曽川を挟んで愛知県に隣接し、川崎重工業、航空自衛隊岐阜基地が立地する、航空機産業を中心とする工業都市です。

テクノプラザは、頭脳立地法に基づく「岐阜地域集積促進計画」により各務原市に整備され、地域産業集積の維持と生産性の向上、製品の高付加価値化を図るため、VR技術を中心に特定事業と既存事業との融合から新産業を創造する新産業創出ゾーンの構築を目指してきました。

また、平成10年12月11日にはこの頭脳立地法を発展的に継承し、新事業の創出による経済活性化と雇用の創出を目的とする「新事業

創出促進法」が成立し、それに基づく「岐阜地域新事業創出促進基本構想」を策定しました。今後は、この基本構想をもとに「高度技術産業集積活性化計画」を策定し、製造業を中心とする産業の高度化を図ることにより新産業を育成し、岐阜県の製造業に特化した産業構造、地場産業の空洞化を打開すべく、VR・ロボット技術等をキーテクノロジーと位置づけ、「ITとものづくりの融合」を目指します。

テクノプラザでは上記目的達成のため、①研究開発拠点づくり、②交流基盤づくり、③人材育成基盤づくり、④ニュービジネス創出拠点づくりの４つのコンセプトを柱に、各種施策を積極的に展開しています。

施設概要・運営

平成10年にオープンした『テクノプラザ（本館）』とは、研究開発立県を目指す岐阜県内の試験研究機関を統括する①「岐阜県科学技術振興センター」、VR技術に関する研究開発、人材・企業育成等の事業を行う②「株式会社ブイ・アール・テクノセンター」の合築施設であり、当施設の管理運営については③「岐阜県研究開発財団」に委託されています。

平成12年12月には県の生産情報分野の研究開発及び技術支援機関である④「岐阜県生産情報技術研究所」、地域産業の高度化・情報化を支援し、ベンチャー企業の育成を図る⑤「株式会社新産業支援テクノコア」の合築施設である『アネックス・テクノ２（テクノプラザ別館）』がオープンしています。

テクノプラザとは、この『テクノプラザ本館』、『アネックス・テクノ２（テクノプラザ別館）』、さらに『産業団地』を総称したものをいい、イギリスの著名な建築家リチャード・ロジャース氏の設計で、自然との調和を重視した、丘陵地の地形を生かしたものとなっています。以下、主たる機関について説明します。

①「岐阜県科学技術振興センター」

「研究開発立県」を目指すため、本県の科学技術基本戦略を立案し、その進行管理を行うために発足した行政機関で、平成８年４月に設置された機関です。衛生・工業・農業・林業等、技術や産業分野にとらわれず研究組織を一本化したのは、全国で初の試みです。

今後は、岐阜県科学技術振興センターを中心として、試験研究機関の有機的な連携を図り、県内11の試験研究機関による幅広い視野に立った戦略的・総合的・横断的な研究開発の推進に努め、活力ある地域産業づくり、県民生活の向上に貢献していきます。

②「株式会社ブイ・アール・テクノセンター」

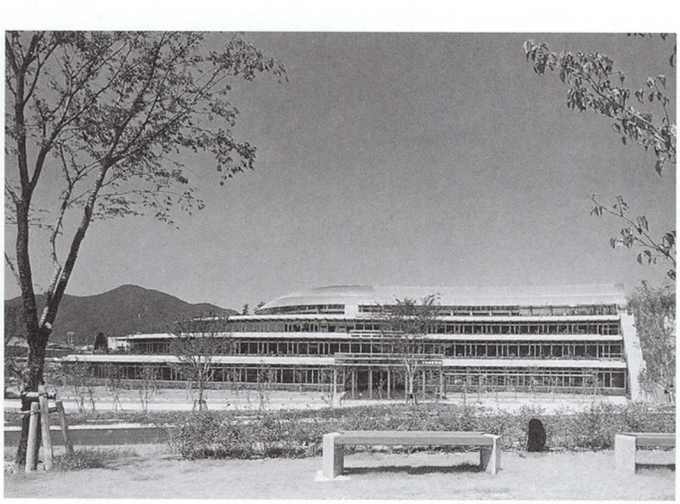
頭脳立地法に基づき、平成５年４月１日、岐阜県、地域振興整備公団、各務原市、民間企業37社の出資（資本金23億円）により設立された第３セクターの会社で、VR技術を活用した製品開発に重点を置いて事業展開するとともに、地域産業に対するVR技術の普及、VRに関する情報提供、人材育成・研修を行い産業の高度化をリードする機関です。

③「財団法人　岐阜県研究開発財団」

県の研究開発に関する中核拠点として、平成６年10月に設立され、研究開発に関する情報を収集・蓄積・提供するとともに、産・学・官のネットワークを形成するため、研究者の交流推進、連帯の強化を図り、研究開発のシーズ・ニーズを結合させるなど、研究開発全般にわたるトータルコーディネートを行います。また、「テクノプラザ（本館）」の管理も行っています。

平成12年４月には「新事業創出促進法」に基づく中核的支援機関として認定され、県内の新事業支援機関と連携して、企業や創業者の研究開発から商品開発、事業化までを一貫して総合的に支援する「エンタープライズ岐阜」を設置しました。

④「岐阜県生産情報技術研究所」



テクノプラザ（本館）



アネックス・テクノ２

情報システム・メカトロニクス技術（例．ロボット技術、VR技術、アクチュエータ技術、シミュレーション技術、計測技術、CV／IM技術等）のインテリジェント化に関する研究開発を実施している県の研究機関で、多品種少量生産、クイックレスポンスを可能とすることにより、製造業を中心とした県内産業の生産技術の高度化・高付加価値化、新産業・新分野への展開を支援します。

⑤「株式会社　新産業支援テクノコア」

新事業の創出と産業の高度化により経済の活性化、雇用の創出・拡大を図ることを目的とし、「新事業創出促進法」に基づき、平成11年４月２日、地域振興整備公団及び県の出資（資本金12億２千万円）により設立されました。

新産業支援テクノコアは、インキュベートルーム40室の整備による「ベンチャー育成支援機能」、CAD／CAMシステムを中心とした研修室や実習室の整備により県内企業における高度技術者の育成を図る「人材育成機能」、ラピッドプロトタイピング装置等の機器を整備し、バーチャルファクトリー構想を推進していく「モノづくり支援機能」などを有します。

テクノプラザの４つのコンセプト

①研究開発拠点づくり

県の試験研究機関を一元的に統括する「科学技術振興センター」は、戦略的かつ総合的な研究開発を推進しており、このテクノプラザの中核的機関です。また、平成11年４月に設立された「生産情報技術研究所」では、「人間と機械（コンピュータ）の協調」を目指し、ITとものづくりの融合により県内企業の高度化を図るため、VR、ロボット等産業の活性化に役立つ情報技術を研究しています。

本館には、VR技術、メカトロ技術等を中心として大学、県の試験研究機関及び民間企業等の研究開発の場として整備された開放研究室を整備しており、このうちVRラボラトリーでは世界初の大画面６面立体視システム「COSMOS」を利用した仮想現実の作成及び活用技術の研究が行われています。また、収蔵能力15万冊の「科学技術図書館」には、科学技術に関する国内外の図書、雑誌、CD-ROM、規格、特許情報など高度な専門情報のほか、県内企業による新技術開発や新製品に関する研究を支援するために不可欠な規格情報や特許に関する情報を提供しています。

なお、業務団地や賃貸スペースである技術開発室を整備し、最先端の研究開発型企業の進出による集積効果を狙っています。

②交流基盤づくり

東京大学先端科学技術研究センターや岐阜大学をはじめ国内外の大学、試験研究機関等との連携、VSMM国際学会、日本VR学会の研究者等との交流促進を強力に進め、研究者のネットワークづくりを積極的に推進しています。中でも平成11年８月に開所した通信・放送機構ぎふMVLリサーチセンターでは、廣瀬通孝東京大学教授をプロジェクトリーダーとし、東京大学IMLと本館のCOSMOSをギガビットネットワークで接続し、高度な仮想空間を利用して情報を共有する研究を進めています。

また、県内のVR関連企業を中心に設立されたVRテクノジャパン振興会では、会員相互の情報交換や学術研究機関との交流を行うなど、テクノプラザプロジェクトの推進を支援しています。

③人材育成基盤づくり

県内製造業において高度技術者を育成するため、CAD／CAM／CAEをはじめとする３次元設計システムに関する研修を実施するほか、VR技術の普及啓蒙、VR技術者の養成等を目的とした「VR工房」をVRテクノセンターによって設置され、低料金で一般に開放されています。

また、学生が直接開発・作成したVR作品のコンテストである「学生対抗手作りバーチャル・リアリティコンテスト」を、第５回目から開催地を千葉の幕張メッセから各務原市に移して開催しています。平成12年12月２～３日には第８回目のコンテストをテクノプラザで開催しました。

④ニュービジネス創出拠点づくり

IT関連の起業家を目指す個人、企業を育成・支援するため、アネックス・テクノ２に室料無料のインキュベートルームを40室整備し、高速専用線でのインターネット接続に加え、ソフトピアジャパン・ドリーム・コアのVB支援システムとも接続し、快適な研究開発環境を提供します。また、ソフトピアジャパンと連携し、ベンチャー支援を実施します。

テクノプラザの集積状況

上記のような各種取り組みの結果、テクノプラザには現在37社約450人（民間分譲地７社、技術開発室12社、インキュベートルーム18社）の集積が形成されました（平成13年１月１日現在）。また積極的に海外との連携を図ってきた結果、韓国、アメリカ　ウェストバージニア州知事テクノロジー局の日本事務所が進出しております。

今後の展望

①テクノプラザ業務団地第２期計画

テクノプラザは更なる企業の集積を図るため、地元の各務原市による事業化検討調査が実施されており、また、産業界からも早期事業着手が要望されています。

②ロボットプロジェクト

テクノプラザを中心に、ITとものづくりの技術を融合し、民生用ロボットの生産を中心とした一大メカトロ産業拠点を作る構想で、当面は介護・福祉等で活躍するロボットや2002年ロボカップ世界大会（福岡県）に参加に向けたロボットの開発などを行い、将来的に

はレスキューロボットの開発を目指しています。

平成12年９月26日には岐阜県工業会が中心となって「岐阜県知能ロボットプロジェクト連絡会議」を設立し、産学官連携による知能ロボット技術に関する研究方向の決定や知能ロボット技術による民生用ロボット産業育成（起業化）事業の基本構想の策定を行っています。

③早稲田大学との連携

21世紀の情報社会における「ITを活用したモノづくり」の重要性をお互いに認識し、共同研究開発や研究者などの交流を通じて、新しい産業や教育の機会を創造し、地域における先端的なモノづくりの拠点として推進することで、早稲田大学理工学部と協力関係を結び、今後、産業の高度化や新たな産業の創出と人材育成を図るための具体的連携内容について検討をしていくこととしています。

「岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)」の開校

経緯・目的

岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（以下、IAMAS）は、前述した岐阜県が進める「高度情報基地ぎふ」づくりの中核拠点であるソフトピアジャパン、テクノプラザ等で活躍しうる人材を育成することが重要であるとの認識のもと、21世紀の産業・文化の向上に寄与できるメディア・マスターを育成する県立の高度教育機関として、平成８年４月に開校しました。

IAMASは、科学と芸術の融合というビジョンのもと、マルチメディア時代に対応する国際水準の情報エリートの育成をめざし、大学院レベルの研究が可能な環境と、科学技術あるいは芸術・美術など幅広い分野を含む学際的なカリキュラムを設け、個人の才能と独創性を引き出す教育を行っています。

IAMASの特徴

①コース＆カリキュラム

IAMASは、２つの学科（ともに修学期間２年）があります。

アートアンドメディア・ラボ科は、マルチメディアに関する分野について大学教育を修めた者が、「メディア表現」のさらなる研究や創作活動を通じて、新たなメディア文化を世界に向けて発信することができるメディアマスターの育成コースでした。平成13年度からは「情報科学芸術大学院大学（メディア表現研究科メディア表現専攻　修士課程）」が開学します。

マルチメディア・スタジオ科は、コンピュータ等に関連する基本的な知識や技能を基礎から習得し、映像・音響・ソフトウェアなどの制作者となるメディア・クリエイターやメディア・エンジニアの育成コースで、平成13年度以降も「岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー」として引き続き実務家の養成をめざします。

またIAMASでは、アトリエとなるマルチメディア工房を設置して、国内外から客員芸術家（アーティスト・イン・レジデンス）を招へいし、創作活動を行なっています。学生はこの創作過程に参加して、作家とのコラボレーションにより知識を深め、技術を習得することができます。

②少数精鋭教育

情報科学芸術大学院大学１学年定員20名、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー１学年定員30名、という少数精鋭教育を実践します。

③様々なバックグラウンドの学生、肩書きにとらわれない実力教授陣

学生には、県外や社会人からの入学生も比較的多く、出身大学も東京大学、慶応義塾大学、東京工業大学、パリ国立美術学校、愛知県立芸術大学など多岐にわたります。

教授陣は、坂根厳夫学長（元慶応義塾大学教授）をはじめ、コンピューター、ネットワーク、CG、映像、音響、空間造形など多彩な分野の専門家による実践教育を行なっています。さらに、著名な芸術家や現役デザイナーなど第一線で活躍する専門家を招き、国際的な教員スタッフを揃えています。

④充実した教育環境設備

ハイレベルなコンピュータ機器を備えたコンピュータ室のほか、フルデジタルのサウンドスタジオやブルーマット撮影対応のビジュアルスタジオなど専門的な機器を備えた創作室を設けており、学生はこの学習環境を24時間使うことができます。

⑤企業からの支援

タグチ福寿会・十六銀行・大垣共立銀行・イビデン等地元企業から奨学金の就学支援を受けています。

IAMAS学生の主な活動実績、進路状況

学生は授業の他、各自テーマを決めて自主研究を行っており、海外の有名なコンテスト（SIIGRAPH、Ars Electronica オーストリア）等で入賞する高い水準の作品も生みだしています。

また、IAMASからは３期生まで約130名が卒業し、それぞれの専門分野で就業・進学しています。特に岐阜県内では、ソフトピアジャパン進出企業などへの就職のほか、個人またグループでソフトピアジャパン・インキュベートルームに入居して起業化に取り組む卒業生も多数います。

課題

IAMASから育った学生がメディアマスターとして、全国・全世界で活躍をしているのは大変喜ばしいことですが、卒業生の約４分の１が主に関東圏へ活動場所を移していることから、IAMASで育った優秀な情報エリート、IT人材を岐阜県内に留めるためにも、その受け皿となるソフトピアジャパン、テクノプラザ等に魅力ある創造環境を作り上げる戦略が重要になってくると考えます。

IT産業振興の現状とその障害

岐阜市総合企画部総合企画課

岐阜市では、地場産業であるアパレル業界の振興などを目的に、通産省が提唱するニューメディア構想に参画し、ビデオテックスを利用した所在地案内などの情報発信やデザイン設計支援など、業界の情報化支援を行ってきたところです。

しかし、年月も経過しその間の情報通信技術の発展はめざましく、情報通信においては、パソコン通信からインターネットの利用へと社会は大きく変容してきました。

インターネットは、その特性として、構築及び通信に係るコストが低く、表現性が格段に豊かで、全世界のネットワークに容易に参加でき、産業・学術など社会の各分野において様々な方法で利用され、ビジネスのプロセスを変革して経営効率を高めるなど、有力な手段の一つとして認められつつあるところです。

しかし、岐阜市においては、ソフトウェア産業などITサービス関連会社が未だ58社と少ないこともあり、この技術を生かした産業転換が遅れています。また、もともとアパレルを中心とした中小企業の多い本市は、この技術への関心の薄さや、将来的な展望が希薄であると言えます。

この点において、市がリーダーとなり、市民や事業体がその技術を享受できるよう、生活の中のIT推進に取り組む必要があり、まず市民生活の向上に向け、「元気・健康情報ネット」を構築して、公式ウェブサイトを大幅に拡充し、運用しようとしているところです。

具体的には、各主要行政機関を大容量光ファイバーにより、ネットワークで結ぶとともに、一部にはケーブルテレビネットワークを利用しています。家庭や事業所で使用されるパソコンで利用できるほか、タッチパネル式の街頭端末などを市内28カ所に設置して、市民が気軽にインターネット情報を受け取ることができるものです。

これと併せて、情報通信の基盤となる市内の通信回線については、有力なブロードバンド事業体である、ケーブルテレビ会社の設備整備に対して補助を行ったところです。

また、地域情報化の推進は、質の高い行政サービスの提供と簡素で効率的な行政システムを確立していく上で有効な手段であると考え、昨年6月に「電子市役所研究会」を発足させるとともに、本年国の補正予算「e-Japan構想」を受け、市民へのIT講習も積極的に取り組み、対象1万7千人を目標に準備をしているところです。

こうした行政のITの推進と併せ、IT産業の振興を図る必要があると思われますが、現況からすると、光ファイバーの敷設などの情報基盤環境の未整備、通信回線のコスト高、ソフト構築の指導者の不足など多くの課題があると思われます。

IT産業振興については、IT産業そのものの地域的な発展と、従来ある地場産業のIT化が考えられるところですが、今回のIT講習に端を発し、地場産業のIT化を進め、そのプロセスを経て成熟した技術により、地方にIT産業が生まれてくるのではないかと思われます。

こうした過程においても、重要なキーワードは産・学・官の連携であると思われます。





大垣市におけるIT産業振興の取り組み

大垣市経済部商工観光課

大垣市のあらまし

岐阜県大垣市は、日本列島のほぼ中央、濃尾平野の西北部に位置し、東西10.8km、南北13.3km、面積79.75km²、人口153,823人（平成12年9月30日現在）を擁する西濃地域の中心都市である。

市内には、木曽三川のひとつである揖斐川をはじめ、14の一級河川が流れ、豊富な地下水にも恵まれるなど、古くから「水の都」と呼ばれてきた。また、名神高速道路をはじめ、東海道新幹線や東海道本線など、わが国の東西交通の幹線動脈が市内を通過している。

歴史的には、奈良時代の美濃国分寺の建立をはじめ、関ヶ原合戦における西軍・石田三成の本拠地となった大垣城や松尾芭蕉の「奥の細道」の旅の最終地であるなど、東西交通・文化の要衝の地として、いくつかのエピソードが残っている。

IT産業振興の取り組み

本市は、豊富な地下水や恵まれた交通立地条件といった地理的環境から、大正期には繊維工業が発達し、昭和初期には化学・鉱業・機械工業などの進出によって、岐阜県下第一の工業都市として発展してきた。

しかしながら、昭和40年代には本市の製造品出荷額等の4割を占める基幹業種であった繊維工業が、国際競争と産業構造の変化などによって次第にその地位を下げ、事業の衰退・撤退を余儀なくされていった。

こうしたなか、昭和60年には大垣商工会議所が中心となって「TEAM21構想」が策定された。このなかでは、次代の産業振興の方向性として、①産業情報センターの設立、②コンピュータ企業団地の建設、③技術系研究・教育機関の拡充、④大垣地域骨格道路の整備の4つのプロジェクトが提案され、本市では、これらのプロジェクトを本市の産業振興の主要な柱として位置付け、各種施策を展開してきた。

また、岐阜県においても、来る高度情報社会におけるリーディング産業として情報関連産業が位置付けられ、本市は岐阜県と連携・協調して、「高度情報基地ぎふ」づくりの中核拠点として、「ソフトピアジャパン」の整備を進めてきた。

また、このソフトピアジャパンの整備とあわせて、高度情報社会を担う情報エリートの養成機関として「岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）」の整備が進められ、平成8年4月に開校した。

平成8年6月には「ソフトピアジャパンセンター」がオープンし、センタービル周辺には、IT関連企業が多数立地した。このなかには、本市の高度情報化推進のための拠点施設として「大垣市情報工房」が整備されている。

大垣市情報工房は、高度情報時代を担う「人材育成機能」と、高度なネットワークを利用した「情報受発信機能」の二つの役割を持ち、平成10年2月にオープンした。

情報工房では、人材育成のためのIT研修等各種事業を行っているほか、情報機器を取り揃えたホールや会議室などを広く提供している。また、情報受発信拠点として、インターネットによる市政情報



大垣市情報工房



大垣市情報工房1F・体験サロン

の提供をはじめ、小中学校間を光ファイバー網で結んだ教育情報ネットワークを構築し、教育分野における情報交流などを行っている。

また、情報工房の２階には、大垣商工会議所をはじめ、本市や地域の教育機関等が中心となり、平成９年11月に設立された「大垣地域産業情報研究協議会」が入居している。

大垣地域産業情報研究協議会では、産学官の連携により「産業の情報化・情報の産業化」をメインテーマとした産業振興を推進しており、「情報」「まちづくり」「産業振興」「TMO支援」等を柱に積極的に事業を展開している。特に「情報」事業では、産業情報データベース構築のための調査研究事業をはじめ、インターネットを活用した情報提供やIT研修などを行っている。「まちづくり」事業では、まちづくりビジョン策定のための調査研究事業を、「産業振興」事業では、ベンチャー育成支援と地域産業再生のための調査研究事業や西濃地域中小企業支援センターの運営を、「TMO支援」事業では、TMO活動を支援するための各種事業を行っている。

いずれの事業も、本市の地域特性を生かしながら、IT等の新しい要素を積極的に取り入れ、既存産業の活性化や新規事業の創出を目的としており、今後は、この協議会の活動により得られた成果を、本市の産業振興に活用していくことが望まれる。

今後の展望

ソフトピアジャパンのIT関連の進出企業は、いずれも操業開始から５年程度と日が浅く、現在は基盤を安定させ、これからが新規事業等を展開させるための飛躍の時期になると思われる。

しかしながら、これらIT関連企業の進出による効果は、ソフトピアジャパン内にとどまっており、全市的な産業振興までにはいたっていない。このため、今後は、ソフトピアによる効果を全市に波及させ、本市の産業振興に役立てる必要がある。

これまで、本市の産業は、製造業を中心とした「ものづくり」を得意とする企業が多く立地し発展してきた。これら既存産業が持つ技術とソフトピアの進出企業が持つIT技術との連携により、新規事業の創出をはかる必要がある。同時に、既存産業へのIT技術の導入などにより、既存産業の活性化をはかる必要がある。

今後は、ソフトピアジャパンをはじめ、現在本市に集積しているIT関連企業以外にも、積極的な企業誘致をはかるため、低廉な情報通信網の提供など、企業にとって魅力ある環境を整備していく必要がある。また、人材育成の面でも、情報工房やソフトピアジャパン等におけるIT研修をはじめ、IAMASでの高度な情報技術等を活用していく必要がある。

本市では、これら「IT」をキーワードとしたそれぞれの要素を有機的に連携させ、岐阜県をはじめ、大垣商工会議所や大垣地域産業情報研究協議会と連携しながら、ITをテーマとした産業振興施策を積極的に展開することなどにより、高度情報都市の構築をめざしていきたい。



大垣地域産業情報研究協議会・ＩＴ研修



大垣地域産業情報研究協議会・セミナー

県営北方住宅建替事業

ーハイタウン北方へー

岐阜県基盤整備部住宅課

岐阜市の西隣に位置し、市の中心部までの所要時間は約30分、町全体に肥沃な濃尾平野が広がっている、そんな居住地としても恵まれた土壌を有する岐阜県本巣郡北方町。

そして、現在建替事業を推進中の県営北方住宅（愛称：ハイタウン北方）は、既設中低層住宅の建設当時（昭和40年代前半）から、都市型農村地域においては一際目を引く存在の千戸を超える大規模な団地であり、約90,000㎡の敷地に町内在住世帯の２割近くが居住する、地域でも有数の密集居住地となっていた。又、北方町の文化的歴史を語るのに欠かせないのが、平安時代に天皇の勅願寺として弘法大師により建立された‘円鏡寺’で、団地からも徒歩で５分程の位置に現存するこの貴重な文化財を中心とした繁栄は、今日の町の文化及び経済の源流を成しており、これもまた最寄りにある北方町庁舎を含め、団地周辺一帯は町の中心部と位置付けられている。

さらに、北方町はこのような文化面と共に、行政並びに商業の面において郡部における中心的な役割を果たしており、加えて平成元年の町制施行満百年を契機とし、団地周辺部へのショッピングとレジャー機能を併せ持った大型商業施設の誘致計画等、町内の生活基盤整備事業を中心とした様々なプロジェクトが推進され、さらなる人口流入の見込まれる環境が整いつつあった。

しかしながら、このような状況に反して、団地に林立する平屋から四階建までの計84棟は建設、供用開始から30年余りを経過し、軀体の老朽化と共に入居者の高齢化が顕著となる等、周辺地域及び入居者の環境変化に取り残されつつある住宅の再生を図るべき時期に来ていた。

そして県と町双方の“生活環境の再整備”へ向けての熱意とタイミングが合致し、町の中心部に位置する北方住宅の今後あるべき姿を共に創造すべく、平成２年度に「県営北方住宅夢づくり委員会」が設置された。この委員会に参画したのは、県及び町の職員のみにとどまらず、団地及び町内住民の代表者、学識経験者、有識者等も委員に迎えて意見交換が行われ、その理念と成果を引き継いで翌年度設置された「県営北方住宅再生計画策定委員会」でのさらなる審議を経て、平成４年度には、入居者への意向調査結果も反映させた『北方住宅建替団地計画』が策定された。

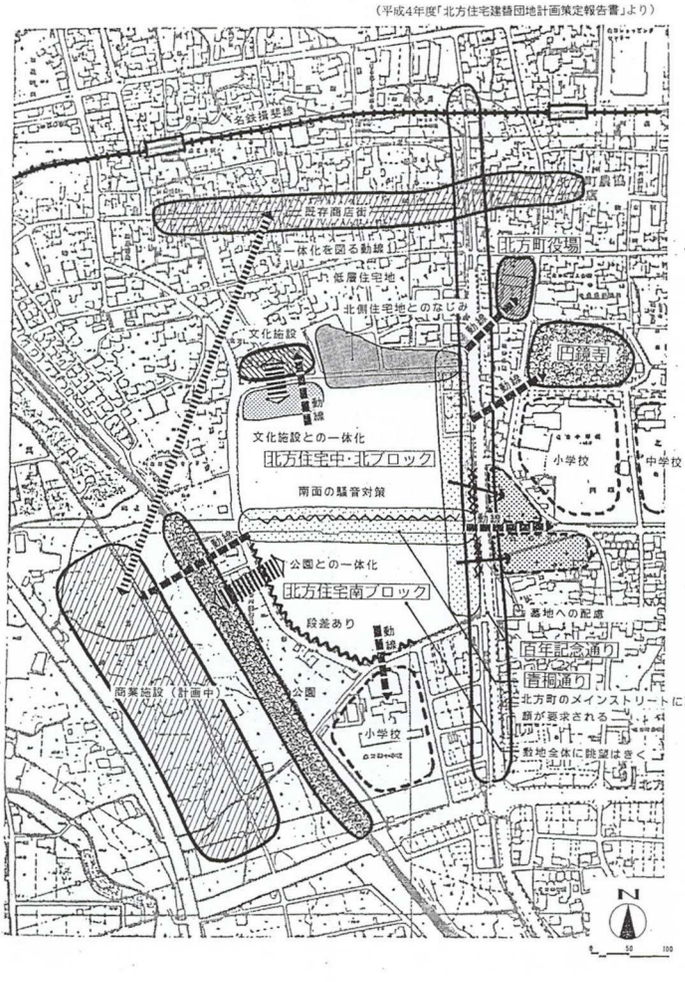
その報告書に、建替における理想を込めた基本コンセプトとして挙げられたのが、（1）良好なコミュニティの形成、（2）良好なストックの形成、（3）周辺市街地との調和、（4）良好な都市アメニティー快適性－の創出、（5）高齢者にとって住み易い住宅地、（6）居住者参加による住環境づくり、の以上６点であった。

これらの基本コンセプトに基づき、平成６年度には団地全体の約半分を占める南ブロックの基本設計に着手することとなったが、今回ほどの大規模団地の建替えが岐阜県としては初の試みであると共に、住宅施策そのものが「新規団地供給」から建替えを含めた「既存ストックの活用」へと方針転換を図っていた時期でもあり、本建替事業は将来計画も見据えた重要な意味を持つものとなっていた。よって、その第一歩を託す設計者には、都市計画との一体性等にも配慮した住宅設計の実績とコーディネーター的な役割も果たせる手腕を強く望んでいた。

そういった着眼点から、県内外を問わず設計者の選定にあたった結果、筆頭に名前が挙がったのが建築家・磯崎新氏であった。磯崎氏は、本事業の規模を遥かにしのぎ、熊本県下各地の公営住宅、美術館等の多岐に渡る公共施設整備を視野に入れた“アートポリス熊本”構想にも参画し、自らも建築設計者として活躍の場を海外にまで広げる経歴の持ち主であり、本事業の目的達成に力添えを頂く人物としては適任者であった。

まず磯崎氏は、これまでは大量供給を目的に画一的にプランニングされてきた公営住宅において、多岐に渡る新たな居住様式の提案

（平成4年度「北方住宅建替団地計画策定報告書」より）



周辺地域との相関計画図

を盛り込むため、複数設計者によるプロジェクトチーム構想を掲げた。それに加えて、圧倒的に男性社会であった建築設計業界において、「住まい」に対しては異なる視点を持つであろう、女性設計士のみに参画を打診した結果、国内外から住棟設計４人、中庭施設設計２人の計６人による設計プロジェクトチームが結成された。

そして、基本コンセプトを踏まえての基本及び実施設計の結果、南ブロック４棟計430戸の中に30タイプを超えるプランが集約され、実にその約３分の１をメゾネットプランの住戸が占める等、既設中低層住宅の入居者のみでなく、地域への新たな転入者の需要にも対応可能な住棟構成となった。さらに、この結果がもたらしたのは、基本コンセプトの「良好なコミュニティの形成」が意図している、若年層から高齢者まで、或いは単身から多子世帯まで、といった多様な家族構成の需要に対応出来る「バランスのとれた」型別の住戸供給の実現であった。

また、これらのプランの中には、他の基本コンセプトを独自に発展させ、ある意味、居住様式の提案にまで結びつけているものもみられる。例えば「良好なストックの形成」が意図する、将来的なライフスタイルの変化や子供の成長への対応が、高橋晶子氏のプランにおいては、スペースの制約となってしまう収納として可動式収納家具を採用することで、またエリザベス＝ディラー氏〔米国〕のプランでは、寝室間の間仕切りを取り外し可能とすることによって、各々間取りの可変性という形で実現されている。その上、これらのプランに備えられた間取りの自由度は、決して大がかりな改修を伴うものではなく、模様替えのような感覚で入居者が活用できるという点で、より大きな効果をもたらしている。

これに対して屋外部分の設計プランにおいては、入居者からの要望を受けた駐車場等のスペース確保のため、八階から十階建の高層４棟が四方に立ち並ぶ住棟配置計画が選定された結果、町事業との連携性を重視した「周辺市街地との調和」に相反するように、外観的には少なからず圧迫感を与えるものとなっている。そのため、敷地外周部分の遮蔽物を極力排除することで、団地敷地外との閉鎖的な印象の軽減を図るとともに、中庭や団地内通路には電柱・街路灯を含めた突出する構造物を設けない外構プランにより、屋外スペースの開放性を印象づけることに配慮している。



団地内景観－S1（高橋氏設計）棟より撮影－

また一方では、町が積極的にコミュニティ遊歩道としての整備を進めていた‘百年記念通り’や主要生活道路の‘青桐通り’に団地が面していたため、単純な箱形にとどまらない様々にえん曲・屈曲した住棟の外観は、町の中心部におけるランドマークとしての役割も担っており、憩いの場として中庭に整備された‘柳の庭’や‘四季の庭’等と名付けられた各種施設と共に「良好な都市アメニティの創出」に貢献している。

以上のように南ブロック建設事業においては、建替基本コンセプトに込められた様々の理想が、磯崎氏をはじめ設計者各位のご協力により何らかの形で実現させることができたが、今後10年以上の長期に渡る建替事業において、より一層「高齢化」の進む既設住宅入居者への配慮や建替計画策定の段階で培われた「居住者参加による住環境づくり」の理念を今後風化させないためにも、年々ニーズや生活様式の変化していく入居者と設計者とのパイプラインとして、県も役割を果たし、地域に根ざした事業を推進していきたいと考えている。

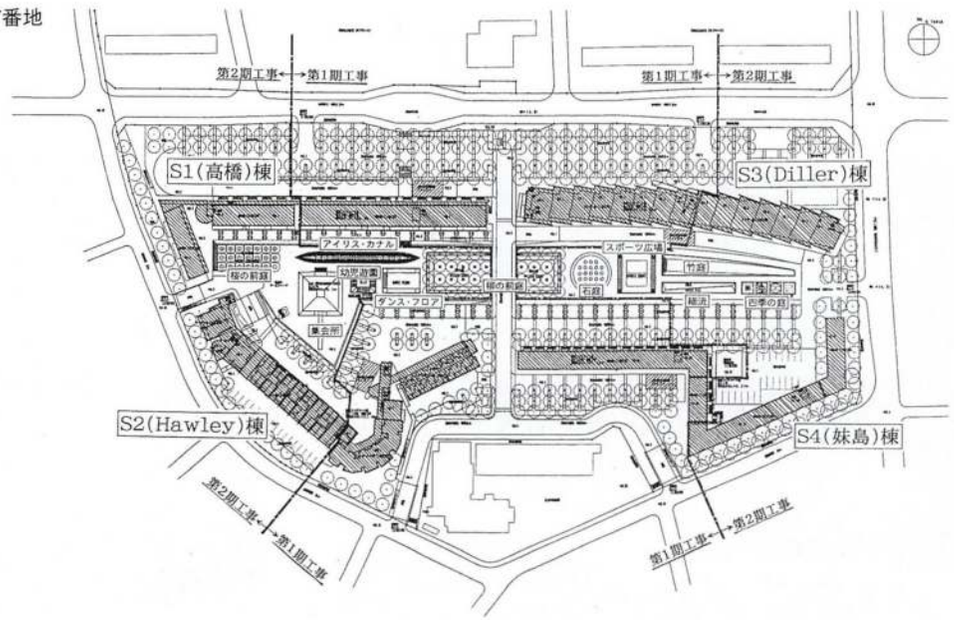
所在地　岐阜県本巣郡北方町大字北方字長谷川1857番地
敷地面積　34,647㎡（南ブロック）

S１棟
設　　計　高橋晶子
構造規模　RC、９F＋PH
延床面積　8,934.70㎡

S２棟
設　　計　クリステイン・ホーリイ
構造規模　RC、10F＋PH
延床面積　9,465.08㎡

S３棟
設　　計　エリサベス・ディラー
構造規模　RC、８F＋PH
延床面積　9,787.66㎡

S４棟
設　　計　妹島和世
構造規模　RC、10F＋PH
延床面積　9,559.70㎡



北方住宅南ブロック配置図

長良川国際会議場

岐阜市総合企画部総合企画課

岐阜市の概要

岐阜市は、昭和22年７月１日に市制を執行したとき、面積10㎢、人口25,750人であった。以後、近隣町村を合併し、現在では、県政の中心として面積195.12㎢、人口41万人の全国有数の都市となり、商業都市として、また観光都市として、中部圏における政治、経済、学術、文化等の主要都市となっている。そのような中、平成８年４月１日、政令指定都市並の事務権限を持つ中核市として、新たなるスタートをしたところである。

本市は、市の中央部に聳える金華山、そのふもとを流れる清流長良川、そこで繰り広げられる1300年の伝統を誇る鵜飼など豊かな自然と歴史が多く残る観光都市として、また、400年前、織田信長が「楽市楽座」を設けて以来、これまで商業都市として、特に、戦後は繊維・アパレル産業を中心に発展してきた。

建設の経緯

岐阜市は、地理的に日本の中央に位置し、県都として集積してきた中枢機能を有している。また、豊かな自然・歴史が残るためアフターコンベンション都市としても適している。これらの特性を生かし、国際化・情報化時代に対応した地域経済の活性化をはじめ、21世紀に向けて高次都市機能の集積と文化・学術・教育など地域社会の振興のため、人・物・情報の交流する「コンベンション都市づくり」を第３次総合計画の重要施策の一つとして定めた。

昭和62年に岐阜市・岐阜県・岐阜商工会議所等により岐阜コンベンション推進協議会が設立された。昭和63年には運輸大臣から「国際コンベンション・シティ」の指定を受け、平成元年にはコンベンション都市「岐阜」をPRするため「財団法人　岐阜コンベンション・ビューロー」が設立され、コンベンションの誘致・開催支援の事業を始めた。

このような情勢の中、岐阜県では一大コンベンション・イベントの拠点「世界イベント村」構想を打ち出し、平成３年にはスポーツ・イベント施設「岐阜メモリアルセンター」の全面オープン、そして平成６年には未来博を記念し、地域おこしの拠点施設「未来会館」の完成に至った。

また、岐阜市においても、岐阜県の施設整備と連携し、「岐阜メモリアルセンター」に隣接する旧長良中学校跡地に国際会議室をはじめとした会議、イベント、交流のためのスペースを有する岐阜コンベンションセンター（現　長良川国際会議場）、また名鉄と近鉄の共同出資による国際的にグレードの高い（仮称）長良川メッセホテル（現　岐阜ルネッサンスホテル）の建設構想を打ち出した。

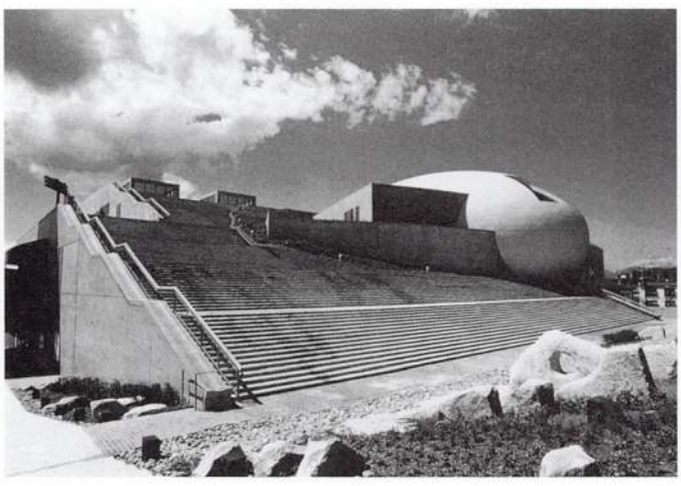
このうち岐阜市が整備する岐阜コンベンションセンターは、平成３年10月に自治省所管のリーディング・プロジェクトの指定を受け、国から財政的な支援を得て、平成５年10月19日に起工式を行い、名称を「長良川国際会議場」と称し、平成７年９月１日に会館した。

なお、平成６年10月には「国際コンベンション振興法」が施行され、国際会議等の誘致に関する支援などを受けられる「国際会議観光都市」に認定された。

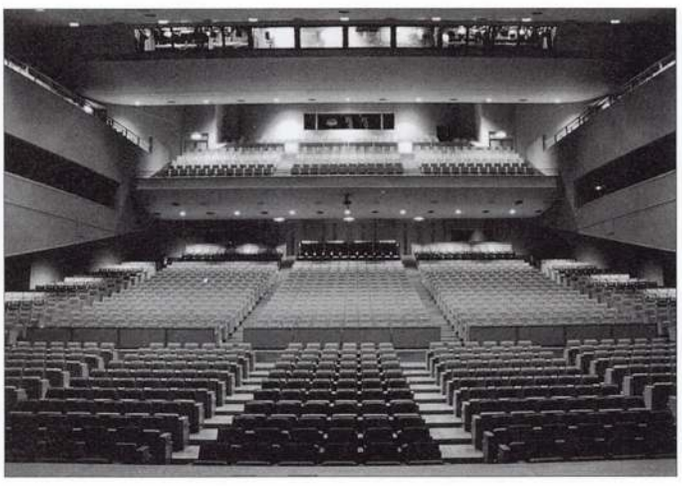
しかし、地方の時代を迎え都市間での誘致競争が激しくなっていく状況下において、今後も他都市に比して強い個性のあるコンベンション都市として成立していくためには、ハード・ソフトの両面にわたる受け入れ体制の充実・強化を図っていく必要がある。

長良川国際会議場の概要

岐阜は400年前、天下統一を唱える織田信長の「楽市楽座」政策



外観



メインホール

により、大きく発展してきた。

長良川国際会議場は、その現代版ともいえる「平成の楽市楽座」を目指しまた、国際コンベンション都市づくりの拠点として、国際交流、地域間交流を促進することにより、産業・学術・文化の向上を図るために建設された。

設計は、世界的に著名な建築家安藤忠雄氏による。「金華山と長良川を建築の一部として取り込み自然と調和した岐阜にしかない建物をつくりたい」という発想を基に創り出されたユニークな構造になっている。

楼門のようなエントランスを入ると、屋上にある4つの天窓から光が降り注ぐアトリウム（市民ギャラリー）が広がり、正方形に区切られた空間に螺旋階段を配置し、角と円の調和がはかられている。また、この空間は四層吹き抜けで螺旋階段とギャラリーを通って屋上庭園と続いている。

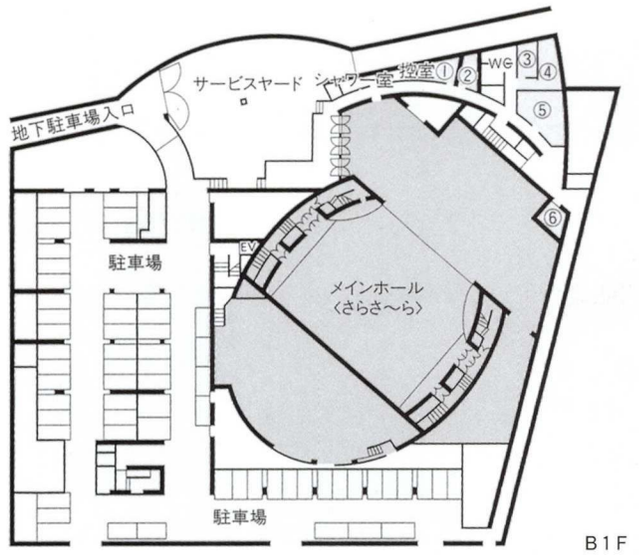
長良川、金華山を取り込み、自然と共生する岐阜市の環境を見事に表現した屋上庭園は、アフターコンベンションとしての機能も兼ね備え、岐阜ならではの景観が満喫できる新名所として市民にも人気を集めている。

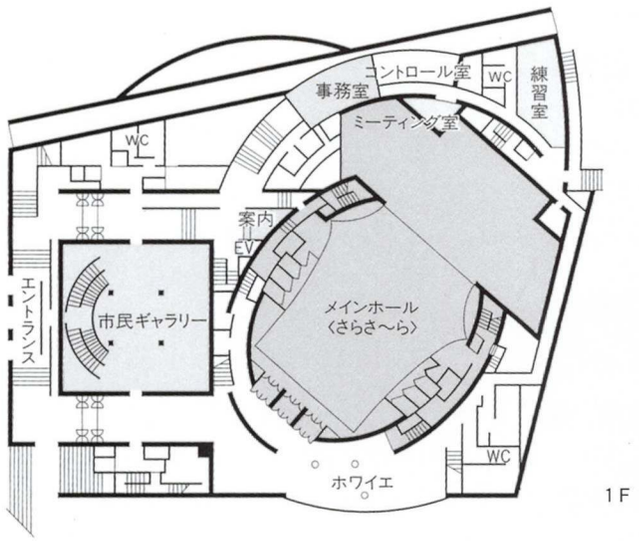
最大1,929人（通常1,689人）を収容できるメインホールは、コンピューター制御による可動床を採用し、舞台と客席を自由自在に変化させることができ、6カ国語同時通訳設備をはじめ最新の映像・音響設備を備えており、会議はもちろん各種コンサートからファッションショーまで様々なイベント・コンベンションに対応できるようになっている。

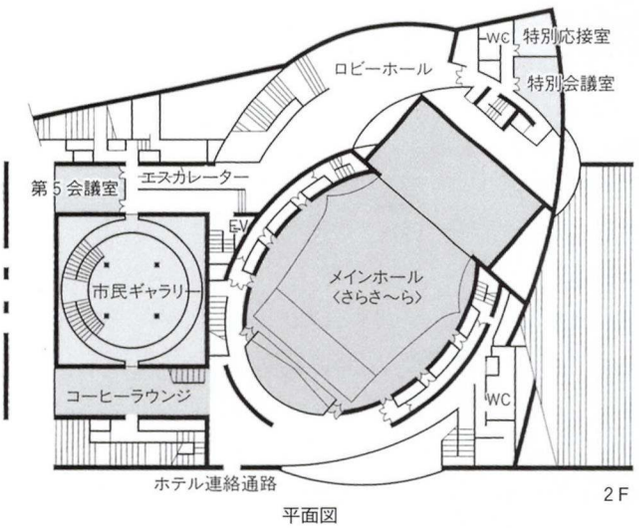
屋上に産み落とされた巨大タマゴの様な建物の中には国際会議室がある。この会議室には、国際会議に必要な4カ国語同時通訳設備、映像・音響設備を備え、ゆったりとした椅子に座り、落ち着いて会議ができる環境が整えられている。また、会議室正面の自動開閉窓を開放すると金華山に聳える岐阜城、そのふもとを流れる長良川が1枚の絵画のように浮かび上がってくる。

そのほか、大会議室、小会議室にも映像機器を備え、コンベンション施設として欠かせない機能を有している。

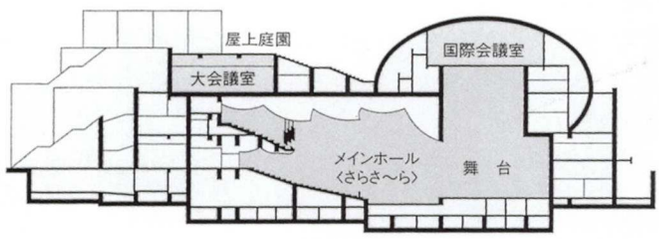
また、長良川国際会議場のオープンにより、岐阜メモリアルセンター、未来会館、長良川スポーツプラザそして長良川国際会議場の4施設で、「世界イベント村ぎふ」が完成し、日本の真ん中「岐阜」に世界初の10万人規模のマルチイベントコンプレックスが誕生した。







平面図



断面図

所 在 地　岐阜市長良福光2695−2
設　　計　安藤忠雄建築研究所
構造規模　SRC、B1F＋5F
敷地面積　26,530.9㎡（隣接ホテル敷地を含む）
延床面積　19,264.5㎡
工　　期　1993年10月〜1995年6月
管理運営　㈶岐阜市公共ホール管理財団

ソフトピアジャパンセンター
大垣市情報工房/ソフトピアジャパン・アネックス

黒川紀章建築都市設計事務所／高橋守男



外観

■ソフトピアジャパンセンター
設計監理：岐阜県・黒川紀章建築都市設計事務所
施　　工：竹中・大日本・岐建・土屋・宇佐美共同企業体

■大垣市情報工房／ソフトピアジャパン・アネックス
設計監理：大垣市・黒川紀章建築都市設計事務所
施　　工：大日本・岐建・共同企業体

ソフトピアジャパンは、21世紀のリーディング産業とされるマルチメディアなどの、IT産業を中心に研究開発型企業の集積を図り、国際的なソフトウェア開発の拠点を目指すとともに、産業、教育、福祉、医療など地域社会のIT化の推進、支援を目的とし、岐阜県が大垣市で進めている事業で、センタービルはそれらの中核施設として位置づけられている。

センタービルは、ソフトピアジャパンのセンター地区に位置し、高層棟、低層棟及びアトリウムにより構成し、高層棟は、産・学・官が一体となった研究を推進するための共同研究室、企業用研究室、ベンチャー企業向けインキュベートルームからなる。低層棟にはセミナーホール、多目的ホール（ソピアホール）を備え、国際会議にも利用可能。建物の周囲に「せせらぎ」の池を配し、水都大垣のイメージの演出を図った。

大垣市情報工房／ソフトピジャパン・アネックスは、大垣市と岐阜県の合築として構成し、池を介し、センタービルの東側に隣接する。大垣市情報工房は1、2、5階を占め、誰でもマルチメディアを体験、創作できる空間となっている。3、4階を占める岐阜県の施設は、ソフトピアジャパンセンターを補完する機能を持つ。

ソフトピアジャパンは花崗岩、磁器タイル、アルミパネル等のソリッドな仕上で構成、大垣市情報工房は透明感のあるガラスカーテンウォールで構成した。

二つの施設のデザインは、共通したイメージのなかで、仕上を変えることにより、それぞれのアイデンティティーの表現をねらった。また、一体の機能を保有していることから、建築の浮遊感、飛翔感を共通の表現とした。

（たかはし　もりお／黒川紀章建築都市設計事務所）



外観



夜景



ソピアホール



エントランスホール

ソフトピアジャパンセンター
所 在 地　岐阜県大垣市加賀野
敷地面積　20,897.35㎡
建築面積　 4,432.65㎡
延床面積　35,939.54㎡
構造規模　S、一部SRC、B2F、13F、P1F
工　　期　1993年12月～1996年2月
最 寄 駅　JR東海道本線大垣駅
撮　　影　大橋富夫



大垣市情報工房外観



夜景



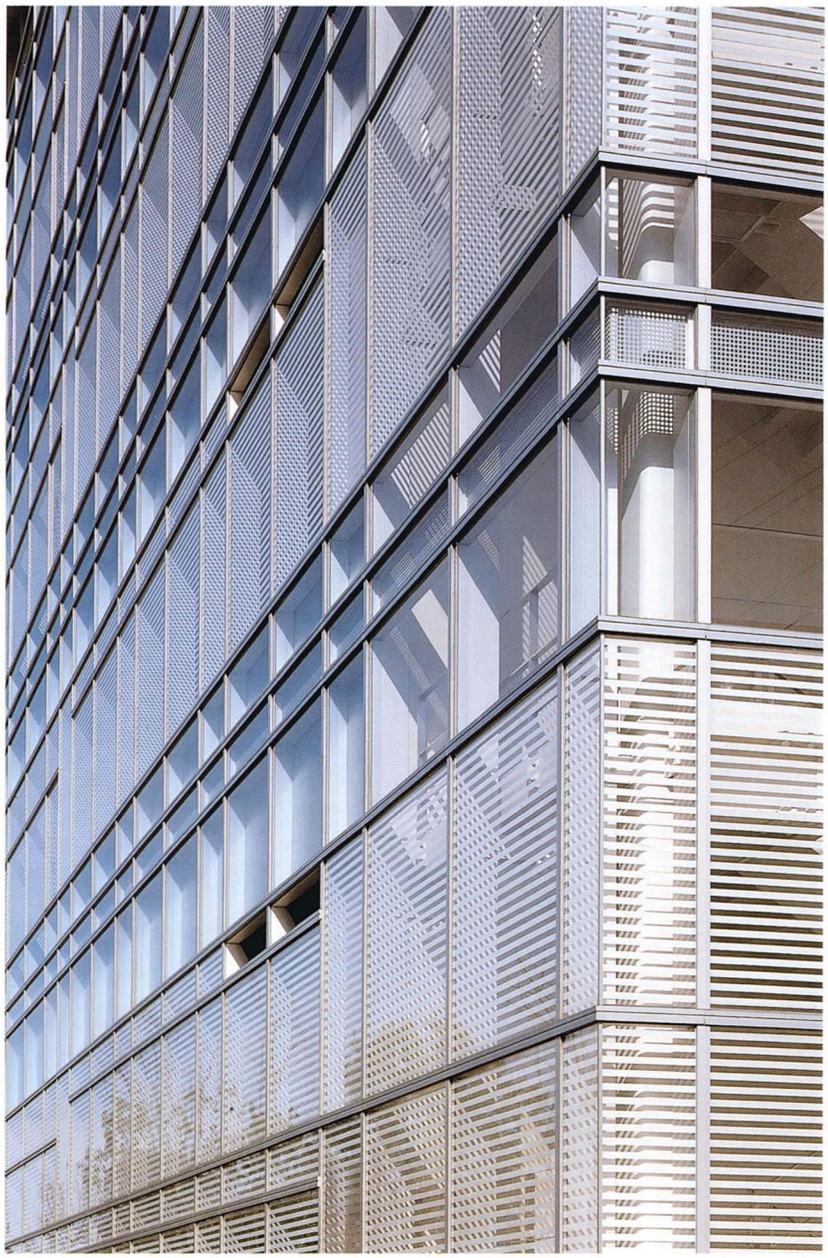
大垣市情報工房／ソフトピアジャパン・アネックス
敷地面積　4,000㎡
建築面積　1,999㎡
延床面積　9,323㎡
構造規模　S、一部SRC、B1F、5F
工　　期　1996年1月～1997年8月
撮　　影　大橋富夫



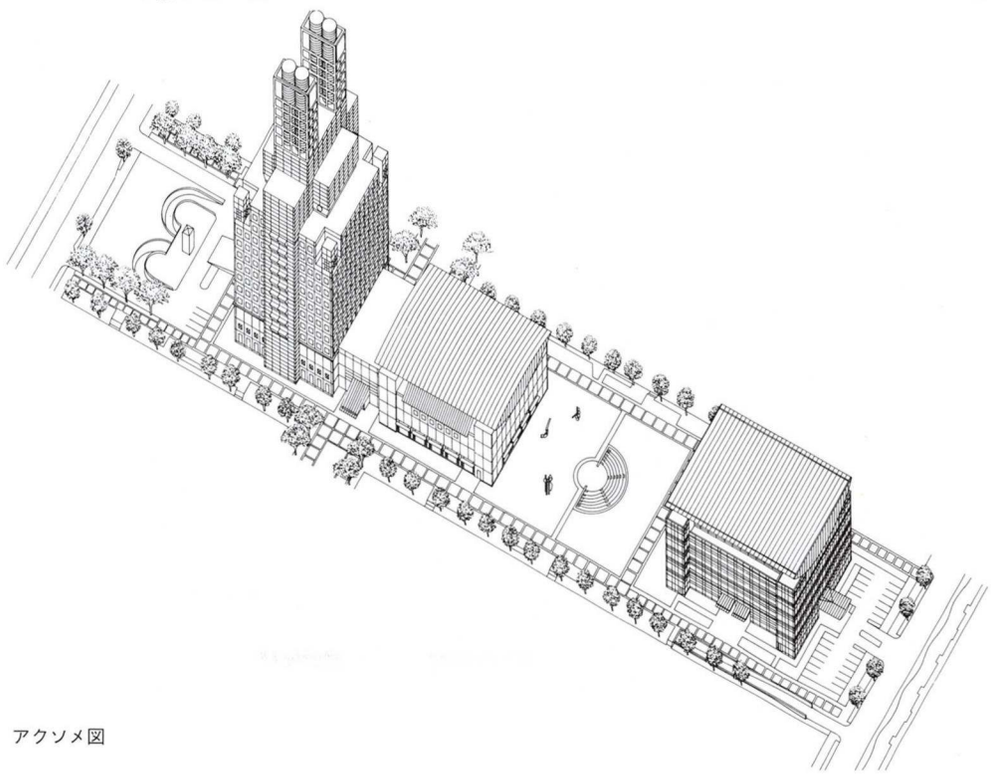
5階ホワイエ



5階セミナー室



カーテンウォール



アクソメ図

岐阜・大垣／情報産業振興のための施設づくり

ソフトピア・ジャパン・ドリームコア

佐藤宏尚



正面外観

設計監理　大江　匡／PLANTEC十向井建築事務所
施　　工　鹿島・土屋・岐建木村特定建設工事共同企業体

敷地は情報産業の育成と振興を図る岐阜県の中核として整備されている「ソフトピアジャパン」の西端に位置する。用途はIT産業で活躍する人材の育成を目的とした研修センターとベンチャー企業を支援・育成するインキュベートオフィスの合築施設である。

敷地周辺は直線的な道路により明確に区画されており、その土地特有のコンテクストが抹殺された画一的な土地は、おそらく都市的なものを目指しながらも都市的要素である界隈性、偶発性、覗視性などの多義的な魅力とは無縁である。

配置上の特徴は、計画可能な最大限のプロムナード空間を表層に配し、研修センター、インキュベート、共有部門の３つの機能を敷地の形状にあわせクラスター状に配置したことである。

また敷地は南北に長いため開口面は東西方向にとらざるを得ない。開放性と環境負荷の低減を考慮し西面は空調機などを設置し閉じ、東面に開口を設けさらにパンチングパネルルーバーで覆った。

ルーバーにより外部と分節された半外部空間はプロムナードと一体の空間として内部に広闊感を与えると同時にリフレッシュ空間としても有効に機能している。

このようなプロムナード空間を介し異なる機能の施設を接続することで、＜研修を受ける＞＜休憩する＞＜打合せをする＞などの人々の様々な行為が共有され、その状況は多様な行為に満ちた社会の縮図ともいえる。限られた規模の中であるが、このような都市的状況こそ、偶発性の誘因となるのではないだろうか。

また意図的に木質系の素材を多用することにより、昼間のメタリックなルーバーを纏った外観は、夜間には一変し、木の柔らかな表情が浮かび上がる。ルーバーを介して内部の活動は外部へとこぼれだし、（無表情で互いに孤立した建築群に欠けている）気配という界隈性に不可欠な情報を顕在化する。

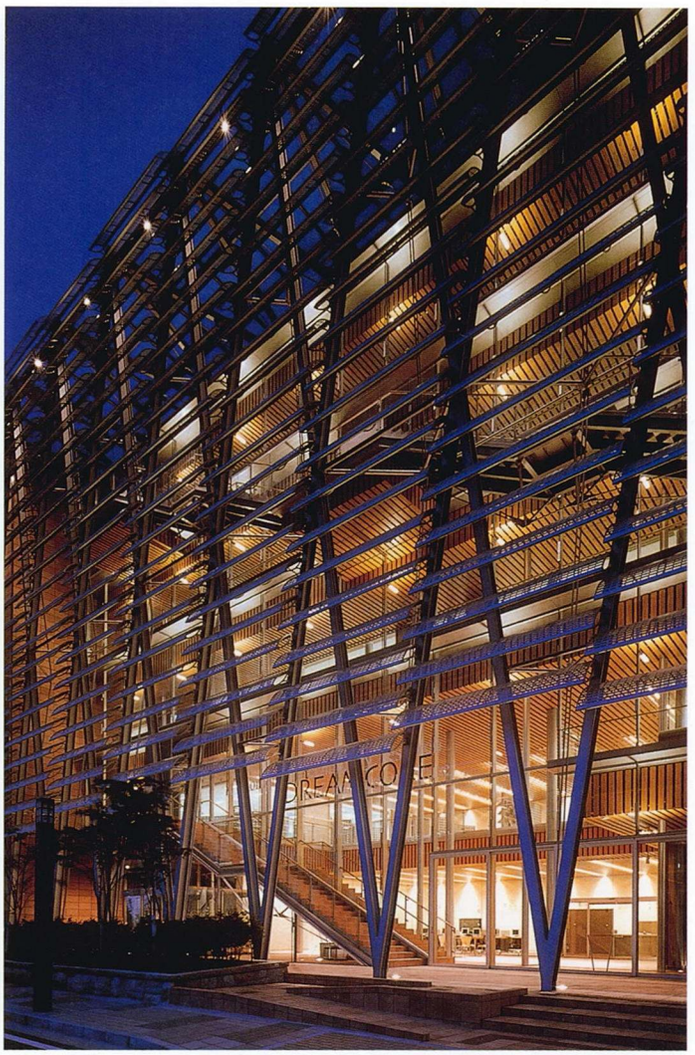
この施設の利用者が将来大きくはばたいてゆき、またこの施設がそのことに少なからず貢献することを我々は期待している。

（さとう　ひろたか／PLANTEC）



プロムナード／階段より半外部空間を見る

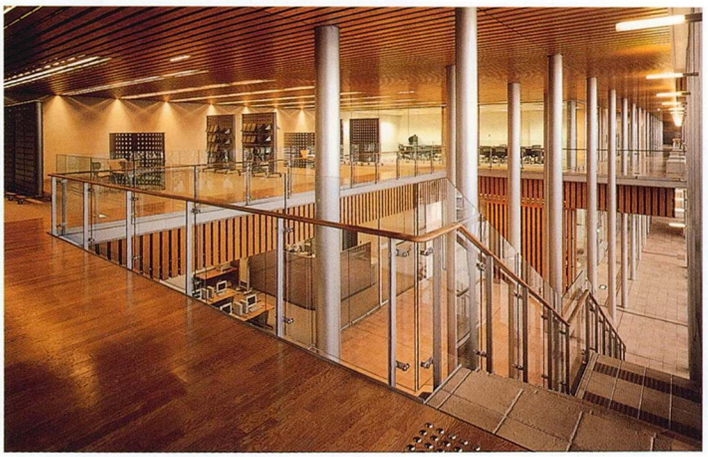




外観／夜景

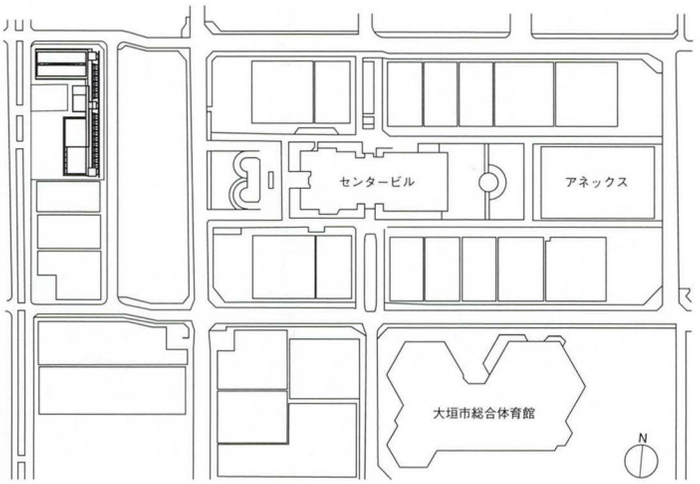


プロムナード／廊下とガラス張りの研修室

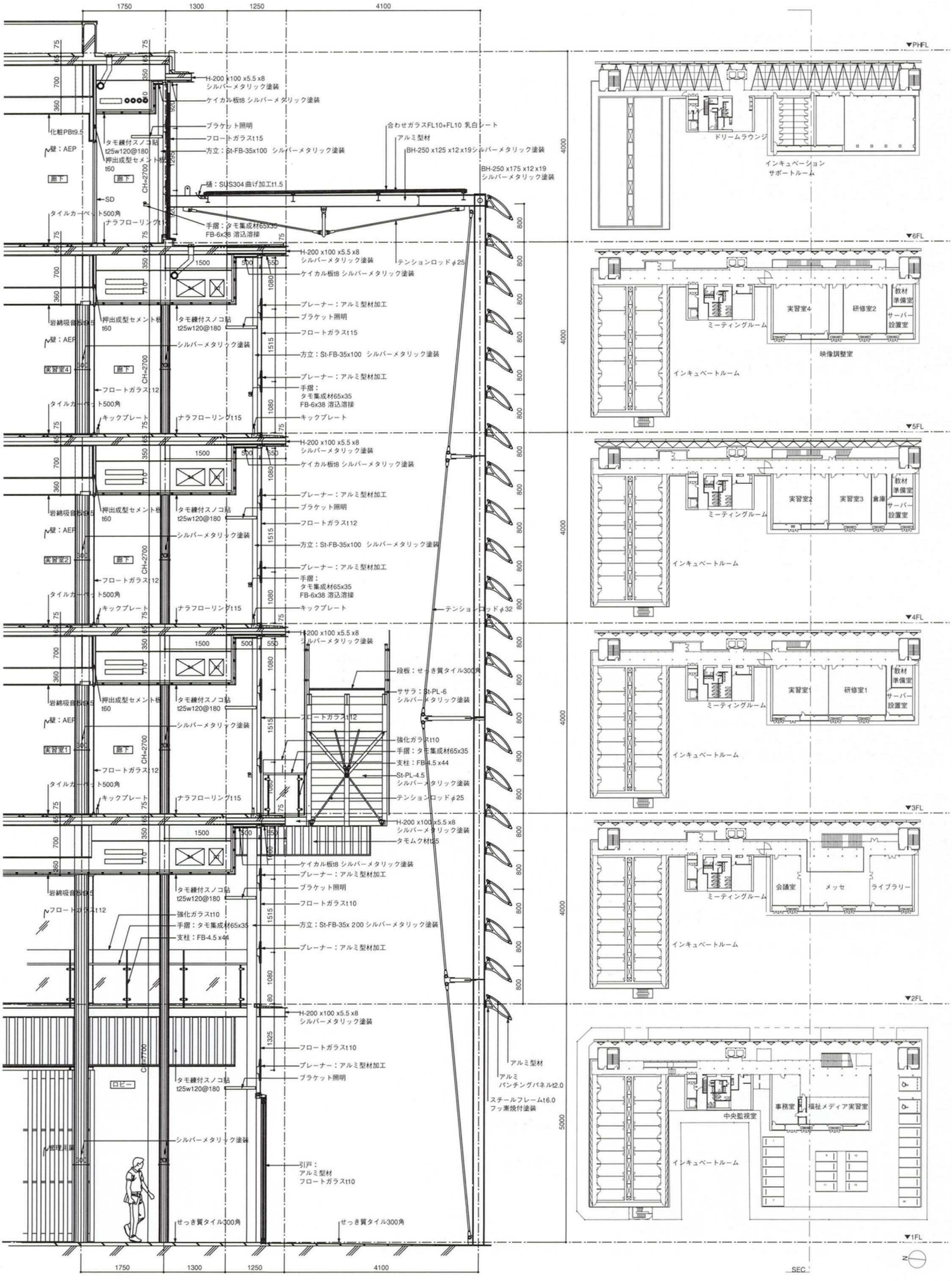


ロビー／吹抜空間を見る

所 在 地　岐阜県大垣今宿 6 -52-16
敷地面積　3,864.32
建築面積　1,835.85
延床面積　8,528.32
構造規模　S（地下RC）B1F、6F、P1F
工　　期　1999年3月～2000年3月
最 寄 駅　JR東海道本線大垣駅
撮　　影　小林浩志（スパイラル）



配置図：1：5000



矩計図　1：100

配置図　1：1200

土 TUCHI

Okuda Hideo
奥田 英雄 大林組

土の継承

風土をつなぐ

時折気にかかる地名に出会うことがある。そこは「土」の「室」と書き、「土室（はむろ）」と呼んだ。古くは土をハニと読むらしい。ハニワのハニである。場所は北摂、継体天皇陵など古墳が点在する地域に位置する。計画を進めると遺跡が発掘された。近郊の古墳にハニワや土器を献上するための工人集落で、日本書紀にも記載されている重要な史跡という。こじんまりとした池に続く斜面にその遺跡は眠っていた。素材となる土と、捏ねるための水、そして登り窯が容易につくれる丘がここを工人集落たらしめたのであろう。どうやら「土」に関わりの深い来歴がここを「土室」と呼ばせ、いまなお地名として息づかせていると思われる。
多くの地名には少なからぬ記憶が刻まれている。



アナログな風景

素材が地域のアイデンティティにつながる例は多い。風景をひとくくりに感じ取る時、形態も重要な要素になるが、むしろ色合や肌合が街並を印象づけている様に思えてならない。特に大地から採られる土には饒舌な地域性が込められている。ミコノス島の白い土壁、トスカーナを特徴づけるバーントシエナの赤茶けた瓦。その地域で産出される土が壁や瓦などの建材として気候に馴染むように工夫されながら用いられていく。ひとつひとつの家に用いられた素材の特性が時を経るほどに連なり合い、やがて印象深い街並として地域性を語りはじめる。そこには人による作意的な統制などなく、あたかも生態系が自然に整えられていくように街並が風土に溶け込んでいる。本来街並とはこうして風土に根づきながら成熟していくため、際立った自己主張に乏しい素材どおしのアナログな旋律がむしろ総体として独自性の高い景観を彩ってきた。

土への郷愁

アースカラーのグラデーションとざらついた肌合の街並には、なぜか懐かしい郷愁を感じさせる。自然と共生した穏やかな暮らしがそこにあるような気がするのだろうか。年月を経て、すこしずつ朽ちていきながらも住まい手の愛情に見守られ使い込まれてきた表情に共感と憧れを垣間見るのかもしれない。
土という素材のもつそれらの心象風景を確かなものとするため、風土に培われた土の記憶に耳を傾けなければならない。







「素材と技術が生み出すデザイン」は相対する具体的な事例や視点に光をあてることにより、異なるものの見方の可能性に挑戦する。今回は身近な素材として古来より多用されてきた「土」を取り上げる。人と歴史と切り離せない関係を持つ「風土」との関わりから捉え直してみたい。

（素材と技術が生み出すdesign幹事会）

◀ 土の革新

Itakura Mitsuyo
板倉　満代



風土をくぎる

国土を埋立によって維持・拡大してきたオランダの古い街並は、運河に面した煉瓦建築によって形成されている。中世より水と戦い土地の獲得に精力を傾けてきた人々にとって、土に対するヒューマンな感情は持ってはいまい。しかし地盤が軟弱で、且つ石や木材が不足していたという過去を後目に、新たな埋立地では、様々な素材が百花繚乱、住宅群のファサードを飾る。この地においては、「異種素材の組み合わせ」、「表層材としての煉瓦」という新たな歴史の幕開け（＝区切り）を感じることができる。我々は今、技術によって種々多様な素材を選択することが可能となった。その結果、街並は分節され1つ1つの建物が独立する。建物はまた、ボリュウムに区切られ、素材をも区切る。そこには、各時代の技術と感性が盛り込まれ、過去を引きずることはない。動植物の環境への順応と同じく、建築もまたその進化の過程で時代時代の技術と感性の最先端を建築に反映することにより時代に順応し、時代を区切ってきた。

デジタルな風景

区切られた建築、分節された街並。もはや街並とは、個々のフォルム、ミクロな素材の陳列棚とでしか認識し得ないのだろうか。

絵画においてスーラは、細分化された対象に、部分に応じた筆遣いで色を置くことにより、光の効果を科学的に色彩に還元しようとした。1つ1つのドットはデジタル信号のように、面に変換され全体を構成する。建築においては、1つ1つの素材は個々に発信し、その集合体は表情や素材感、そして建築物を形成する。この最小の材料にタイルをあげられよう。原料として採掘された土地の記憶は手のひら程に封じ込められ、見知らぬ土地へと運ばれていく。その記憶の断片が個々に再発信し集合体として面を形成し、建物を構成した時、新しい記憶そしてその土地の歴史を人々に刻み始める。

人と風土

前述したオランダの埋立地には、無意識にも歴史が表出しているように思われる。間口の狭さは、運河で運ばれてくる梁間の有効材長を踏襲していたり、素材を面的に扱い組み合わせを楽しむ様は、平らな国土を覆う短冊型の運河街区のランドスケープの心象風景であったり、土地獲得のために泥炭を掘屈採取しそれを建材として使わざるを得なかった煉瓦からの解放等・・・「風土とは、人間存在の構造契機」と定義されることを、再認識する。一方、我々の周りの今なお空き地の残る埋立地の多くは、碁盤目上に、気まぐれに駒が置かれていく状態である。建物存在の拠り所は土地の歴史に頼ることはできず、作者各々の感性に委ねられる。やがて碁盤の目も埋まる頃、その街並は新たな歴史を生み出すのであろう。素材の百花繚乱もまた、風土形成への収束過程と捉えてみたい。







京都市公共建築デザイン指針

松田　彰
京都市都市計画局営繕部営繕企画課

京都市は、今日の多様化・高度化する社会経済状況のもとで、京都らしい都市景観の形成、地球環境への配慮、さらにはコスト縮減等の効果的な公共投資の要請など様々な市民ニーズに応えた、京都にふさわしい公共建築のあり方を示すため、「京都市公共建築デザイン指針」を策定した。

この指針は、一義的には京都市で公共建築の整備にかかわる者を対象としているが、民間設計事務所をはじめ広く市民や事業者にも利用できるものとするため、学識経験者、建築関係団体及び行政で構成する京都市公共建築デザイン指針研究会（会長：内井昭蔵滋賀県立大学教授）で案をまとめ、使い方として、公共建築整備で基本的に踏まえるべきことの理解はもとより、発想喚起の糸口やアカウンタビリティ（説明責任）を果たす際の視点としての活用も想定して編集している。

また、「デザイン」という言葉を広い意味でとらえ、ハード面の設計（ハードデザイン）だけでなく、設計プロセス、アカウンタビリティ、市民・事業者・行政のパートナーシップといったソフト面の立案・実施（マネージメント）にも配慮するため、構成は、基本理念に続き、ハードデザインに対応する計画論とマネージメントに対応する運用論の３章でまとめている。

デザイン指針の特徴

(1) デザイン形成にマネージメントの視点を導入

ハードデザインだけでなく、整備を進めていく上で必要となる合意形成、意思決定、広報、スケジュールなどのマネージメントを重視し、運用論として１章を構成。

(2) プロセスデザインとアカウンタビリティを強調

マネージメントの基本概念にプロセスデザイン（意見調整、合意形成等の進め方に関する計画）とアカウンタビリティを据え、五つの技法として①市民参加、②行政のチームワーク、③設計者との協働作業、④仕組み、⑤フィードバックの側面に分けて留意点や方法を示し、市民・事業者・行政のパートナーシップを強調。

(3) ハード面で景観・バリアフリー・環境・安全・経済性を強調

ハードデザインでは明確なコンセプトをつくり上げることを基本に据え、五つの技法として①景観形成、②バリアフリー、③環境共生、④防災・安全性、⑤経済性を重要な視点として位置付ける。

(4) これからの設計でキーとなる概念を提示

景観シミュレーション、ユニバーサルデザイン、エコマテリアル、ライフサイクルコスト、ライフサイクルCO_2など。

(5) 委員の意見をコラムとして掲載

（まつだ　あきら）

【京都市公共建築デザイン指針の構成】



Ⅰ　基本理念

公共建築とは	①基本性能を満たす「建築物」としての役割（性能軸） ②市民サービスを行う「公共の器」としての役割（利用軸） ③次世代に向けての「模範」としての役割（時間軸）
デザインとは	デザインは、ハードデザインとマネージメントの両輪で成立
指針とは	①公共建築の整備にかかわる者として、基本的に踏まえるべきことを理解するための指針 ②発想を喚起させるための糸口として活用するための指針 ③アカウンタビリティを果たす際の視点を得るための指針
「京都（らしさ）」とは	京都という地域について知識と見識を持ち、設計にあたって、その場所性や機能等を総合的に検討し、関係者と協働してコンセプトをまとめ、それを表現した姿を「京都らしさ」と考える

Ⅱ　計画論

三つの心得「かまえ」	しつらえる	公共建築としてのコンセプト（基本理念）をつくりあげる
	よみとく	敷地条件・周辺環境を把握する
	おしはかる	施設利用の視点に配慮する
五つの技法「たくみ」	つろくさせる	景観・まちなみとの関係性をもたせる
	こころをくばる	バリアフリーやユニバーサルデザインの視点をもつ
	なじませる	エコロジー・環境共生の視点を取り込んだ快適な空間をつくる
	そなえる	防災・安全性への対応を図る
	しまつする	ライフサイクルコストやコスト縮減など経済性に配慮する

Ⅲ　運用論

二つの心得「かまえ」	みわたす	作業手順をあらかじめ明確化する：プロセスデザイン
	わかちあう	計画内容や検討経緯を適切に説明し、理解を得る：アカウンタビリティ
五つの技法「たくみ」	ひろげる	市民の声を反映させる
	とととのえる	関係部局間の密接な協力・連携を築く
	たずさえる	設計業務委託先との協働作業で、質の高いデザインを目指す
	みちびく	よりよいデザイン形成のための仕組みを整える
	かえりみる	事業評価と運営現場からのフィードバックに努める

新しい解析テクノロジーの導入

佐々木仁 Arup Japan
猿渡智治 ㈱日本総合研究所

今日、地球環境の問題から製造業者に対してはリサイクル、省資源化を推進するためのあらゆる施策が求められており、設計現場においてこれらを視野にいれた設計が求められている。このため設計技術者側では、高度化、複雑化する設計に対し従来のような簡易モデルによる設計検討だけでは対応しきれず、より詳細な数値モデルを用いたシミュレーションによる設計の検討などが必要となってきている。

コンピュータを用いた数値シミュレーションは、メモリやHDD、CPUなどのコンピュータリソースを大量に消費するため、大型計算機やEWSなどを用いなければその環境は構築できなかったが、今日のコンピュータハードウェア技術の進歩に伴って高性能なコンピュータが低価格で入手できるようになり、日常の業務に使用するPCを用いてシミュレーション環境を構築することが可能となってきた。

このような状況の中で最近注目されているのが、陽解法有限要素法ソフトウェアである。このソフトウェアでは、

（1）衝撃解析や地震応答解析、塑性加工解析、構造と流体の連成解析など多くの分野に適応できる柔軟性を持つ

（2）現実に近い精密かつ大規模な数値モデルを高速に安定して解ける

（3）強度の非線形性を持つ大変形解析に適用しやすい

（4）鉛直地震動による鋼構造の座屈破壊など、衝撃に対する高速変形に対応

といった特徴を持っている。特に1995年の阪神大震災以降、（4）の特徴から、建築・土木分野でも広く利用されるようになってきた。

陽解法有限要素法ソフトウェア

有限要素法（Finite Element Method）は、構造解析の手法としてはもっとも一般的な手法である。解析対象となる物体を三角形や四角形あるいは六面体など、計算が簡単な形状の小さな「要素」に分割し、それぞれの要素に加わった力と変形の関係を計算することにより全体の挙動を表現する。分割をどのように行うかによって対象物の要素数は変化するが、その数は有限個である。有限要素法の名前の由来はここからきている。

筆者らは、構造解析に陽解法有限要素法構造解析ソフトウェアLS−DYNAを用いることが多い。このソフトウェアは動的な非線形現象のシミュレーションを目的として開発されたソフトウェアであり、自動車設計分野における衝突乗員安全解析（図1）やボディ鋼板のプレス成形をはじめ、機械設計分野では携帯電話の落下衝撃解析（図2）などに、その他船舶、航空宇宙、電気製品、建築・土木、エネルギーや医療、防衛など幅広い分野で利用されている。建築・土木分野においても建築構造物の耐震や鉛直地震動に対する衝撃破壊解析をはじめ、地盤と基礎の耐力、地面の液状化、橋梁の風による振動や流体との連成解析など、その適用範囲は広い。

陽解法の基本的なアルゴリズムは以下の通りである。

一般的な静的構造解析では構造物の全体の剛性マトリックスを$[K]$、構造物に作用する外力を$[P]$、変形量を$[u]$とするとき、構造物の変形と外力との関係は$[K][u]=[P]$で表現されるため、構造物の変形$[u]$を求めるためには大規模なマトリックス演算が必要になる。

これに対し、陽解法では解くべき運動方程式は、

$$M\ddot{u}^n+Ku^n=P^n$$

であり、これを変形することによって、

$$m_i\ddot{u}_i^n=P_i^n-F_i^n$$

を得る。ここで添字iはi番目の自由度を示す。節点にかかる荷重を節点質量で除することにより、各節点に対して自由度ごとの加速

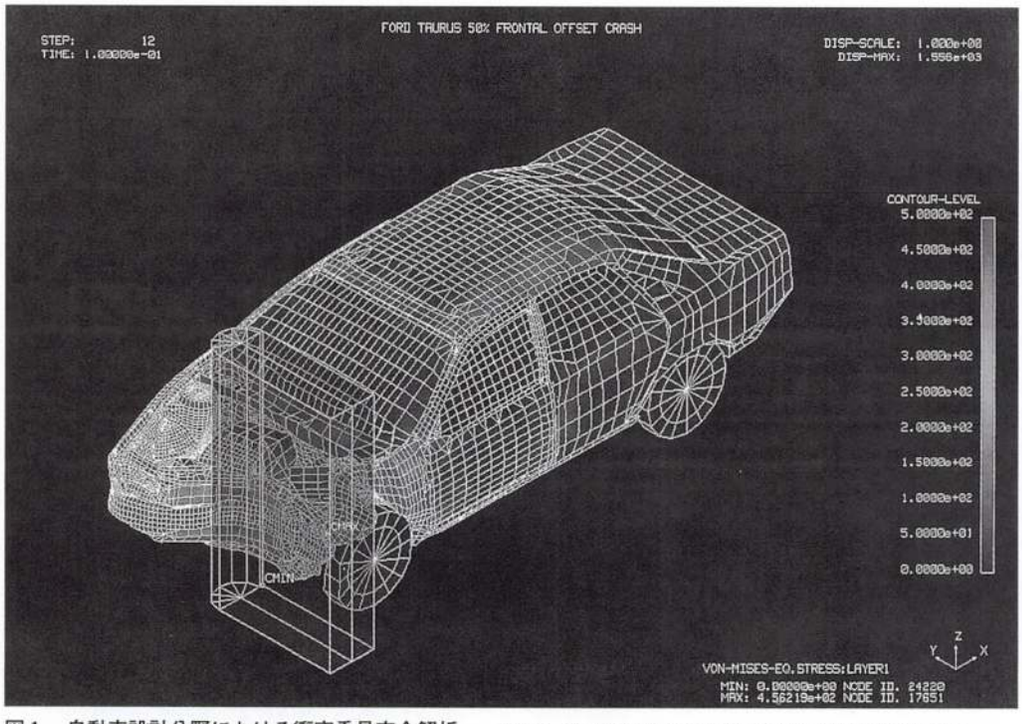


図1　自動車設計分野における衝突乗員安全解析　車両データ:FHWA/NHTSA National Crash Analysis Center(米) http://www.ncac.gwu.edu

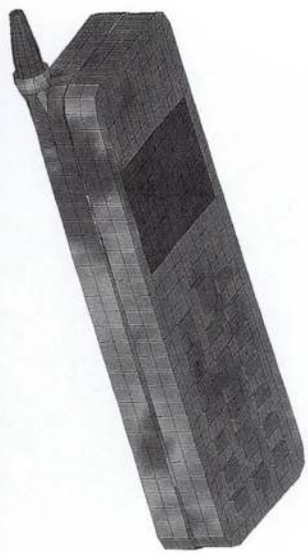


図2　携帯電話の落下衝撃解析

度が求められる。この加速度を積分することによって速度、及び変位［u］が求められ、最終的にnステップにおける系全体の変形及び応力分布が求められる。つまり大規模なマトリックス演算を行うことなく連立一次方程式を解くことができるわけである。

よって、

（1）少ないメモリやディスク容量のコンピュータを用いて大規模な数値モデルを解くことが可能

（2）系の釣り合いを求めるための収束計算を必要としないため、強度の非線形問題や大変形問題への適用が容易

などのメリットがある。

数値モデルを精密・複雑なものにすればするほど、陰解法では解析が困難になってゆくが、陽解法では比較的安定して解を求めることができるため、限りなく現実に近い数値モデル化が可能になる。また、鉛直地震動による衝撃破壊解析など通常の解析手法では不可能な問題も解くことが可能であり、この分野において陽解法を用いた解析ソフトの需要はますます高まりつつある。建築・土木分野において利用されるようになったのには、このような背景がある。

建築構造設計への適用（図3）

建築構造設計においては、例えば原子力関連施設のような分野では陽解法解析の適用例が以前から存在した。しかし、接したことのあるエンジニアにとっては、「手のかかる、癖の強い解析手法」という印象が強かったようである。一般の構造設計においてその利用価値が現実的になってきたのは、前述した阪神大震災以降の要求性能の高度化と、コンピュータの高速化・低価格化との相乗作用といえる。

前節で説明した陽解法解析の特徴は、より簡単に「単純な解析ステップを大量に行う」と言いかえることができる。したがってここ数年のCPU速度の向上は、そのまま陽解法による演算時間の急激な短縮をもたらし、一気に現実的なシミュレーションツールへと変貌させたのである。また、モデルの作成、解析後の検証に必要なGUI環境、いわゆるプリ・ポストプロセッサーの改善も設計現場にとっては欠かせない要素であった。

陽解法の長所を最大限に発揮するモデリング手法とは、「なるべく単純な要素を数多く使い、精密なモデルを構築する」ことである。結果的に、設計者の目からは下記のような観察ができる。

［長所］

- 設計情報の工学的「読み替え」をせずに、現実に近いモデリングができる。（極論すれば、設計図どおりにモデル化すれば良い）
- 各要素の特性は、比較的単純なパラメーターで定義できる。
- モデルの精密さを増していった際に、解析が不安定性になりにくく、現実的な演算時間にだけ配慮していれば良い。

［短所］

- 「現実に存在しない物体」はモデル化しにくい。たとえば、質量を持たずに剛性だけを考慮する要素は定義できない。
- その結果、「特殊な要素によって単純化したモデル」は得意ではない。構造設計者にとって日常的な「串団子」モデルをそのまま再現しようとすると、かえって手間がかかる。

必然的に、その長所を生かそうとすると精密・大規模なモデルになっていく傾向があり、設計の現場で用いるにはプリ・ポストプロセッサーの能力が生命線と言える。とりわけ、構造設計上必要な性能指標を迅速に抽出するポストプロセッサー能力がなにより重要であり、この点はまだまだ改善の余地があると感じている。そのような現状を差し引いても、実際の設計を忠実にモデル化し、実現象により近いシミュレーションを可能とするこの技術は、建築分野でのCAE（Computer Aided Engineering）ツールとして今後が期待できる。

（ささき　ひとし／さるわたり　ともはる）

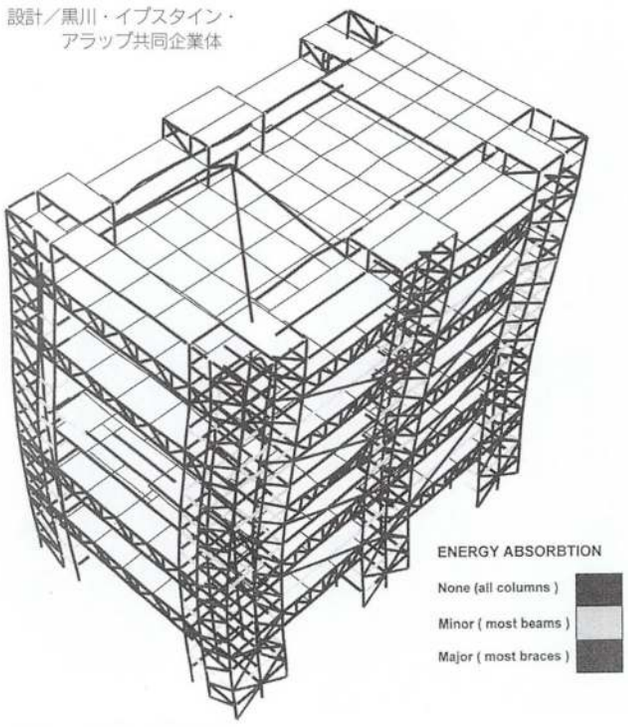


図3　大阪国際会議場（グランキューブ大阪）の構造解析モデル



陽解法解析を導入した大阪国際会議場

共同住宅用

スプリンクラー設備の合成樹脂管システム

奥田貢二
㈱竹中工務店設計部設備グループ

日本において、建物火災による死者のうち住宅（一般住宅、共同住宅及び併設住宅）火災による死者は約9割をしめている。

火災から人命を守るため、火災の早期感知および初期消火に関する消防設備として自動火災報知設備、スプリンクラー設備については、必要となる規模に達している共同住宅等について原則として設置するように、消防法の改正があった（平成7、8年）。また、消火配管は鋼管または同等の強度、耐食性および耐熱性を備えたもので、合成樹脂管等が認められる場合は地中埋設管等に限られていた。

しかしながら、合成樹脂管は軽量で施工及び加工が容易であり、耐食性にも優れていることから、配管の設置環境が整えば使用しても良いとの通知が消防庁より出された（消防予第33号平成8年2月29日）。

このような状況から、共同住宅用スプリンクラー設備配管の合成樹脂管システムを開発した。実施した建物は、大阪と和歌山を結ぶJR阪和線の堺市駅駅前の西側、ベルマージュ堺・壱番館である。住宅・都市整備公団（現、都市基盤整備公団）関西支社による第1種市街地再開発として開発、整備された複合ビルの分譲住宅部分である。



ベルマージュ堺・壱番館

建築主	住宅・都市整備公団関西支社	構造	RC造(一部SRC造)
設計者	㈱竹中工務店他共同企業体	階数	地上43階・地下2階
施工者	㈱竹中工務店他共同企業体	延べ面積	46,079.3㎡
用途	共同住宅(339戸) (消防法) 16項(イ)複合用途防火対象物	最高高さ	138.58m
		工期	1996年4月～1999年3月

消火配管に不燃材以外の材料を使用するのには、㈶日本消防設備安全センターで評定を受ける必要がある。今回開発のシステムは、申請建物に限って認められる「消防防災システム評価」を受け実施したもので、対応の概要を紹介する。

共同住宅用スプリンクラー設備

共同住宅にスプリンクラー設備を設ける場合は一般的に構造、利用形態等の特性を考慮し、共同住宅用スプリンクラー設備を設置する。

実施の建物は消防法令上、16項（イ）の複合用途ではあるが、構造要件、二方向避難の確保にて共同住宅用としている。

その特徴として、次のことが挙げられる。

(1)スプリンクラー設備の制御弁と自動警報装置を住戸ごとに設け、作動時および制御弁のいたずら等による閉止時に管理人室と住戸に警報および表示を行う。

(2)スプリンクラーヘッドは原則として住戸の居室にのみ設置し、小区画型で放水量は50ℓ/分以上（放水圧力98kPa）で、水平距離2.6m以下で包含できるように設置する。ちなみに、一般型は放水量80ℓ/分以上である。

合成樹脂管システム

本システムは、共同住宅用スプリンクラー設備の上階に設けた消火水槽から各住戸のヘッドに至る、配管のすべてを合成樹脂管（ポリブテン管）とした画期的なものである。

■システムの概要

建物の4階から43階までの住宅を4系統に分け、消火水槽を23階、36階、塔屋1階に設置、32階から43階のみポンプ加圧とし、他は重力給水とした。

消火水槽は防火区画された専用室に設け、FRP製としている。

図1に概略系統を示す。

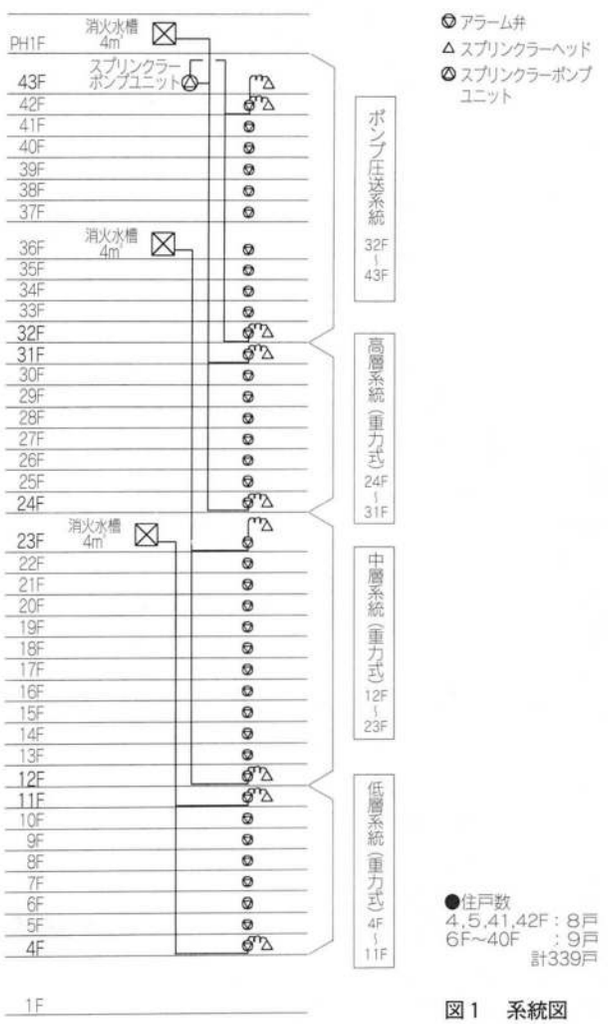


図1　系統図

■開発のねらい

共同住宅では住戸内の給水・給湯配管に、合成樹脂管を利用したヘッダー方式を一般的に採用している。そのヘッダーユニット配管方式を、消火配管に水平展開し、かつ共用配管にまで使用部分を拡大した。

⑴配管の接合は、継ぎ手が配管と一体になる融着工法とし、品質管理の行き届いた工場でのプレハブユニット化にて、高品質を確保する。

住戸内のヘッダー配管以降はすべてユニット化し、共用の立ち下げ主管および横引き主管は搬入可能な寸法までユニット化する。現地での接合もすべて融着とし、品質の高い電気融着とする。

⑵住戸内配管ユニットは、直径1m程度に巻いて搬入し、現地ではコンクリート躯体に支持、固定するのみとし、大幅な作業工数の低減ができる。

⑶入居後のスプリンクラーヘッドの損傷散水時に、鋼管内の赤水による内装材への影響を、すべての配管を樹脂管とすることにより軽減する。

⑷配管材料に柔軟性があるため、耐震性にも優れる。

■評価のポイント

合成樹脂管を使用するためには、強度、耐食性、耐熱性に加え、使用する部位、施工方法等について総合的な評価が必要である。

⑴合成樹脂管の設置環境

・消火水槽から各住戸に至る立管は不燃区画されたスペースに設置し、他の給水管、ガス管、電気ケーブルも設置している。

・住戸用パイプスペースは給湯用熱交換器を設置しているが、水—水熱交換器で、燃焼装置は有しない。

・住戸用パイプスペース内の合成樹脂管は、熱の影響を考慮し、屋外開放廊下に面する開口部の鉄扉から500㎜以上離して設置する。

・屋外開放廊下等の共用部からの火災に対しては、屋内消火栓を設置し対応する。

・屋外開放廊下に設置する配管は、不燃下地材に不燃材で仕上げた天井内に設置し、一部露出配管については厚さ50㎜のロックウールで被覆・断熱した上に、鉄板（厚さ0.3㎜）で保護する。

・住戸内配管は、不燃下地材に石膏ボード（厚さ9.5㎜）の準不燃材で仕上げた天井内とし、すべての配管路をスプリンクラーヘッドが警戒する部分とする。

⑵区画貫通処理

防火区画、共住区画の貫通について、消火の用途から耐火キットで閉塞させるわけにいかないため、次の対応を行った。

・住戸用パイプスペースにおける上下階の防火処理については、鉄実管スリーブで上部の1mのみを保護し、合成樹脂管回りはロックウール50㎜で断熱の上、端部は耐火パテ充填とする。

・住戸用パイプスペースから住戸への共住区画貫通部は、鉄実管スリーブを区画の壁に固定し、区画貫通部から前後1mをロックウール50㎜で被覆、断熱し、鉄網で保護する。

・本来は居室にのみ設置のスプリンクラーヘッドを、区画貫通部の住戸側廊下、洗面所等にも設置する。なおパイプスペース側は、自動火災報知設備の感知器を設置し、警戒する。

以上のことから、この合成樹脂管システムにおける配管路については、防火区画の構成、貫通部の措置、耐熱性を考慮した配管被覆等の施工及び消防用設備の設置などから、消防法令に規定する鋼管が設置される場合と同等の安全性を有すると評価され、実施に至った（評防—130号平成9年7月2日）。

今後の課題

紹介の内容は計画時点からは4年近く経っており、不燃材の天井内での合成樹脂管の使用は、かなり実施されてきている。共同住宅用スプリンクラー設備の住戸内配管としての使用は、準不燃天井でも消防設備安全センターの性能評定を取得している製品もあり、徐々に広がっている。

（性能評定：メーカーが製品として取得し、所轄消防署が消防法施行令第32条を適用し、認めると使用が可能になる）

すべてのスプリンクラー配管を合成樹脂管とする本システムは、新素材を有効に導入した先駆性及び、配管の強度、耐熱性に関する施工方法に創意工夫をしたものとして平成11年優良消防防災システム消防庁長官賞を受賞した。

しかしながら区画貫通部の処理に時間と費用がかかり、住戸用パイプスペースの環境が整わないため、その後実施していないが、今後改良を加え普及させたいと考えている（図2）。

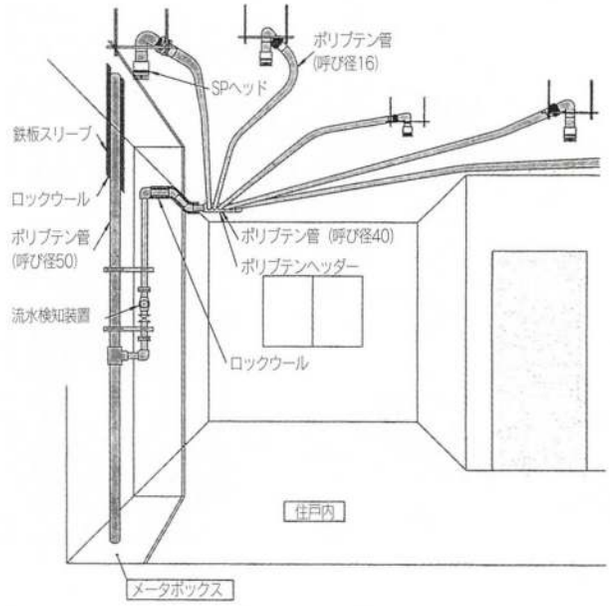


図2　イメージ図

（おくだ　こうじ）

無機系セラミックスコート剤

大森正巳
㈱クリエイティブライフ代表取締役

スーパーガードセラミックスとは

スーパーガードセラミックスは無機結合剤を使用した、常温硬化型コーティング剤である。セラミックスは物性が安定しているので、紫外線による影響が少なく、超耐候性、高硬度、不燃性、耐熱性、耐自然汚染性に優れた接着強度の高い塗膜を形成する。

スーパーガードセラミックスは基材の保護をするとともに、コンクリート・窯業材・石材・金属・木材等にコーティングすると、多機能を持った無機質の膜を形成する。また、材料が本来持っている特性に対し、新たな目的に応じた機能性を付加（抗菌・防カビ・脱臭等）する事で、多種多様な化粧膜を作ることが出来る。

スーパーガードセラミックスの塗膜を形成する主成分はケイ素（Si）を始めとする天然素材を使用し、有害物質は一切使用していない。また、コーティング後（塗膜が形成された状態）は燃えることは無く、将来にわたって環境を汚すことは無い、まさに今求められている「人にも環境にも安全」な機能性コーティング剤である。

スーパーガードセラミックスの主な機能

超耐候性

無機質系で物性が安定しているので、紫外線の影響による塗膜の劣化が全く無く、スーパーUVによる1,000時間照射（サンシャインウェザーメーター10,000時間相当）でも退色・変色しない。

非透水性・透湿性

非透水性・透湿性の高密度の膜で乾燥性に優れ、コンクリート・窯業材・木材などに使用した時に内部結露防止が出来、基材の保護に優れている。

耐自然汚染性（親水膜）

セラミックス膜は塗膜自体が静電防止性になっているので、埃・ゴミの付着も少なく、また、親水性効果があるので雨が降ると均一な水膜が出来、汚れを浮かして自然に流れ落ち雨筋汚れなども残らない。

耐自然汚染性（撥水膜）

セラミックス膜は膜自体が静電防止性になっているので、埃・ゴミの付着も少なく、また、撥水効果があるので汚れが付いても簡単に拭き取ることが出来る。

空気浄化性（光触媒）

セラミックスコート剤に組み込まれているアナターゼ型活性酸化チタンにより高性能の光触媒機能性膜が出来、紫外線を受けると塗膜表面で酸化還元反応が起き活性酸素が生じ、この塗膜に接触するNoxやSoxそしてハイドロカーボン（未燃焼ガソリン）などを捕えて安全な化合物に変え、その後分解する。

防錆性

セラミックス膜は非透水性・吸収性（親水性で乾燥がよい）の膜を作り、電位差による局部電池が出来ないため防錆効果も高い。

抗菌・防カビ性

セラミックスに担持されている銀が空気中の湿気分（OH）と反応して極微量イオン化し、このイオンが好気性菌（酸素を必要とする菌類。殆どの病原菌やカビ類）の細菌細胞の育成を抑制または死滅させる。ただし、酸化に対し抵抗力の強い嫌気性菌（ビフィズス菌・乳酸菌・酵母菌などの醗酵菌が主）等については酸化されない。

脱臭性

セラミックスに担持されている銀または銅が空気中の湿気分（OH）と反応して極微量イオン化し、酸素と結びついてラジカルを作り塗膜に接触する臭気成分（アンモニア・硫化水素・酢酸・メチルカプタン・トリメタルアミンなど）を捕え直ちに安全な化合物にして臭気を消滅させる。

調湿性（結露防止）・熱放射性

建物内面（天井・壁等）にコーティングすると大表面積の親水性の塗膜が出来、耐水性・耐湿性・熱放射性に優れ、また、乾燥性が良く結露の発生を防止することが出来る。

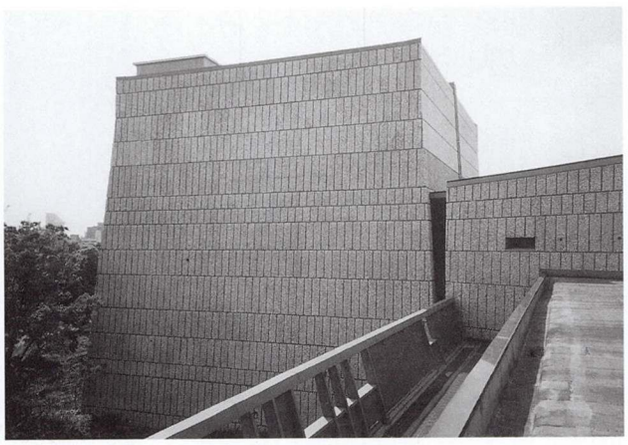
防滑性

大理石や御影石は元素が一定方向を示す規則正しい配列で作られており、規則正しい結晶体は横方向へのエネルギーの抑制力が弱い為、滑り易くなる。ノンスリップ液剤でミクロの穴をランダムに作ることで滑りにくくなる。

（おおもり　まさみ）



施工例　東京スタジアムB工区
RC打放し部分　耐自然汚染性・防カビ性コーティング



施工例　東京文化会館
大理石貼付けPC板面　耐自然汚染性コーティング

書評

「企画」って何だろう

齋藤　博



建築企画事典

日本建築学会編

彰国社
2000年11月10日刊
A5判　265頁　本体3,000円

日常の業務や企業の中で比較的よく耳にする言葉のうち、その意味が最も曖昧なもののひとつが「企画」という述語であろう。私も企業の中で「企画」という語を含んだ部署で仕事をしている。

経営企画、事業企画、開発企画、商品企画などと四字熟語にしてみても、分野は分かるものの「企画」そのものを十分に説明できる言葉にはならない。

建築企画としてみた場合も同様であり、発した人、聞いた人、書いた人、読んだ人皆各々にイメージが異なるのではないだろうか。使い方によって目的系であったり、あるいはプロセス系であったりするからかも知れない。本書は、「企画とは何か」から始められている。

建築物は、事業活動の器であったり、そのもの自体が目的であったりする。故に建築企画は、建築物そのものの企画（いわゆる設計プロセスの中の企画段階）であったり、器として利用する事業活動からの条件付けを含んだ、あるいは相互関係を含んだ企画であったりするはずである。多種多様にわたる事業活動の器としての「建物の企画はいかにあるべきか」というテーマでは、あまりに多岐に過ぎて体系的な記述は困難であろうし、研究領域として成立しずらい。

本書の定義は、いきおい「建築物の企画とは」にウェイトが置かれている。

「企画」という言葉の意味する範囲の広さや建築行為の中での「企画」段階での検討内容の多さを考えると、建物用途別に分冊せねばならない内容かも知れない。その意味では、「企画」とは何かを最大公約数として定義されていると理解し、読者の立場によって種々の味付けをしていただくことを期待することになる。

さて、本書の基本的構造は、78項目の見出し語（キーワード）と、9例の国内を中心とする事例によって構成されている。また78項目は15のカテゴリーに大別されている。更に、各キーワードは、見開き2ページにまとめられており、参照のしやすい形に配慮されている。一方で、その誌面構成の制約を受けて記述として若干物足りなさを感じる項目もなくもない。事典という性格上、あるいは、実務等で参照する場合のチェックリストとして、または検討の入口としては十分な機能であろう。

次にキーワードの選定であるが、事典となれば基本的な項目を押えた上に、新しい概念や事柄も盛り込まねばならず、また従来からの概念であっても新たな関連性も加味したくなり、ややもすると項目数を誇りにする様な体裁となりがちであるが、思い切った絞り込みをされたワーキングのメンバーや小委員会委員の皆さんの議論や御苦労を彷彿とさせる内容となっている。その意味でも非常に興味深いキーワードの選定になっている。

絞り込まれているとは言え、最近特に議論の的となっていて日本建築学会の建築憲章の主項目でもある、省資源・省エネあるいは、長寿命化への対応等の地球環境保護の視点や不動産証券化等のノンアセットビジネスの動き等も含まれ、欲張った内容になっているとも言える。更に「今後より良い建築企画事例の出現とともに強化、更新されることを期待する」と「構成と使用方法」で結ばれていて、続編がイメージされている様にも見える。是非期待したい。

解説本文中には太字で関連性のあるキーワードが示され、かつ本書に含まれるものには参照ページが示されている。検索が容易であるばかりではなく、相互の関連性を強め、より幅広く理解を進めるためにも便利である。

各項には関連する図表が示されている。例えば、事業性の検討や各部位の仕様を決定する場合に重要であるにも関わらず、資料の少ないLCCの項には、建物の短命化が指摘されている現状で、構造別あるいは用途別に平均寿命を現すデータとか、LCCの初期費用に対する比率や主要部位の修繕周期、改修のタイミング、資本的支出と修繕費の構成事例等を追加していただければありがたい。参考文献は示されているので検索は可能ではあるが、話題性のある事項やポイントになる項目については、あえて見開き構成に拘わらず、充実しても良かったかも知れない。

最後に価格3,000円は、個人として購入するには上限に近い。特にこれから建築企画とは何か、どの様なプロセスで進めて行けば良いかを学んで行こうとする学生や若い技術者には高価かも知れない。しかし、是非共揃えておきたい事典である。

（さいとう　ひろし／エヌ・ティ・ティ都市開発㈱
経営企画部部長）

BOOK STATION
ブックステーション

免震の真実
耐震神話の再構築へ
多田英之 著

毎日新聞社
1999. 9 .15刊
四六判　181頁　本体1,500円



本書は、免震という新しい技術の軌跡や問題点を歯に衣着せぬ言葉で示し、その結果として技術とは何か、技術者はどうあるべきかという、大きなテーマに挑んだ著作である。技術者として、何がわかっていて、何がわからないのかを明らかにすることは、自己の技術活動の基底を成す部分であるが、私たちはそのことを理解しているようで十分に理解できていない。特に、自己の経験を踏まえて語る筆者の言葉、「今の耐震解析の問題は、解析の過程にさまざまな“みなし”を持ち込んでいることにある。…しかし、その“みなし”は耐震設計において正しい“みなし”なのか、誤った“みなし”なのか、それを検証する必要がある。」には、迫力と説得力が感じられる。
解析技術の進歩が、建築技術の最先端を進んでいるように感じられる現在、本当の技術とは何かを示してくれるのではないだろうか。
(M.O)

ABC：国際構成主義の建築 1922-1939
シーマ・イングバーマン 著
宮島照久＋大島哲蔵 訳

大龍堂書店
2000.12.25刊
A 5 判　156頁　本体2,800円



歴史が常に強者のものであるとするならば、左翼ユートピアンの足跡が脈略を断たれた断片と化すのも無理のないことかもしれない。例えば、マルト・スタムの名はヨーロッパ近代建築史の様々な場面で散見されるが、その存在自体がどうもうまく像を結ばない、これまではそんな印象だった。しかし強者列伝が失効した現代における様々なモダニズム再考の動きの中、いよいよ彼らにも探究の目が向けられる。ABCとはロシア構成主義のリーダー、エル・リシツキーがスイスの急進派建築家達を巻込んで始まったグループとその雑誌の名称。オランダのマルト・スタムが加わることでその勢いを増し、一時はCIAMのイニシアティブを握るまでに至ったが、その目論見は中途挫折を余儀なくされる。本書では彼らの思考と活動の軌跡を地道に追跡しており、そのヨーロッパ近代に与えた影響の強さ、モダニズムという実験における一つの重要な実践を浮き彫りにしていて大変興味深い。歴史の強軸に依らないこのような探究の成果こそ、今後ますます紹介されるべきだろう。
(S.T)

帝国ホテル・ライト館の謎
－天才建築家と日本人たち－
山口由美 著

集英社新書
2000. 9 .19刊
新書判　205頁　本体660円



「巨匠をめぐる運命の数奇とは？」と記された帯、そしてタイトル。カドカワミステリー？と思う方もおられるのでは。落成披露宴当日に関東大震災に襲われるという運命を背負った帝国ホテルライト館。夢の実現の瞬間と大地震。数奇な運命に翻弄されたライト館とそれを取り巻く意外な事実。そして彼のスキャンダラスな人生。ジャンル分けすれば、本書はおそらく伝記の部類だろう。しかし、ライト館を通して見たフランク・ロイド・ライトという人は、何とミステリーよりミステリアスなのだろうか。21世紀になっても、未だ人々の興味を惹きつけてならないだろう。
(Y.O)

大地に建つ
二〇〇年後の建築家と子どもたちへ
池田武邦 著

ビオシティ
1998.12.15刊
四六判　336頁　本体2,300円



私がちょうど大学院を卒業し、就職した1974年に東京に「新宿三井ビル」という、すぐれた日本の超高層ビルが完成したのを鮮明に覚えている。その設計者である著者は、また㈱日本設計の設立者として新しい組織設計のあり方の提案者としても注目を浴びていた。
この本は、著者がその当時から現在に致るまでに発表した文章をまとめたものであり、彼の考え方の推移と根底に流れる思想がよくわかる。長崎県に建設されたハウステンボスは、オランダの治水技術を本格的に取り入れたプロジェクトである。著者が提案する21世紀の技術のあり方（自然との共存）を示唆している。まだ現在彼が携わっている「瀬戸内海の鞆の計画」「秋田県の山村鵜養の計画」は、自然の一部としてもう一度人間を見直すことからはじめようという提案である。
(A.T)

担当：会員企画小委員会／大谷由紀子・髙岡伸一・塚口明洋
構造分科会／大氏正嗣

ATC関西学生卒業作品展Vol.6

企画段階から学生が参加し、意見交換をしながら創り上げていく本展は、今回から学生が考案した「創展ーTSUKUTTENー」という愛称を冠して開催されることになった。さらに「ATC関西学生卒業作品展2001賞」が創設され、出展作品の中から優れた作品を顕彰する。

■「創展ーTSUKUTTENー」

会　期　2001年3月16日(金)～21日(水)
　　10：00～18：00

会　場　ATC・ITM棟12階特設会場
　　大阪市住之江区南港北2-1-10

参加校　大阪大学、大阪市立大学、大阪工業大学、大阪産業大学、近畿大学、大阪芸術大学、神戸芸術工科大学、奈良女子大学、和歌山大学、三重大学、大阪工業大学短大、大阪芸術大学短大、嵯峨美術短大、夙川学院短大、神戸松蔭女子学院短大、平安女学院短大、兵庫科学技術専門学校、芦屋芸術情報専門学校、大阪総合デザイン専門学校、京都国際建築技術専門学校、中央実務専門学校　(予定)

■ATC関西学生卒業作品展2001賞

日　時　2001年3月16日(金)
　　13：30～15：00　公開講評会
　　16：00～17：30　最終審査

審査員　池上　俊郎氏（京都市立芸術大学教授）
　　森田　恭通氏（インテリアデザイナー）
　　佐々木葉二氏（ランドスケープアーキテクト）
　　新井　清一氏（京都精華大学美術学部教授）
　　井上　斌策氏（インダストリアルデザイナー）
　　山田　崇雄氏（アートディレクター）

■記念講演会・3題（入場無料）

会　場　ATC・ITM棟9階セミナールーム
定　員　200名（先着順・予約不要・一般の参加も可）

①西沢立衛氏（建築家）
日　時　2001年3月16日(金)　16：00～17：30

②二川幸夫氏（写真家・出版人・編集者）
日　時　2001年3月17日(土)　15：00～17：00

③隈　研吾氏（建築家）
日　時　2001年3月19日(月)　15：00～17：00

資生堂ギャラリー再オープン

新ビル建設のため休廊していた資生堂ギャラリーが、東京銀座資生堂ビルの地下1階にリニューアルオープンし、3月1日からオープン記念展「ex-」を開催。世界的に活躍するアーティスト、kcho(カチョー)(1970年キューバ生まれ)とヤノベケンジ(1965年大阪生まれ)が新作インスタレーションを発表する。入場無料。

会　期　2001年3月1日(木)～4月15日(日)ー火曜休廊ー
　　11：00～19：00　日・祝祭日は18：00まで

会　場　資生堂ギャラリー　TEL 03-3572-3901
　　東京都中央区銀座8-8-3

林丈二的考現学ー屁と富士山ー

林さんは1947年東京都練馬区に生まれ、武蔵野美術大学を卒業。サンリオ社でスヌーピーのキャラクター・デザインを担当していたが、1977年サンリオを退社し、フリーとなる。1986年、路上観察学会へ発起人の一人として参加し、赤瀬川原平、藤森照信、南伸坊さんたちとの交遊の中で、数多くの著書を出版してきた。

1984年『マンホールのふた』の出版で、モノやコトには「何でもない」という状態はないのだということ、それらの存在のすごさを世に問い登場した林さんは、子供のころからひっそりと関心の赴くままにモノやコトを観察・採集してきた。……アイスキャンデーの当たり棒、諸国の放屁音のメモ、最小の富士探し、狛犬の後ろ姿、靴底に詰まった石など。

INAXギャラリー大阪で、それらの品々が展示され、会期中の4月20日（金）18：30～20：00には、同所8階会議室で、3日間で大阪の橋を100カ所回った記録や道中に発見したものなど、林流の路上観察記録「林丈二的　大阪の歩き方」の講演会が開催される（申込要）。

会期　2001年3月5日(月)～5月19日(土)
　　10：00～18：00　毎週水曜日休館

会場　INAX大阪ショールーム2階（入場無料）
　　大阪市西区新町1-7-1　TEL 06-6539-3518



切符のパンチ屑(切られた穴の方)　撮影：普後　均

西日本トータルリビングショー

西日本地域における住宅産業の振興発展と住文化の向上を目的に、昭和56年より開催を重ねてきた住宅産業見本市「西日本トータルリビングショー」の20回目は、「新世紀・新生活・新空間」をテーマに開催される。

会　期　2001年3月15日(木)～18日(日)
　　10：00～17：00

会　場　西日本総合展示場・本館
　　北九州市小倉北区浅野3-7-1

入場料　200円

主　催　㈶西日本産業貿易見本市協会

展　示　今回初出展――TSシステム型枠・RC－T's構造／装飾突板合わせガラス／高耐震木骨構造―SE構法―／特殊屋根材／恒久型消臭塗壁材料／ドライビーム／コルクフロアほか

「間取り」展

リビングデザインセンターOZONEは、1996年よりシリーズ企画展「日本人とすまい」を「くつぬぎ」「畳」「しきり」「柱」「あかり」をテーマに開催してきたが、今回は「間取り」をテーマに取り上げた。

間取りの起源、現在の間取りへの経緯をたどり、その時代ごとに都市に出現した間取りに対する提案を見つめ直すことから、現在のすまい、これからの日本人とすまいのあり方を考える。

会　期　2001年3月10日(土)～4月8日(日)
　　10：30～18：30　水曜日休館

会　場　パークタワーホール（新宿パークタワー3階）
　　JR新宿駅南口から徒歩約12分

入場料　一般500円、学生以下無料

■展示内容

①明治時代～現代へ至る15の間取りを、模型、資料、写真、映像で展示――文化住宅、同潤会アパート、土浦亀城邸ほかインターナショナル住宅、ディペンデントハウス、公団住宅・2DK、狭小住宅・塔の家など

②8人の建築家（井上揺子、白川直行、手塚貴晴＋手塚由比、中村好文、難波和彦、F.O.B.A、谷内田章夫、渡辺真理＋木下庸子）が提案する21世紀の間取り

③明治～昭和の間取り年表

④私が育った間取り――朝倉摂（舞台美術家）、こぐれひでこ（イラストレーター）、島田雅彦（小説家）、田中優子（国文学者）の各氏が語る間取り考

■トークセッション

日　時　2001年3月27日(火)　18：30～20：30
会　場　リビングデザインセンターOZONE
定　員　60名（申込先着順）
参加費　無料
出演者　柏木　博氏（デザイン評論家）
　　大竹　誠氏（東京造形大学教授）

申込み　氏名、郵便番号、住所、電話番号を明記し、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで㈱リビングデザインセンター間取りトーク係へ。
　　〒163-1062　新宿パークタワー内私書箱8125
　　FAX：03-5322-6501
　　メール：planning@ozone.co.jp



同潤会アパート復元（国立歴史民俗博物館）　撮影：瀬戸正人

日本建築協会

月間の動き

【平成13年 1 月分】

理事会

第５回会勢理事会
24日　３時～４時15分・於本会会議室
出席者　荒巻副会長ほか３名
　　オブザーバー／市川会長
議　事（1）平成12年12月入退会申し出状況
　　（2）平成13年度活動方針について

編集委員会

第10回編集委員会
10日　６時～９時40分・於本会会議室
出席者　宮田委員長ほか11名
議　事（1）２月号「21世紀の建築設計教育」特集・「九州作品」経過報告
　　（2）３月号「東海支部」特集経過報告
　　（3）４月号「IT社会におけるきずな」特集経過報告
　　（4）５月号「天然素材・自然素材」特集経過報告
　　（5）作品作風小委員会、会員企画小委員会関係報告
　　（6）１月号～12月号表紙の作品テーマ
　　（7）読者と選ぶ第１回「建築と社会賞」第１次選考
　　（8）収支状況報告
第10回広告企画小委員会
10日　５時～６時・於本会会議室
出席者　宮田委員長ほか７名
議　事（1）２月号「21世紀の建築設計教育」特集・「九州作品」広告経過報告
　　（2）３月号「東海支部」「岐阜・大垣ー地方におけるIT産業振興の狙いと試み」特集広告経過報告
　　（3）作品作風関係報告
　　（4）独自特集企画
　　（5）平成13年度収支計画案検討
　　（6）収支状況報告
第10回設備分科会
９日　６時～８時15分・於本会会議室
出席者　近藤幹事ほか５名
議　事（1）「設備の頁」の企画
　　（2）新シリーズの企画
　　（3）８月号設備特集のテーマ
第５回計画分科会ー計画系ー
11日　６時30分～９時・於本会会議室
出席者　鈴木幹事ほか５名
議　事　４月号「ＩＴ社会におけるきずな」特集の企画
第９回構造分科会
12日　６時～７時30分・於本会会議室
出席者　岩永委員ほか３名
議　事（1）「構造の頁」の企画
　　（2）10月号構造特集について
第９回法令分科会
16日　２時～４時・於本会会議室
出席者　椎名幹事ほか４名
議　事（1）「法令コーナー」の企画
　　（2）６月号法令特集の企画
第３回計画分科会ーインテリア・住宅系ー
22日　７時～９時30分・於本会会議室
出席者　西田委員ほか４名
議　事　特集テーマ案について
第８回施工材料分科会
25日　５時～６時30分・於本会会議室
出席者　植田幹事ほか４名
議　事　特集「天然素材・自然素材」（仮称）について
第９回作品作風小委員会
25日　７時～８時30分・於本会会議室
出席者　赤木副委員長ほか４名
議　事（1）作品の選定について
　　（2）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
　　（3）「gallery」掲載報告・予定
　　（4）「Sketch Book」の掲載予定
第５回計画分科会ー建築計画系ー
31日　７時～８時30分・於本会会議室
出席者　笹村幹事ほか５名
議　事　特集のテーマ案について

事業委員会

第６回事業委員会
17日　５時～６時30分・於本会会議室
出席者　多井委員長ほか８名
議　事（1）各小委員会からの報告と検討
　　（2）平成13年度の事業計画について
第７回若い会員の集い小委員会
９日　７時～８時40分・於本会会議室
出席者　杉本副委員長ほか５名
議　事（1）今後の企画について報告と検討
　　（2）「30's EYE」出版について
第６回情報小委員会
10日　６時～８時10分・於本会会議室
出席者　川村副委員長ほか10名
議　事　実施報告と今後の予定について
第６回見学会小委員会
11日　６時～８時10分・於本会会議室
出席者　福島副委員長ほか６名
議　事　実施報告と今後の予定について

出版委員会

第９回出版委員会
18日　５時30分～７時・於本会会議室
出席者　山田委員長ほか７名
議　事（1）〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
　　（2）今後のテーマと執筆者選定
　　（3）第24回〈プロのノウハウ〉講座の企画

教育委員会

第３回工高生教育小委員会
26日　６時～８時・於本会会議室
出席者　植松幹事ほか６名
議　事　（1）次年度第47回工高生デザインコンクール募集規定原案の検討
　　（2）今後の作業予定

建築クラブ

新年宴会
９日　18時～19時30分・参加者38名

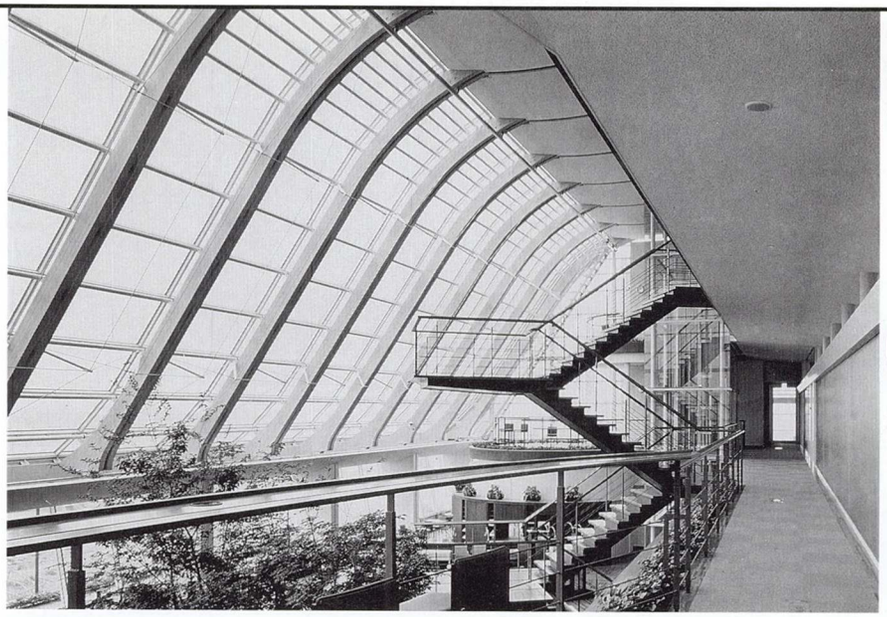
入会者（敬称略）

［個人会員１名］
杉本　隆行（花豊造園㈱）
［団体会員５校］
香川県立高松工芸高等学校
山口県鴻城高等学校
沖縄県立沖縄工業高等学校
岡山科学技術専門学校
佐賀工業専門学校

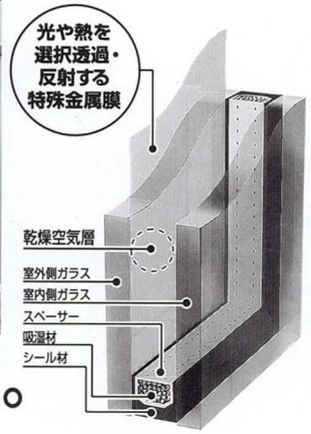
◀会員の訃報
大澤　博氏（大幸建設㈱）　平成13年１月13日逝去
谷弘之助氏（明石土建工業㈱）　平成12年12月28日逝去
名誉会員　原川一巳氏　平成13年１月５日逝去

名誉会長・塚本猛次様（享年90歳）が、２月23日逝去されました。
葬儀ミサは２月24日、カトリック宝塚教会において執り行われました。

AGC
ASAHI GLASS COMPANY



物件名：東京ガス・アースポート
所在地：横浜市
設　計：日建設計
施　工：(株)熊谷組



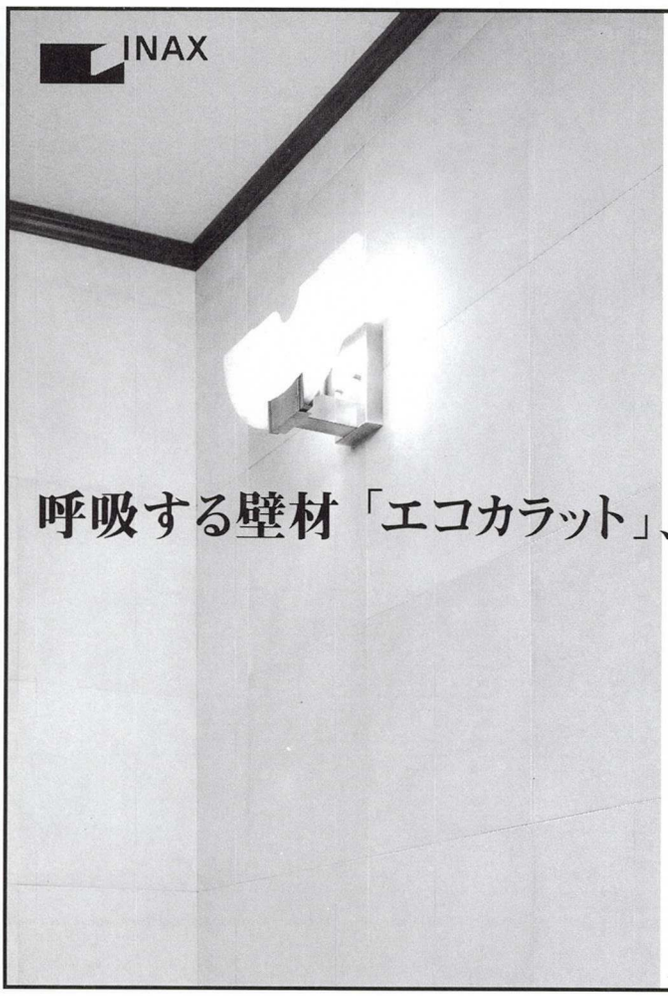
採光と遮熱、同時にできるペヤグラスです。

旭硝子の高遮熱Low-Eペヤグラス《サンバランス》は、2枚のガラスのうち、室外側ガラスの内面に特殊金属膜をコーティングしたペヤグラスです。夏は日射熱の侵入を、冬は暖房熱の流失を抑え、ビル内を快適に保つとともに冷暖房効率をアップ、地球温暖化防止のための二酸化炭素（CO_2）排出量削減にも大きく貢献します。しかも可視光線の透過率が高いので、明るさや眺望は損ねません。人にも地球にも負担をかけない調和のとれた建築のための開口部には《サンバランス》です。

次世代省エネ基準をクリアする
高遮熱Low-Eペヤグラス
サンバランス®

旭硝子株式会社　本社〒130-0013東京都墨田区錦糸1-2-1アルカセントラル／札幌支店☎011（212）3876／仙台支店☎022（215）6611／東京支店☎03（5610）0160／名古屋支店☎052（583）2825／大阪支店☎06（6373）5814／福岡支店☎092（441）4122

INAX



呼吸する壁材「エコカラット」、誕生。

健・康・建・材
エコカラット
インテリアセラミックス

呼吸する壁材

エコカラットには、珪藻土壁の2〜3倍もの調湿機能があります。土のもつ自然の力で室内湿度をコントロールするので、カビ・ダニ結露を抑えて、快適な環境を保ちます。

優れた耐久性

セラミックならではの、高耐久安定品質。
強度・耐震性能はもちろん、施工後のひび割れや直射日光・熱などによる褪色劣化もなく、カビ・コケの発生もありません。

簡易施工

目地なし突き付け施工。優れた切断性の実現で、施工能力が大幅にアップします。

人にやさしい環境素材

ホルムアルデヒトやVOC、環境ホルモンを一切含まない自然素材。使用時にも廃棄時にも、人や地球に有害な環境汚染物質を出さない素材です。

温もりある自然な表情

これまでにないオリジナルな質感で、新感覚のインテリア空間が実現します。

株式会社INAX　中部統括支社　〒460-0003 名古屋市中区錦1丁目16-20
TEL 052-201-1717
INAXホームページ　http://www.inax.co.jp/



時代が求める建材を。

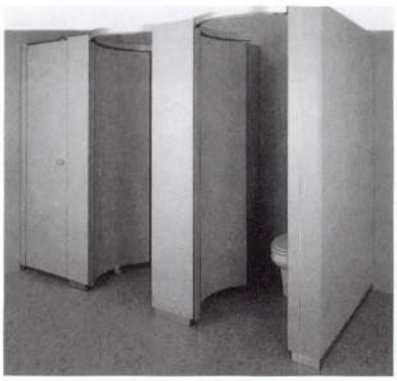
1999年エービーシー商会は、厳重な品質管理、高齢化社会への配慮、
ニーズを満たす新商品開発の3つのテーマにチャレンジし、
より大きな安心とご満足をお届けしてまいります。

ABC shokai SHOWROOM

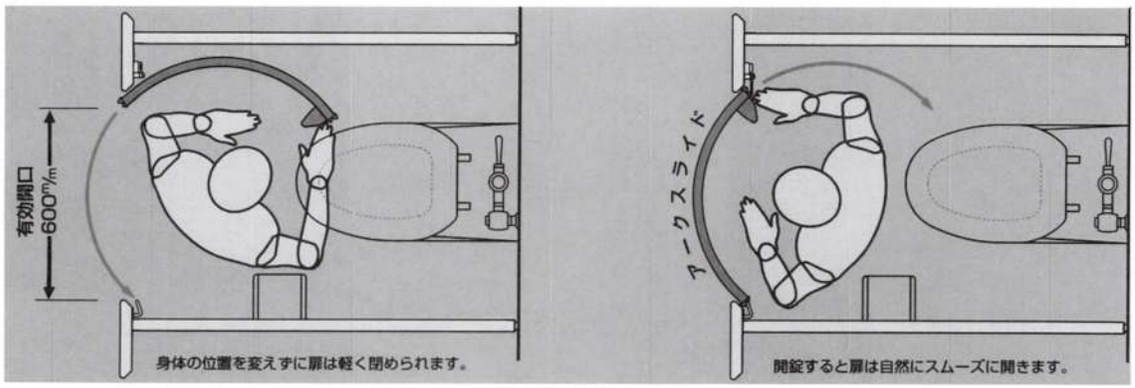
㈱エービーシー商会
本　　社 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-12-14
TEL 03(3507)7132
名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-3-26昭和ビル4F
TEL 052(251)4411
ショールームへどうぞ 東京 03(3507)7117 大阪 06(6944)4903
※AM10:00～PM6:00（土曜・日曜・祭日・年末年始・夏休み休館）
ホームページアドレス　http://www.abc-t.co.jp

画期的な扉の開閉（アークスライド）方式を採用した

トイレブース ウェイブレット



スペースの限られたトイレブースでは、扉の間口寸法が小さい内開き扉が主流ですが、扉の開閉の為に、どうしても使う人の動作が大きくなりますし、外開き扉では、急に扉を開けると通路にいる人と接触する危険があります。そのような問題を解決するために、扉のあるべきカタチと、動きを追及して生まれた（アークスライド）の扉開閉方式。扉は使う人のまわりをとり巻くように動きますので、開け閉めが大変ラクでスムーズに行えます。
操作性と安全性に優れたウェイブレット。やさしく、快適なトイレ空間が構成できます。



よい品は結局おトクです
オカムラ
株式会社 岡村製作所 名古屋支店
〒450-6020 名古屋市中村区名駅1-1-4 JRセントラルタワーズ20階
TEL 052-551-3180

お問い合わせ・ご相談は◎お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル 0120-81-9060 月曜～金曜（祝祭日を除く）9：00AM～6：00PM

最高水準

KIMUKOH

少水量/超コンパクト形空調機

Δt10℃
入口水温7℃
出口水温17℃

ファンコイルユニット
エアハンドリングユニット

大温度差/少数量/省エネへの対応

エコデルタ仕様

省水量50%以上、省風量25%以上

超小型化/大能力/省スペースへの対応

エコノパクト仕様

小型化40%以上/能力ほぼ一定!

「世界初」
楕円管熱交換器
"ゼロコイル"



低圧損で熱効率に優れた新型コイルを搭載し、最大の効力を発揮します。

木村工機株式会社

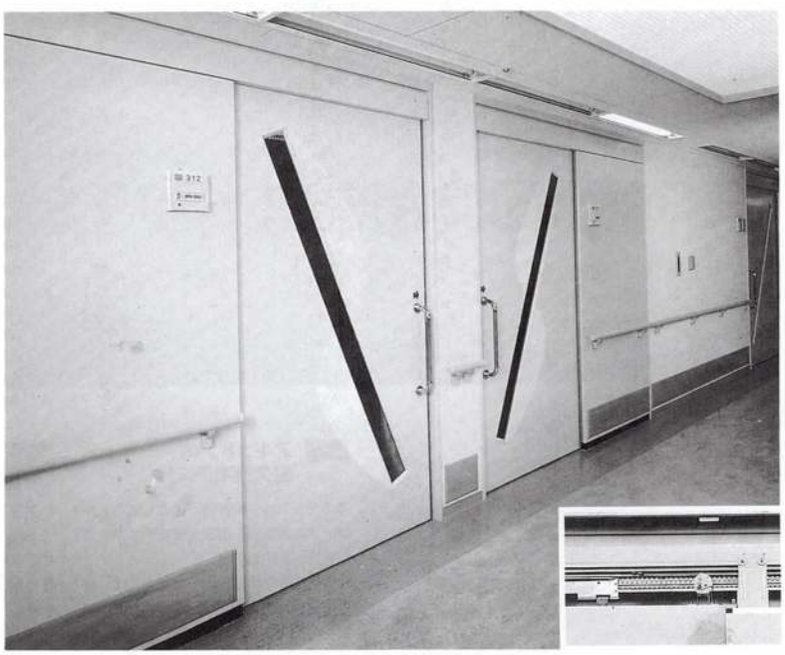
本社/〒541-0059 大阪市中央区博労町4丁目2番15号ヨドコウ第2ビル
TEL 06 (6243) 1200(代)・FAX 06 (6243) 1202
htt://www.kimukoh.co.jp/

東京営業本部 03 (3273) 8821 (代)
本社営業部 06 (6243) 1201 (代)
名古屋支店 052 (211) 5048 (代)
福岡支店 092 (441) 4357 (代)
札幌営業所 011 (207) 3535 (代)
仙台営業所 022 (261) 1561 (代)
新潟営業所 025 (244) 7771 (代)
長野営業所 026 (222) 6467 (代)
金沢営業所 076 (233) 5230 (代)
広島営業所 082 (262) 5039 (代)
八尾事業本部 0729 (23) 0621 (代)
八尾工場 0729 (23) 0621 (代)
河芸工場 059 (245) 6500 (代)
企画センター 06 (6764) 6161 (代)

いつまでも静かで滑らか、抜群の耐久性を誇る

アキュドアユニット

くろがねのアキュドアユニットはヘルスケア施設専用の吊り下げ式引戸のパイオニア、床にレールなどの障害物がなく、高精度のリニアボールベアリング式の独自のレール機構は施設の耐用年数に匹敵する300万回の開閉テストをクリア、いつまでも軽くて静か、その耐久性を実証しています。
昭和52年に発売以来、医療施設や高齢者施設に最適な多くのメリットをもつ横引戸として、数多くの施設でご採用いただいていることがその信頼性を物語っています。



くろがね

株式会社くろがね工作所

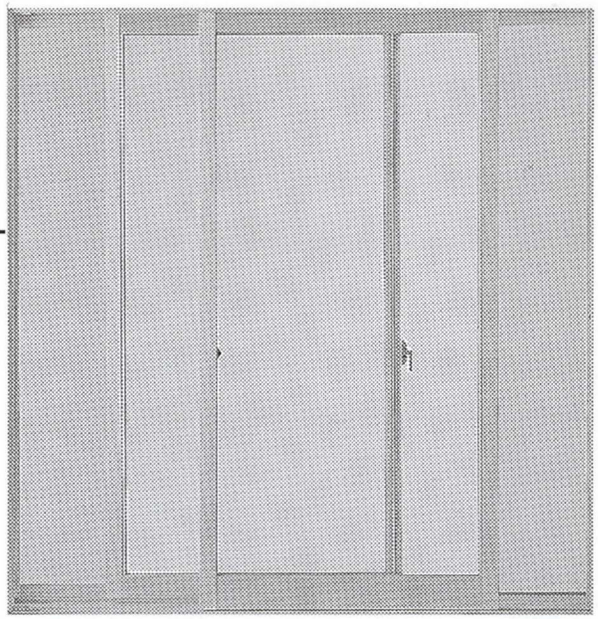
●東　京/〒108-0014 東京都港区芝5丁目29-20(三田全日空ビル) ☎03(3455)2171
●大　阪/〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4-26(四つ橋中央ビル) ☎06(6538)1060
●名古屋/〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27-14(朝日生命栄ビル) ☎052(251)6221

三協アルミ

障子框にロール網戸を内蔵
必要な時だけ引き出せます

快適・安全・省メンテ…集合住宅サッシの新基準

眺望を損なう―脱落が心配―オフシーズンの保管場所に困る…
これら従来の網戸の難点を解消したのが「ミッテプラス」です。
障子框内蔵のロール網戸を引き出す画期的な集合住宅用サッシで、
左右の障子に網戸が付き、自在な採風が居住性を高めます。



集合住宅用網戸内蔵サッシ
ミッテプラス

三協アルミニウム工業株式会社

名古屋ビル建材支店／〒450-0003 名古屋市中村区駅南2-9-18 OP名古屋ビル3階　TEL.052-588-2055
http://www.sankyoalumi.co.jp/

2000|2001|2002 総合壁装材

いいインテリアがある場所には、いい生活がある。
サンゲツ「総合壁装材」新発売!!

●約2,500点収録しています。
コントラクト向けの商品も多数収録しており、3年間皆様に十分お使いいただける見本帳となっております。

●エコロジー商品を約350点収録。
注目の不織布壁紙「エコセラール」や「パピウォール」をはじめとして、約120点にも及ぶオレフィン壁紙や、
人気の高い珪藻土壁紙など・・・環境対応商品をバリエーション豊富に展開いたしております。

●「総合見本帳」の有効期限が2年→3年になりました。
有効期限を延長することで、長期計画の物件やメンテナンス面でも安心してご使用いただけます。

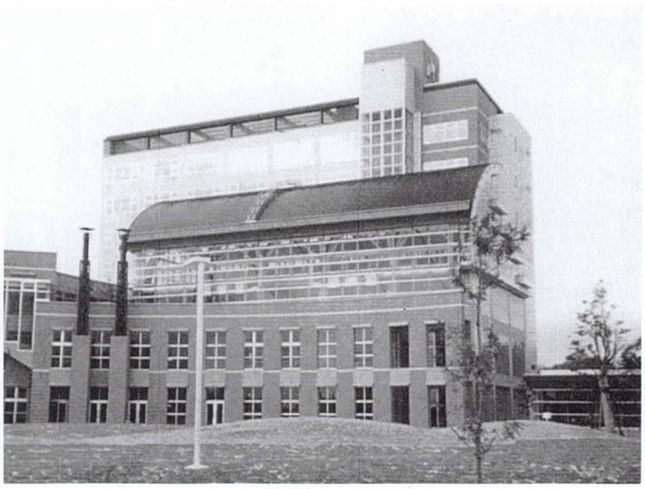


SANGETSU 株式会社サンゲツ

●本社／名古屋店	TEL.052-564-3111
●名古屋ショールーム	TEL.052-564-3225
●東京店	TEL.03-3474-1181
●東京ショールーム・クレリア	TEL.03-3505-3300
●大阪店	TEL.06-6414-3311
●大阪ショールーム	TEL.06-6440-5011
●岡山店／ショールーム	TEL.086-292-3300
●福岡店／ショールーム	TEL.092-441-5181

自然の恵みを可能な限り利用して、屋根自体が発電する新システム

屋根材一体型太陽光発電システムルーフ



■50年にわたって長尺金属屋根施工に携わってきた屋根メーカーの視点から、アモルファス太陽電池を屋根材にしました。

■太陽光発電機能を持った屋根材とご理解ください。
従って屋根機能（水密性、耐風強度、耐候性）も万全です。

■表面はフッ素樹脂フィルムを採用し、保護ガラスを使用していないので、反射公害もなく周辺の景観にも調和します。

■防火・耐火認定も取得済です。

■太陽光発電システムも理解している屋根メーカーです。
太陽電池の周辺屋根工事もご遠慮なくご相談下さい。

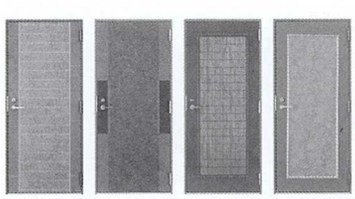
三晃金属工業株式会社

名古屋支店　〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-9　堀内ビル4F　TEL 052(582)0311(代)・FAX 052(582)3282
本　　社　〒108-0023 東京都港区芝浦4-13-23　MS芝浦ビル11F　TEL 03(5446)5608・FAX 03(5446)5631



三和シャッター

ひとり一人が、自分自身のスタイルで毎日の生活を楽しむ時代。
住まいもその中で、自由に、こだわりをもって
コーディネートされるようになってきました。
そんなご要望に応えるのが
三和シヤッターのマンションドアシリーズ、スペリオール。
ディテール、機能ともさまざまなバリエーションを用意、
デザイン、カラーなど好みにあわせてお選びいただけます。
三和のスペリオールで住まいの演出をお楽しみください。



三和のマンションドア
スペリオール 甲種防火戸

三和シヤッター工業株式会社
本社 〒163-0478 東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル52階 Tel.03（3346）3011（代表）
ビル建材カンパニー
中部ビル建材支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-6-13 Tel.052（582）3050

住友ゴムの **塗り床・弾性舗装材**

産業廃棄物処理場 …… 土木用シート
コンクリート防食 …… 下水道用ライニング
ウォーターフロントに 浮桟橋システム …… ポンツーン
美しい海を次世代へ …… 汚濁防止膜
船舶の安全な接岸　岸壁用 …… 防　舷　材
オフセット印刷用 …… ブランケット

各種工場・倉庫・クリーンルーム・一般建築の床 …… ***グリップコート***
学校・公共体育館・多目的ホールの床 …… ***ラザーコート***
ゴルフ場歩径路・テニスコート・バレーコート・走路 …… ***マスターズコート***
テニスコート・ゲートボールコート …… ***オムニコート***
野球場・サッカー場・校庭・陸上競技場 …… ***オムニターフ***
“もしも”の地震に揺るがぬ自信 …… ***免震支承***（LRB．NR）

住友ゴム工業(株)中部地区総販売元

株式会社 住ゴム産業中部

本　社　〒465 名古屋市名東区藤森二丁目18番地　電話〈052〉774－2122
営業所　静岡・富山

膜構造建築が創る21世紀のコミュニティ空間



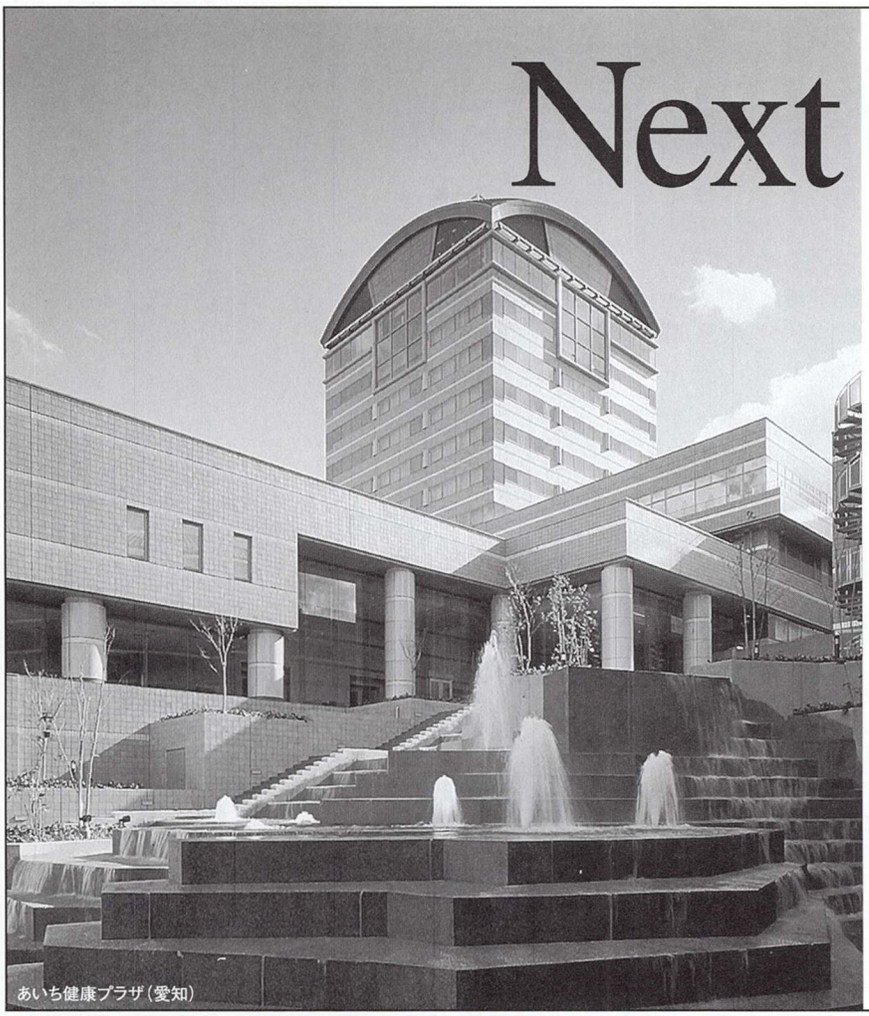
ジャスコ名古屋みなと店と120の専門店〈ベイシティ〉　設計：NTTファシリティーズ　施工：株式会社 大林組

世界各地で 大空間構造に チャレンジする太陽工業

自然な光、自在なデザインが活きる膜構造建築。
商業施設からスポーツドーム、多目的ドームまで、
明るく開放的な全天候に対応する快適な大空間は、
世界各地で地域のランドマークになっています。

太陽工業株式会社　http://www.taiyokogyo.co.jp

名古屋市中村区名駅南2-8-11　〒450-0003　TEL.(052)541-5120
東京都目黒区東山3-22-1　〒153-0043　TEL.(03)3714-3461
大阪市淀川区木川東4-8-4　〒532-0012　TEL.(06)6306-3065
札幌・仙台・新潟・千葉・大宮・横浜・神戸・広島・高松・福岡・沖縄・シカゴ・ニューヨーク・台北・コンスタンツ(ドイツ)



あいち健康プラザ（愛知）

Next Scene

未来を見つめる技術も
未知の分野への挑戦も
人と環境の間に通いあう
快適な関係を築きたいから。
どこでも、どこまでも
いつでも、いつまでも
快適シーンを創造していく
立山アルミです。

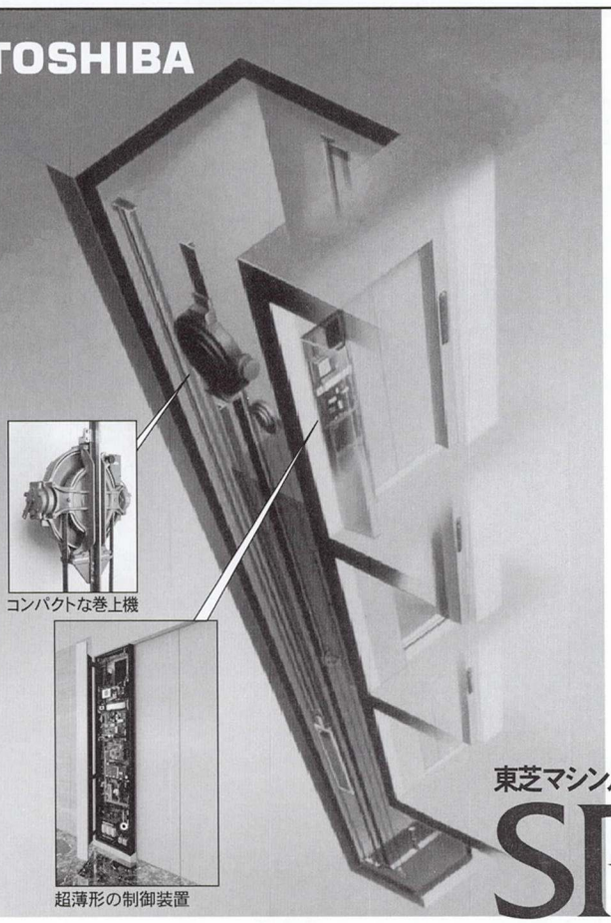
人間（ひと）にやさしい快適空間をめざして

立山アルミ

立山アルミニウム工業株式会社
〒933-8602 富山県高岡市早川550番地
総務部TEL.0766-20-3121

ホームページ http://www.tateyama.co.jp/

TOSHIBA



コンパクトな巻上機

超薄形の制御装置

エレベーターから機械室が消えた！

「エレベーターから機械室をなくした」
画期的なエレベーター
東芝マシンルームレスエレベーター〈スペーセル〉。
マシンルームレス以外にも、
数々の優れた特長があります。
まず、その豊富なバリエーション。
〈スペーセル〉は、マンションなどの住宅用だけでなく、
オフィスやテナントビルなどの乗用、
病院など医療施設の寝台用と充実しています。
さらに、最大昇降行程は75m。
32階建ての建築物にも対応するなど、
設計・デザインの可能性をいちだんと拡大。
まさに時代が求めた新世紀のエレベーターです。

東芝マシンルームレスエレベーター スペーセル

SPACEL誕生



●お問い合わせは——東芝エレベータ株式会社 中部支社
〒450-6043 名古屋市中村区名駅1-1-4（JRセントラルタワーズ43階）
TEL（052）564-1055 FAX（052）564-1068

家を、街を、地球をきれいにするタイル
TOTOハイドロテクトタイル。

TOTO HYDROTECT

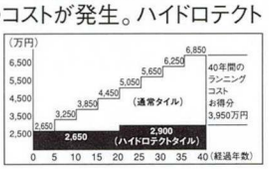


信頼の証拠。東海地区でも続々ご採用いただいています。

◎いつまでも美しく。
セルフクリーニング効果。

◎人と環境にやさしく。
NOX除去、1000m²でポプラ並木70本分の除去能力。

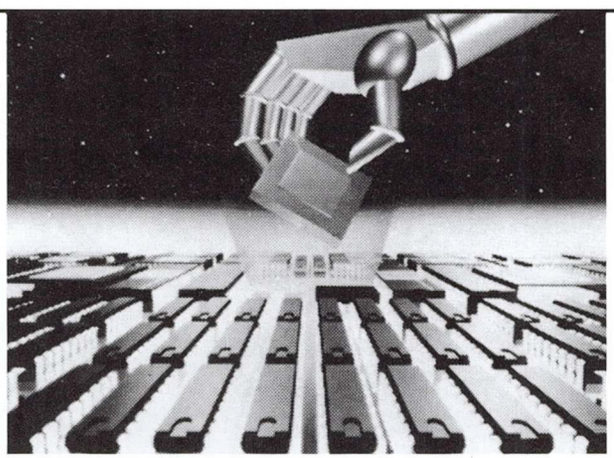
◎時が経つほどお得なタイル。
通常、ビル外壁の洗いは、5年に一度、洗剤での洗浄が必要と言われています。5000m²のビルなら、1回当たり、600万円のコストが発生。ハイドロテクトタイルなら、20年に一度、水洗いをするだけで十分。財布にも環境にもやさしいタイルです。



お問い合せ、カタログのご請求はお近くのTOTOへ

名古屋支社／〒460-0003　名古屋市中区栄2-3-1　TEL.(052)201-0214
大 阪 支 社／〒530-0057　大阪市北区曽根崎1-2-9　TEL.(06)6364-6992

汚れを防ぎ、汚れを流す。
TOTOハイドロテクトタイル



業務内容

- 工場設備・ビル設備の販売及び据付
- 産業用電機・電子機器の販売
- 家電製品及び住宅用設備機器の販売
- 情報通信機器、制御システムの開発・製造
- 洗浄装置、検査装置の開発・製造
- 空調設備、クリーンルーム等の設計施工・保守
- 電気工事、通信工事の設計施工・保守

東朋テクノロジー株式会社

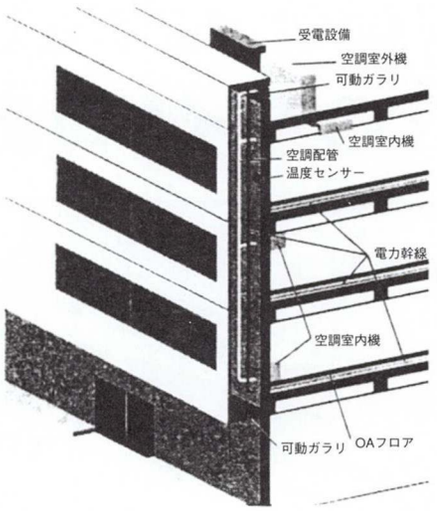
取締役社長　富 田 英 之

本　社／〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目10番22号　TEL(052)251-7211(代)
工　場／〒492-8074 稲沢市下津下町東五丁目1番地　TEL(0587)24-1211(代)
事業所／豊田・名古屋南・大垣・江南・上海駐在員事務所/上海東朋電子技術有限公司

自然との共生に挑む

TOYO Shutter

ビルが呼吸を始めた……



ビルの省エネ対策、インテリジェント化を実現するビルファイン。

耐震補強・省エネ外装改修システム

BUILFINE®

ビルファインは、温度センサーの働きで、可動ガラリが開閉し、快適なビル環境を維持する省エネビル外装改修システム。春夏秋冬の気温にあわせ、内壁と新壁との空気の流れを調節し、ビル全体の省エネルギー化を実現します。また、電信電話や光ファイバー、電力幹線等の新設や増設に対応。インテリジェントビル化にも適応した次代のリファインシステムです。

■シャッター ■ドア ■カーテンウォール ■扉用ハンドル

東洋シヤッター株式会社

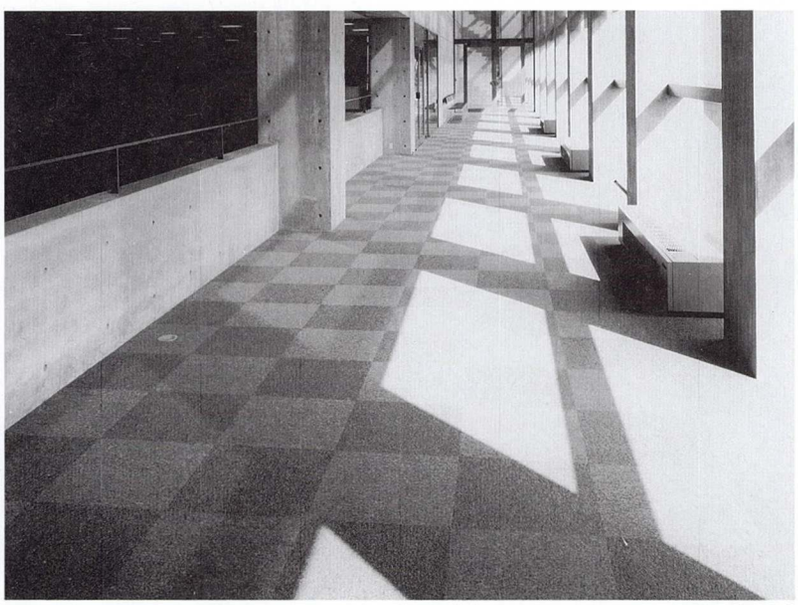
名古屋支店　名古屋市中川区北江町2丁目12番地　TEL 052 (352) 8061

本　　社　大阪市中央区南新町1-2-10 TSビル　TEL 06 (6943) 6571

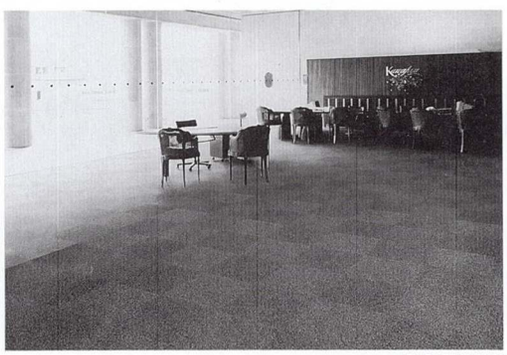
東京本社　東京都港区六本木6-3-18 第一地所麻布ビル TEL 03 (3479) 2911

信頼と実績の東リ タイルカーペット

オフィスから公共施設まで汎用性に優れたタイルカーペットシリーズ。
表面材には優れた耐久性と多彩なカラーバリエーションをご用意しました。



GA 100



GA 7000

東リタイルカーペットGAシリーズは15タイプ。
プリントタイルのGFシリーズもあります。

東リ タイル カーペット GAシリーズ

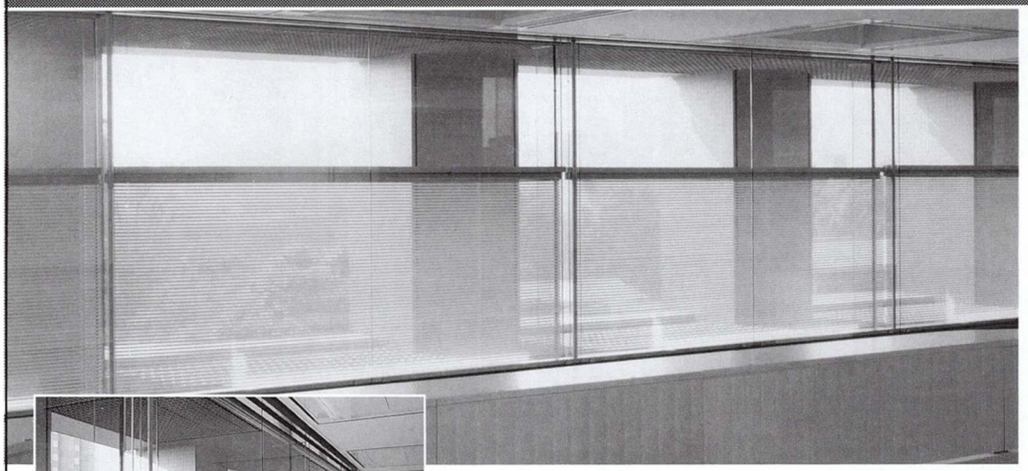
おかげさまで80周年

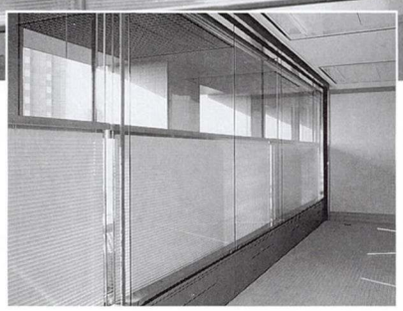
東リ株式会社

【URL】http://www.toli.co.jp

名古屋第1営業所 TEL.052(733)3471　名古屋第2営業所 TEL.052(733)3472　東日本営業開発部 TEL.03(5403)2067　西日本営業開発部 TEL.06(6943)1645　名古屋ショールーム TEL.052(745)1691
静岡営業所 TEL.054(237)4471　浜松営業所 TEL.053(460)7638　金沢営業所 TEL.076(262)3100

上昇します。オフィスの快適指数。
クライマー式電動ブラインド（特殊仕様）





逆転の発想で、
効果的な光のコントロール。

通常のブラインドとは逆に、下から上へ閉じる特殊仕様ブラインドです。窓の下部を遮蔽することによって、時間で日射角度が変化する自然光を効果的にコントロール。上部は開放的な空間をつくる眺望スペースとして、また照明負担を軽減し省エネルギー効果を高める採光スペースとして、効果を発揮。オフィス環境の快適を確実にアップいたします。

- 下から上へ昇るクライマー式
- スラットの昇降・開閉が自在
- 上部の開放で楽しめる眺望
- 上部からの採光で省エネ効果

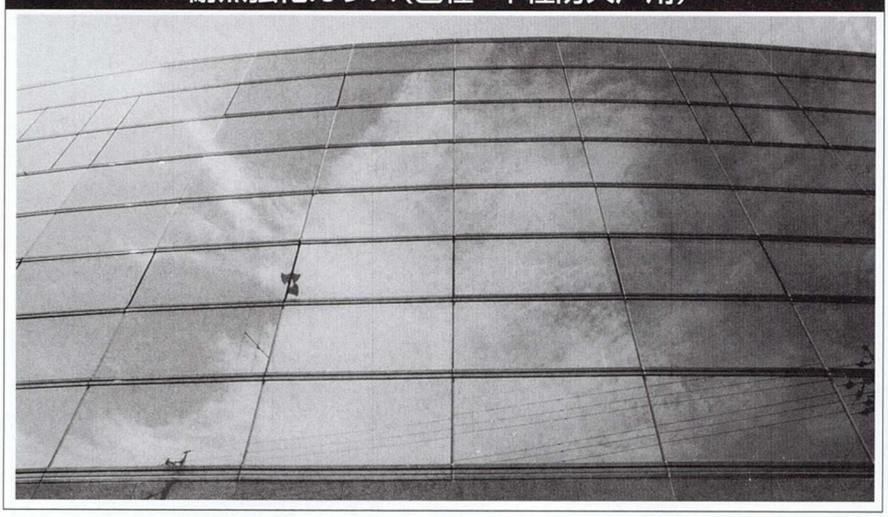
クライマー式電動ブラインド

株式会社ニチベイ

本社/〒103-0027東京都中央区日本橋3-15-4
名古屋営業所/〒454-0022 名古屋市中川区露橋1-16-19　TEL.052-354-7611
ニチベイホームページ・アドレスhttp://www.nichi-bei.co.jp

Fire And Safety Rated Glass
パイロクリア®

耐熱強化ガラス（乙種・甲種防火戸用）



特許出願中

高強度で安全なワイヤレス防火ガラス

特　長

●高強度で安全
超強化処理を施した耐熱強化ガラス

●多彩なカラーバリエーション
28色のカラーで建物に豊かな表情をつくりだします。

●ワイヤレス
網のないクリアな視界が得られます。

●ワイドなサイズ
最大寸法は3000×2000㎜（透明タイプ8ミリ）とワイドです。

用　途

■乙種防火戸用ガラス
通則認定サッシとの組み合わせまたは個別認定の取得

■甲種防火戸用ガラス
個別認定の取得（8ミリ厚使用）

日本板硝子株式会社

札 幌 011-241-7171/仙 台 022-712-5871/東 京 03-5443-0132/名古屋 052-962-7089/大 阪 06-6222-7534/広 島 082-263-3571
福 岡 092-451-5592/高 松 087-879-1641　ホームページ URL:http://www.nsg.co.jp/archi/index.html

文化シヤッター

夢を動かす技術がある。

先進の機構で省エネ性能向上
諸経費低減を実現!

NEW MODEL



高気密設計・高速自動開閉で、空調効果を維持。安全性を追求した設計で、働く環境をベストに保ちます。本体にパイプを使用していないため安全性が高く、また車両が衝突してシートがレールからはずれても自動に復帰するセルフリペアリング方式のため、修理等の経費削減ができます。

大きな間口も迅速に!
開口部の守護神
〈ダイマジン〉

高速シートシャッター
エア・キーパー 大間迅

文化シヤッター株式会社

URL http://www.bunka-s.co.jp/

中部営業推進部 〒464-0074 名古屋市千種区仲田2-1-24 TEL052-733-1254
関西営業推進部 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町4-3-11 エーユー本町ビル TEL06-6282-0945

National
松下電工

スリムなラインが、
天井をより美しく機能的にした。

器具開口幅140㎜ですっきりと新登場。
複合天井システム「ラインタイプ」

新開発のトータルバーと各種設備を一体化して、ライン状に配置。さらに、照明器具開口幅・トータルバー見付のスリム化などで、よりシンプルな外観を実現しました。トータルバー内での器具の移動も自由自在で、フレキシブルな照明配置が可能。見た目のよさだけでなく、器具開口幅のスリム化で不快なグレアをカットするなど、機能面も追求した天井システムです。

■従来システム天井
195mm
■スリム21シリーズ
トータルバー
140mm

○省エネ・省資源で、地球環境に配慮。しかも省施工。
○多彩なユニットとの複合で、豊富な照明環境を実現。

スリム21シリーズ
ラインタイプ

※複合天井システム「スリム21シリーズ クロスタイプ」も同時新発売。

お問い合わせは、
〒571-8686 松下電工(株)照明分社・施設照明事業部
TEL.(06)6908-1131(大代表)まで。

あかりと電気設備の情報がご覧になれます。 http://www.mew.co.jp/Ebox

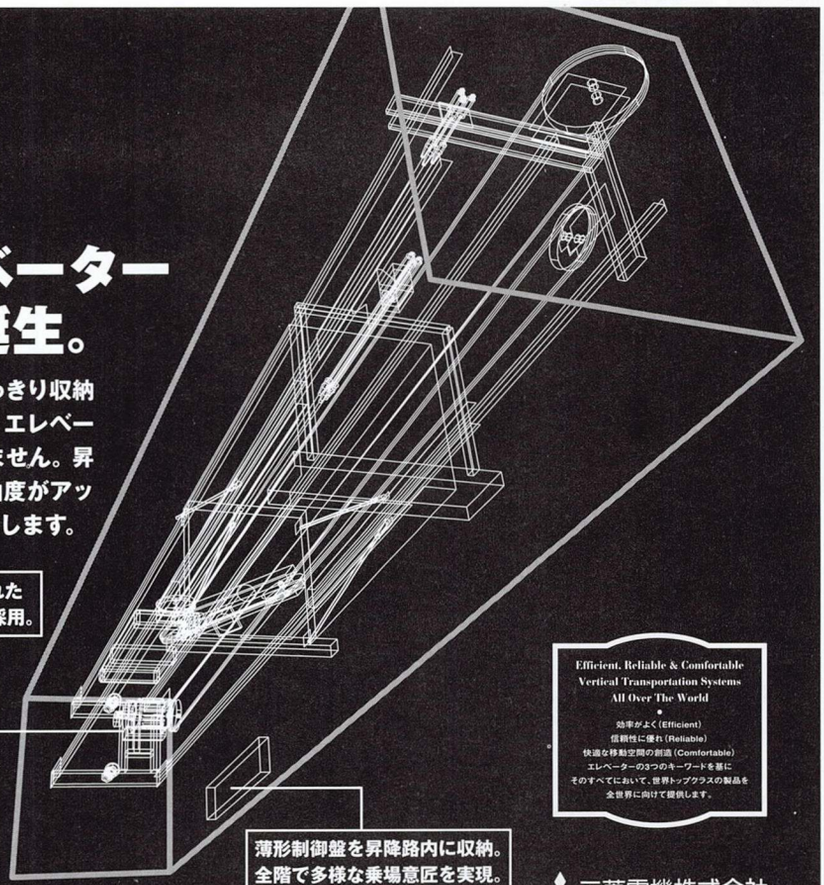
Smart Solutions by NAiS

MITSUBISHI
三菱電機

昇降路だけのエレベーター
三菱〈エレパック〉誕生。

機械室にあったすべての機器を昇降路内にすっきり収納しました。もちろん制御盤も昇降路内に設置。エレベーター乗場の出入口わきなどに置く必要はありません。昇降路だけのエレベーターですから、設計の自由度がアップ、すべての階で多様な乗場デザインを可能にします。

エネルギー効率に優れたPMギヤレス巻上機を採用。



新登場 エレパック
ELEPAQ
三菱エレベーター
機械室レスタイプ／乗用・住宅用・寝台用

Efficient, Reliable & Comfortable Vertical Transportation Systems All Over The World
効率がよく(Efficient)
信頼性に優れ(Reliable)
快適な移動空間の創造(Comfortable)
エレベーターの3つのキーワードを基に
そのすべてにおいて、世界トップクラスの製品を
全世界に向けて提供します。

薄形制御盤を昇降路内に収納。
全階で多様な乗場意匠を実現。

三菱電機株式会社

お問合せ・資料のご請求は…三菱電機株式会社　中部支社ビルシステム部 〒450-6045 名古屋市中村区名駅1-1-4(JRセントラルタワーズ45F) TEL.(052) 565-3165

●世界のロックメーカー

リモコンキーのボタンを押すだけで、楽楽(らくらく)施解錠！

電池式なので配線不要、取付けも簡単です。

■錠の施解錠は扉に近づいて(1m以内)リモコンキーのボタンを押すだけ、音で確認もできます。
■リモコンキーの登録と抹消は錠本体の制御部で簡単に行え、鍵違い数は約2億6千万通りです。
■錠本体に電源・制御部・アンテナを一体化、安価にリモコンキーシステムが利用できます。
■電源配線工事が不要で取付けも簡単です。
■リモコン錠、リモコンキーの電池寿命は約1年、電池交換はドライバー1本で簡単にできます。

＊その他、エントランスの自動ドア、宅配BOX、駐車場ゲートなどリモコンキーとの連動も可能です。

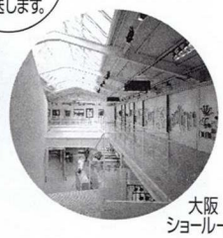


MIWA

美和ロック株式会社
名古屋支店／名古屋市千種区千種3丁目37番13号 TEL.052(731)0555(代) 〒464-0858
東京本社／東京都港区芝3丁目1番12号 TEL.03(3452)5551(代) 〒105-8510
美和ロックについてはホームページでもご案内しています。http://www.miwa-lock.co.jp/

機能がつくりだす、人にやさしいユニオンドアハンドル

総合カタログ
ご請求下さい。
急送します。

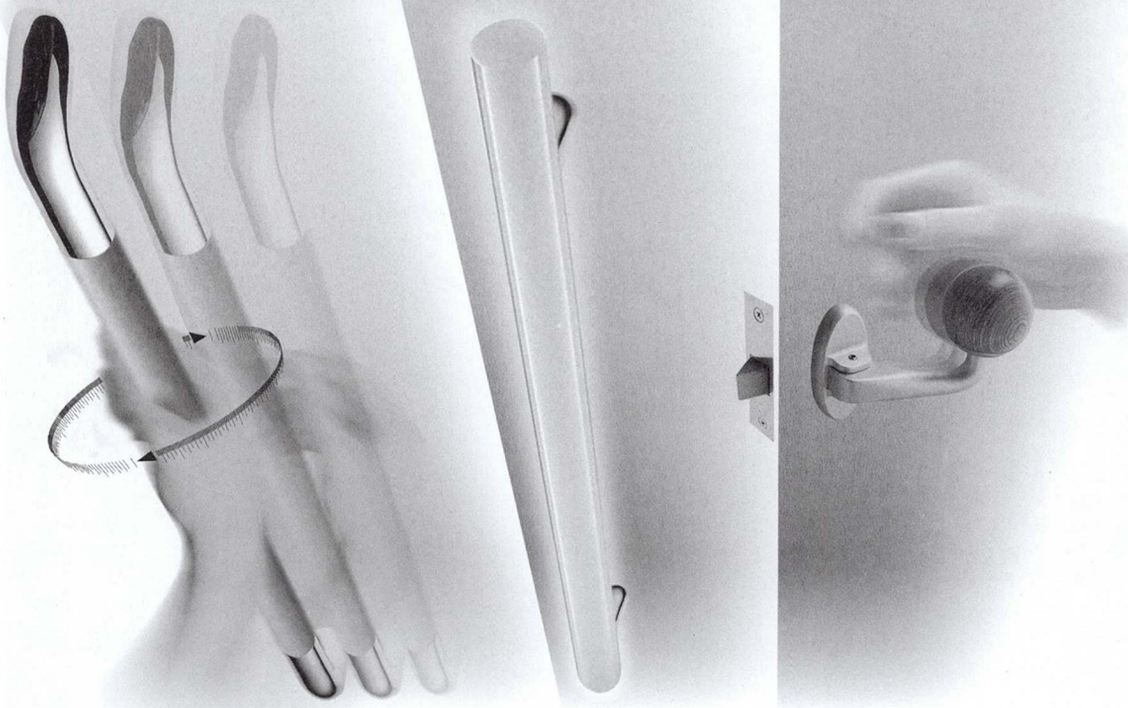


大阪
ショールーム

ケアハンドル-グリップル®
ripple
回転するグリップでラクラク開閉。

★蓄光タイプハンドル
★★光線を貯え、螢のように叙情的。空間を有機的に彩る蓄光タイプ。

ラッチ付プッシュプルハンドル
押す、引っ掛ける等の動作でラクラク開閉。そしてインテリアにマッチするやさしいデザイン。



ITEMS
- ●建物用ドアハンドル
- ●レバーハンドル
- ●ドアストップーエッセ
- ●ケアシステムーハンドバー
- ●消火器収納ケースーアルジャン
- ●フロアシステム
- ●サインシステムーピクト
- ●クロセットドア
- ●キャスタル+メタルアート
- ●都市景観ーヒューランドスケープ

ISO 9001

UNION
建設環境金属製品の
株式会社ユニオン
UNION CORPORATION
http://www.artunion.co.jp/

■本社
大阪市西区南堀江2-13-22 〒550-0015

■大阪支店
大阪市西区南堀江2-13-22 〒550-0015
☎06(6532)3731 ㊠06(6533)2293

■大阪ショールーム
大阪市西区南堀江2-13-22 〒550-0015
☎06(6532)8920 ㊠06(6533)0224

■東京支店
東京都江東区白河2-9-5 〒135-0021
☎03(3630)2811 ㊠03(3630)2816

■東京ショールーム
東京都港区虎ノ門2-3-22 〒105-0001
☎03(3506)1717 ㊠03(3506)1718

■名古屋営業所・ショールーム
名古屋市中川区舟戸町3-20 〒454-0805
☎052(363)5221 ㊠052(363)5255

建物の汚れ
トラブル事例と解決策

「建物の汚れ」編集委員会・編著
〈建築技術選書・特装版〉

企画・(社)日本建築協会

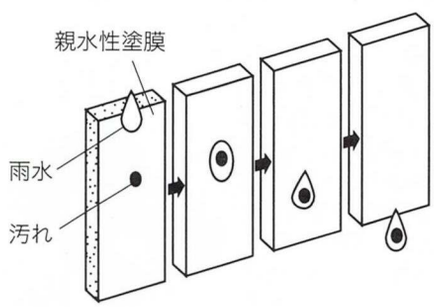
ISBN4-7615-3086-3
B5判・二色刷・168頁
定価 本体3500円+税

学芸出版社

京都市下京区
木津屋橋通
西洞院東入
〒600-8216

tel 075-343-0811
fax 075-343-0810

建物を美しく保つにはそれなりのコツがある



本書59頁より

汚れにくい設計、効果的なメンテナンスのために
トラブルにつながる要因を事例別に整理——
ゼネコン技術者による再発防止策のノウハウを伝授する

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—3344—1851(大代)　大阪本社☎06—6448—3603(代)
大阪支社　☎06—6448—5851(代)　名古屋支店　☎052—211—1535(代)　中国支店　☎082—247—5541
九州支店　☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備，冷暖房設備，消火設備の設計，施工

株式会社 西原衛生工業所 大阪本店

大阪本店　〒531-0071 大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL 06-6458-3628(代表)
本　　社　〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL 03-3452-7441(代)
支　　店　札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　大島　剛
取締役関西支店長　本木　満

関西支店　大阪市中央区北浜２－２－21　電話 06(6202)7554
本　　社　東京都千代田区有楽町１－４－１　電話 03(3502)6103
支　　店　北海道・東北・関東・千葉・横浜・北陸・名古屋・京都・神戸・四国・中国・九州

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目 設計・施工・監理
●電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装
●空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム
●プラント
プラント計装
システムエンジニアリング
●情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム
●電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

まだ見ぬあなたのフリエイティブカンパニーをめざす。
住友電設株式会社　大阪本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06)6537-3400
東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町３番５号　電話(6352)1131(代)
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町２－22　電話(3667)3431(大代)
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

CHOYO

人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。

電気設備設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本貴士

本　　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目 2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1671
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03-3344-7911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1371
支　　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
関　西　支　社

取締役支社長　伊藤義信

大阪市中央区高麗橋４丁目３番７号　電話大阪(6202)0325～9番
本　　社　東京都千代田区西神田１丁目４番５号
支　　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　　社　大阪市中央区瓦屋町２丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪 (06) 6768－5031代表
メンテナンス　電話　大阪（06）6768－1651代表
東京支社　東京都文京区小石川１丁目12番14号(日本生命小石川ビル７階)
〒112-0002　電話 (03) 5689－2351代表

電気設備設計施工

株式会社 三興社

代表取締役社長　上田正雄

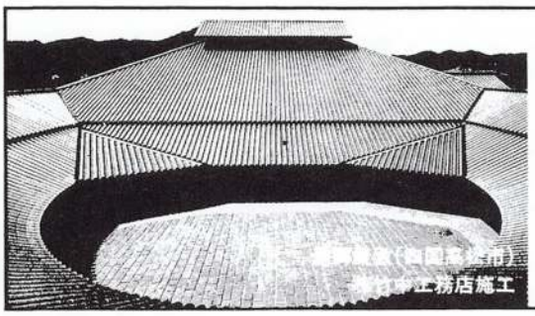
本　　社　大阪市中央区北浜３－６－13（日土地淀屋橋ビル）
電　話　０６（６２０５）３６７１（代）
支　　店　東京都中央区日本橋茅場町２丁目17番３号
電　話　０３（３６６６）１４７８（代）
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

OKUJU
スペース クリエイター
建築に革命をもたらした技術がある
「大規模天井無足場工法」
内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社 オクジュー
本社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530—0047
TEL(06)6312—4131 FAX(06)6312-7998
東京・九州・横浜・名古屋・南九州・京都

学校建築のトータルアドバイザー
二葉工業株式会社
黒板・掲示板・家具
電動黒板装置・サイン・スクリーン
〒547-0001 大阪市平野区加美北3—4—5
TEL06(6792)5858 FAX06(6792)2810

＊奉仕感謝の店
タイル及び規格石一式施工
株式会社 川岸窯業商店
本社 大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06—6532—0641(代表)
FAX.06—6535—5181
天理営業所 天理市丹波市新町49

●情報処理●企画・制作●編集●画像処理●印刷・製本
人と技術をクリエイティヴで結びます
日本データネット株式会社
本社 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-10 TEL.06-6352-7502 FAX.06-6355-2714
制作部 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19 TEL.06-6352-0943 FAX.06-6355-5533
印刷工場 〒530-0043 大阪市北区天満2-5-15 TEL./FAX.06-6352-1551


〒556-0024
大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
ナニワ瓦株式会社
あらゆる屋根工事の相談は、
ファックス 六五六一～七四五四
六五六一～七四一六
工務店施工

Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO.,LTD.,
代表取締役社長 依藤孝行
青葉印刷株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材） コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材） 鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント） コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材） 地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材） コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2—2220
舞鶴（0773）76—0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332—6861
TEL 東京（03）3272—8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443—6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252—6000
東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83—2381
TEL 大阪（06）6877—1581

日本建築協会企画・販売

出版図書一覧

1917年3月に創設された日本建築協会（当時・関西建築協会）は、すでに昭和初期には大阪近辺で住宅博覧会や建築講演会を開く一方、当時は入手しにくかった建築の情報を図書の出版という形で会員に提供していた。

＊

以後、創立周年記念事業として、その時代の動きをとらえて単行本を出版している。

50周年、60周年、70周年、そして80周年に、図書の出版が企画され、現在も継続して発行・販売されている出版物は、以下のとおり。

＊

購入希望者は、㈱日本建築協会事務局（TEL06－6348－0635、FAX06－6348－0634）まで。

日本建築協会創立60周年記念事業

建築技術選書

A５判・130頁～160頁　発行:学芸出版社　本体価格¥1,200～¥1,400

1 茶室の話　岡田孝男
3 マイコンによる構造設計のすすめ（改訂版）　魚木晴夫
5 すまいの語録　茶谷正洋
7 構造計画とやさしい力学１　須賀好富
8 建具の知識と意匠　山片三郎
9 エレベータ・エスカレータ 立体駐車場　木村利雄
10 構造計画とやさしい力学２　須賀好富
13 医院・診療所の計画と設計　池田有隣・船越輝由
14 設計のコンピューター手法　飯塚英雄
16 石垣と石積壁　窪田祐
17 基礎と地盤の手ほどき　中堀和英
18 ショッピングセンターの計画　西脇顕正
19 住宅設計とインテリア　福岡喜久雄
21 住宅の家具　光藤俊夫
23 設備技術者のための建築再入門　光安義光
24 鉄骨構造の話　金多潔・甲津功夫・西沢英和
26 建物と地震災害　竹内吉弘・島田耕一
28 建築金物の知識　立野一郎
30 住宅三備心得帳　平田純一
31 住宅のエレクトロニクス　監修　小林郁
32 建築塗装の手引き　児島修二
33 建築式典の実際　若林嘉津雄
34 建築設計と高齢者・身障者　吉田あこ
36 日本壁　山田幸一
37 身近な耐震設計法　前川陽一
38 住宅の照明　監修　大島博
39 建築を志す人びとへ　日本建築協会出版委員会
特装本 火災安全学入門　岡田光正

選書シリーズは、在庫図書を掲載

日本建築協会創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇

〈プロのノウハウ〉シリーズ

四六判２色刷り　発行:学芸出版社　本体価格¥1,600～¥2,500

TQCから見た建設業　荒木陸彦
躯体工事監理のチェックポイント100　須賀好富
空調設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
衛生設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
現場マンのアイデア発想　合原一夫
建築基準法の実際　矢吹茂郎
ニュー組積建築のすすめ　福島孝之　他
建築物の消防法を読みこなすコツ　高木任之
鉄筋工事・本音の現場学　荒川治徳
建築基準法の難解条文を読みこなすコツ　高木任之
工業化住宅・考 これからのプレハブ住宅　松村秀一
鉄骨工事の現場学　石田満喬
建築紛争の実際　岡本辰義
仕上工事監理のチェックポイント　日建設計監理業務研究会
ゼロ災への道 建設現場の安全管理活動　表　一郎
木造住宅のしくみ 在来工法の基本と応用　浅野平八・東　敏博
コンクリート工事のチェックポイント100　加賀秀治
インテリアコーディネートの100ポイント　町田ひろ子監修／松本　茂・村元俊子著
新版 建築基準法を読みこなすコツ　高木任之
木づくりの常識非常識　上村　武
建築関連法規を読みこなすコツ　高木任之
都市計画法読みこなすコツ　高木任之

日本建築協会創立70周年記念事業

選書特装版

B５判　発行:学芸出版社　本体価格¥2,800～¥3,800

構造コストと経済設計　須賀好富
新・建築と設備の接点　宮脇　毅・南部　武
建築設備の健康診断　牧野　茂
外壁構法チェックリスト　飯塚五郎蔵
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈建築篇〉　「建築漏水」編集委員会
建築・都市・住宅・土木ー情報アクセスブック　菊岡倶也
建築デザインのための構造計画　須賀好富
場所打ち杭の設計と施工　阪口　理
建築と緑　瀧　光夫
入門・建築積算　生島道春
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈設備篇〉　「設備漏水」編集委員会

昭和生まれ　関西の建築家50　1987年

A４判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会建築クラブ朝食会300回記念

講演記録集 **話のはなし**　1997年

B６判５分冊　企画:日本建築協会建築クラブ　１セット10,000円(消費税含む)

民間（旧四会）連合協定

工事請負契約約款　A４判のみ取り扱い

工事請負契約書・仲裁合意書・契約書使用上の留意事項

１部¥230（消費税含）送料 実費

日本建築協会創立70周年記念出版

住宅近代化への歩みと日本建築協会　1988年

A４判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会創立75周年記念出版

工高生デザインコンクール入選作品集　1992年

A４判　企画・発行：日本建築協会　定価2,000円

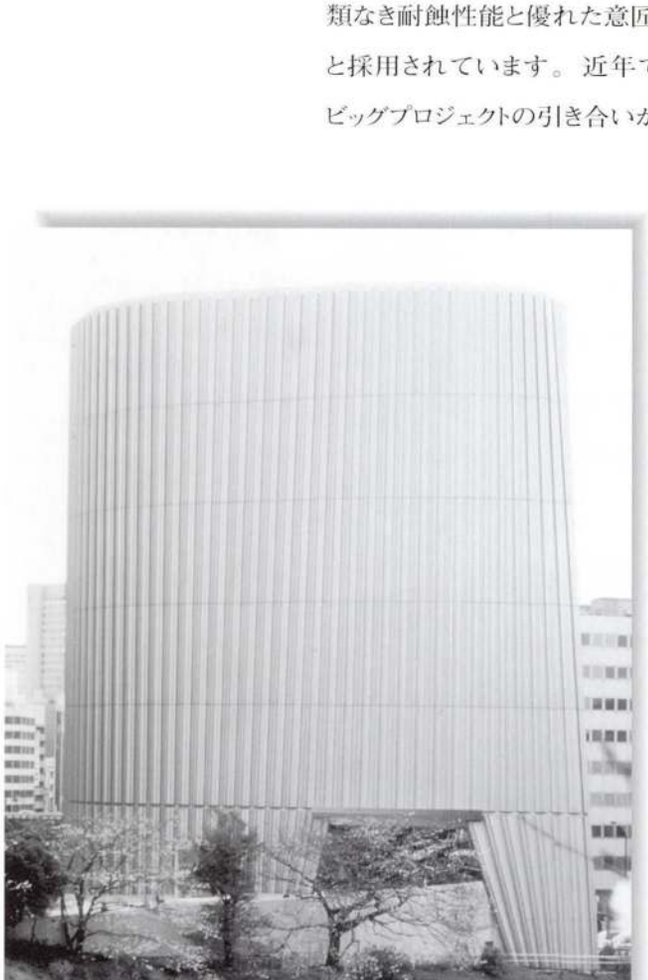
日本建築協会創立80周年記念出版

建築を志す人びとへ

A５判　日本建築協会出版委員会編著　本体価格1,800円

チタン建材はトータルコストを軽減！

チタン建材は社会資本の充実と次世代への継承、メンテナンスフリー化の動き、環境問題等の社会的要請を背景に、その比類なき耐蝕性能と優れた意匠性が評価され、大型物件に次々と採用されています。近年では、国内のみならず海外からもビッグプロジェクトの引き合いが入るようになりました。



昭和館（外装）／設計：菊竹清訓建築設計事務所



北野天満宮
宝物殿（屋根）
設計：京都建築研究所

特長

●比類なき耐蝕性

チタンは常温で瞬時に安定した酸化皮膜（不動態皮膜）を成形し、耐蝕性抜群で酸性雨等の環境汚染にも強い金属。

●優れた意匠性

素地そのものが渋味のある落ち着いた色合いで、ユーザーには大好評。陽極酸化によってより鮮やかな色の発色も可能。

用途

●屋根・外装パネル。従来金属でのほとんどの工法で採用。

切板1枚から成型品まで必要な量をリアルタイムに日本鐵板（株）からお届けします。

●お問い合わせは…
TEL.（03）3272-5133

新日本製鐵株式會社

〒100-8071 東京都千代田区大手町二丁目6番3号
TEL.（03）3275-7992 FAX.（03）3275-5664

〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目2番4号
TEL.（06）6223-6310 FAX.（06）6223-6483

定価1,200円（●本体1,143円●消費税57円●送料共）正会員の購読料は会費に含めて徴収